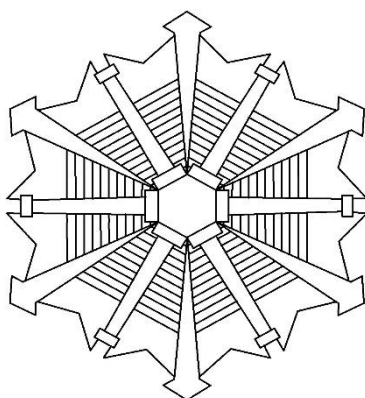


# 消 防 年 報

令和 4 年度版



久 万 高 原 町 消 防 本 部

令和 5 年刊行

## はじめに

1 この年報は、久万高原町消防本部の消防行政の現状を一般に紹介するとともに、近年ますます多様化現象にある災害に対処するための資料として、令和4年中の消防現勢及び消防業務の内容・火災・救急統計等を収録編さんしたものであります。

2 この年報は、人事・予算・予防編・警防・救急等は会計年度及び還暦とし、一部を令和5年4月1日で集計し、令和4年中の統計を収録しました。

※会計年度 令和4年4月1日～令和5年3月31日

※暦年 令和4年1月1日～令和4年12月31日

上記、ことわりのない限り同じ。

令和5年9月1日

久万高原町消防本部

# 目 次

## 久万高原町消防の現勢

久万高原町の概要	1
面積・人口・世帯数	2
消防・救急機関配置図	2
消防本部・署所の所在地 及び庁舎等の現況	3
消防本部の組織	4
久万高原町長・副町長・議会議員等名簿	5
歴代組合長	5
歴代消防長	5
歴代消防署長	5
消防本部重点施策	6
消防力の現況	7
消防職員	8
消防予算	9

## 火災履歴の検証

火災の実態	11
-------	----

## 災害を未然に防止するために

火災予防	15
住宅防火対策	16
危険物	17

## 災害から住民を守るために

消防活動体制及び消防隊の活動状況	19
消防相互応援体制の状況	20
緊急消防援助隊	21
情報通信	22
無線局一覧表	23
消防水利	25
訓練	26
消防団	27
久万高原町消防警察捜索推進協議会	28
救急体制	29
救助体制	36

## 総務編

令和2年度おもな行事	39
職員の年齢別状況	41
消防職員研修状況	42
消防職員特殊技能有資格者状況	43
消防職員諸手当支給状況	44
消防費にかかる1世帯当たり 及び1人当たりの金額	44
令和3年度 会計決算額と 消防費決算額の割合	44
令和3年度 消防費基準財政 需要額と消防費関係状況	45
消防費決算内訳状況	45

## 予防編

年間のおもな行事	47
危険物施設数	48
危険物関係事務の処理状況	48
危険物手数料の徴収状況	49
危険物施設に対する査察状況	49
防火対象物数・立入検査状況	50
消防用設備の設置状況	51
防火管理者の選任状況・消防計画 の届出状況	52
各種届出事務の処理状況	53

## クラブ広報編

幼年消防クラブ	55
少年消防クラブ	57
女性防火クラブ	61
表彰及び助成事業状況	63
少年消防クラブ助成事業	64
少年消防クラブ コミュニティ助成事業	65
	66

## 警防編

保有消防車両	67
消防機械器具の保有状況(抜粋)	68
化学消火薬剤保有状況	69
油処理剤保有状況	69
消防水利の状況	70
耐震性防火水槽設置状況	70
年間出動状況及び燃料消費量	71
月別出動状況	73
緊急通報受信状況	74
携帯119転送受信状況	74
覚知方法別受信状況	74
携帯電話別受信件数	74
久万高原町における気象記録	75
気象観測年報	76

## 火災統計編

火災発生状況	77
火災一覧表	88
地区別火災発生状況	79
月別火災発生状況	80
時間帯別火災発生状況	81
地区別火災発生一覧表	82

## 救急編

年別救急活動状況	83
月別救急活動状況	84
署・地区別救急活動状況	85
覚知方法別状況	85
曜日別発生件数状況	86
時間帯別発生件数状況	86
居住区別搬送人員の対人口比	86
年齢別区分搬送人員状況	87
医療機関別収容人員の状況	88
収容機関別状況	89
事故種別・傷病程度	89
急病疾患別内訳	90
事故種別・理由別不搬送	90
緊急電話受信時における口頭指導内容	91
応急処置及び拡大処置件数	91

現場到着所要時間	92
収容所要時間状況	92
平均出場時間	92
ドクターヘリの運行・ドクターカー運用状況	93
ドクターヘリ運航状況	94

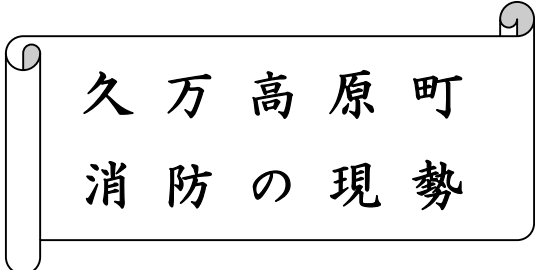
## 救助編

救助出動及び活動状況	95
年間の主な訓練と行事	95
救助関係資器材の保有状況	96
ヘリコプター新離着陸場一覧	97

## 消防団編

消防団の沿革	99
階級別消防団員数	103
消防団員の職業構成	103
年齢別消防団員数	104
在職年数別消防団員数	104
消防団員の退職・新任状況	104
消防団年俸調べ	104
消防団手当調べ	104
久万高原町消防団組織図	105
各方面隊別出動範囲	106
本部消防隊	107
久万方面隊	107
消防ポンプ自動車調査表	107
消防積載自動車調査表	107
小型(可搬)ポンプ配置調査表	107
面河方面隊	108
消防積載自動車調査表	108
小型(可搬)ポンプ配置調査表	108
美川方面隊	108
消防積載自動車調査表	108
小型(可搬)ポンプ配置調査表	109
柳谷方面隊	109
消防積載自動車調査表	109
小型(可搬)ポンプ配置調査表	109
方面隊別消防団保有資器材	110
消防団幹部調べ	111
久万高原町消防団長	111
久万高原町消防操法大会成績表	112
愛媛県消防操法大会成績表	113





久万高原町  
消防の現勢

## 久万高原町の概要

### 〔位 置〕

四国山脈は石鎚山から西と南西に主脈を分けて走り、久万高原町はこの主脈に挟まれた標高 400～800m の山岳丘陵地域です。北に松山市、伊予郡、東温市、東に西条市、南に高知県、西に喜多郡、西予市と接し、県下でも数少ない海を持たない地域です。

### 〔気 候〕

夏は冷涼多雨、冬は寒気厳しく平均して 12 月下旬から 3 月初旬まで降雪があり、10 月下旬に初霜、5 月初旬に晩霜を見るという内陸高冷地型の気候です。そのため、夏には「四国の軽井沢」、冬は「四国の北海道」と呼ばれています。

### 〔産 業〕

基幹産業は農林業であり、厳しい自然条件が育てる杉・檜などの良質な木材や、夏季冷涼な気候を生かしたトマト・ピーマン・清流米などの高原野菜の生産が町の産業を支えています。

### 〔観 光〕

久万高原町は、平均標高 800m の冷涼な気候に恵まれ、面河溪、石鎚山、御三戸、四国カルスト、皿ヶ嶺など従来より避暑地、行楽地として多く人が訪れます。また、四国霊場 88 ヶ所の札所 44 番大宝寺、45 番岩屋寺があり、遍路姿の巡礼者も多く訪れています。

### 〔町村合併〕

平成 16 年 8 月 1 日、1 町 3 村(久万町、面河村、美川村、柳谷村)の合併により久万高原町が誕生しました。

### 〔消防業務〕

平成 16 年 12 月 31 日、町村合併に伴い昭和 48 年から 31 年続いた『上浮穴郡生活環境事務組合』の歴史に幕を閉じ、平成 17 年 1 月 1 日から久万高原町を管轄とする『久万高原町消防本部・署』として業務を継承しています。

また、平成 17 年 4 月 1 日から消防団事務も新たに加わりました。平成 28 年 6 月 23 日には、久万高原町下野尻に消防本部・署新庁舎が完成し、運用を開始しました。



## 面積・人口・世帯数

平成22年の国勢調査での総人口は9644人で、その後、人口の都市集中により、過疎化と高齢化の一途をたどり、令和5年3月31日現在、平成22年の75.9%にあたる7,329人(高齢化率49.67%)まで減少しています。

構成 地区別	区分	面積 km <sup>2</sup>	人 口			世 帯 数		
			平成22年 国勢調査	令和4年 3月31日	令和5年 3月31日	平成22年 国勢調査	令和4年 3月31日	令和5年 3月31日
久万高原町	久万	164.95	9,644	7,564	7,329	4,468	4,191	4,080
	面河	157.81						
	美川	134.38						
	柳谷	126.55						
合 計		583.69	9,644	7,564	7,329	4,468	4,191	4,080

## 久万高原町消防機関配置図



凡 例

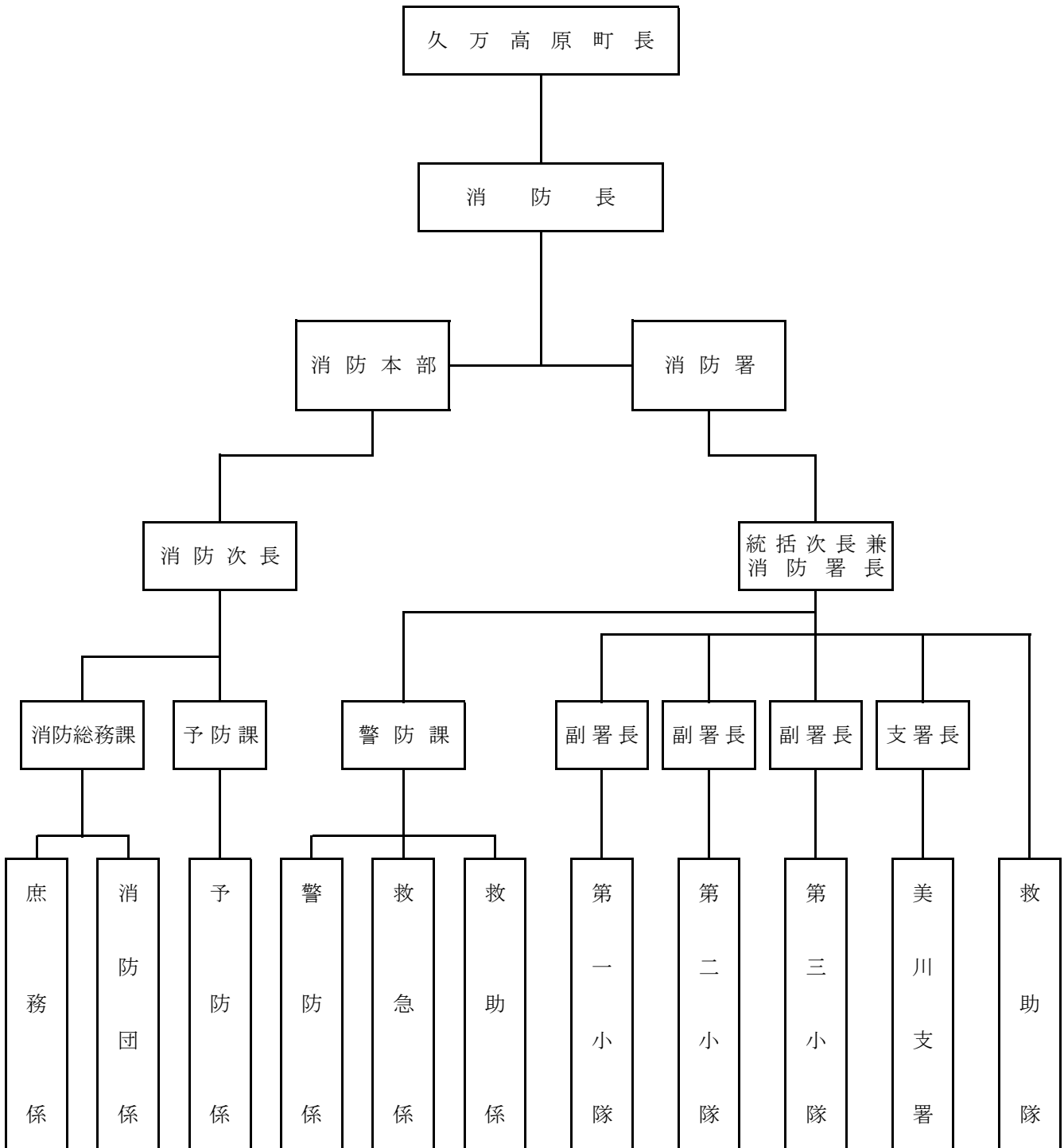
	本部・署
	支 署
	団本部
	無線基地局

## 消防本部・署所の所在地および庁舎等の現況

名 称	所 在 地		
久 万 高 原 町 消 防 本 部 ・ 消 防 署	庁舎・車庫棟	上浮穴郡久万高原町下野尻甲33番地	
		建 築 構 造	延べ面積
		鉄筋コンクリート・3階建	1,821.30㎡
	訓練主塔	鉄筋コンクリート・3階建	122.50㎡
	車庫棟	鉄骨造・1階建	148.14㎡
	土嚢・砂置棟	鉄骨造・1階建	22.75㎡
	特定屋内貯蔵所	鉄骨造・1階建	18.11㎡
	自転車 プロパン置場	そ の 他	13.37㎡
合計	敷地面積	9,839.42㎡	
	建築面積	1,307.51㎡	
	延床面積	2,146.17㎡	
消 防 署 美 川 支 署	上浮穴郡久万高原町上黒岩2923番地1		
	建 築 構 造	延べ面積	
	鉄筋コンクリート・4階建 (地下室・1階の一部)	2462.91㎡ (161.05㎡)	
消 防 署 無 線 中 継 所	上浮穴郡久万高原町日野浦4368番地 (大川嶺基地局)		
	上浮穴郡久万高原町柳井川3537番地 (柳谷基地局)		
	上浮穴郡久万高原町久万188番地 (久万中継局)		
	建 築 構 造	延べ面積	
	鉄筋コンクリート造 (大川嶺基地局)	30.25㎡	
	軽量鉄骨造 (柳谷基地局)	20.00㎡	
	軽量鉄骨造 (久万中継局)	12.00㎡	
久 万 高 原 町 緊 急 援 護 物 資	「道の駅」 防災拠点施設	上浮穴郡久万高原町入野1850番地2	
		建 築 構 造	延べ面積
		鉄筋コンクリート造・2階建	238.00㎡
	美川支署内	上浮穴郡久万高原町上黒岩2923番地1	
		建 築 構 造	延べ面積
	鉄筋コンクリート (地下駐車場内)	15.00㎡	

# 消防本部の組織

[組織]



### 歴代組合長・町長

年代	氏名	在任期間	在任年数
初代	日野 泰	自昭和48年4月1日 至昭和50年4月29日	2年
2代	河野 修	自昭和50年5月16日 至平成11年4月29日	24年
3代	玉水 寿清	自平成11年6月1日 至平成20年9月11日	10年
4代	高野 宗城	自平成20年9月12日 至平成28年9月11日	9年
5代	河野 忠康	自平成28年9月12日 至現在に至る	

### 歴代消防長

年代	氏名	在任期間	在任年数
初代	山下 岩男	自昭和53年4月1日 至昭和58年3月31日	5年
2代	中嶋 徹	自昭和58年4月1日 至平成63年3月31日	5年
3代	平岡 新太郎	自昭和63年4月1日 至平成5年3月31日	5年
4代	城戸 武士	自平成5年4月1日 至平成17年3月31日	12年
5代	山本 進	自平成17年4月1日 至平成20年3月31日	3年
6代	小倉 一幸	自平成20年4月1日 至平成25年3月31日	5年
7代	織川 真二	自平成25年4月1日 至平成31年3月31日	6年
8代	高野 貢	自平成31年4月1日 至令和3年3月31日	2年
9代	大野 秋義	自令和3年4月1日 至令和5年3月31日	2年
10代	大野 秋義	自令和5年4月1日 至現在に至る	

### 歴代消防署長

年代	氏名	在任期間	在任年数
初代	山下 岩男	自昭和53年4月1日 至昭和58年3月31日	5年
2代	中嶋 徹	自昭和58年4月1日 至平成63年3月31日	5年
3代	城戸 武士	自昭和63年4月1日 至平成15年3月31日	15年
4代	小倉 一幸	自平成15年4月1日 至平成20年3月31日	5年
5代	織川 真二	自平成20年4月1日 至平成24年3月31日	4年
6代	平岡 幸夫	自平成24年4月1日 至平成30年3月31日	6年
7代	高野 貢	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日	1年
8代	大野 秋義	自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	1年
9代	明賀 徹	自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	1年
10代	岡本 剛	自令和3年4月1日 至現在に至る	

# 消防本部重点施策

近年、災害や事故に対する不断の備えの重要性はますます増大し、住民の消防に寄せる期待は極めて大きなものがあります。消防行政において第一時的な役割を担っている地方公共団体は安全で安心な地域社会づくりに向け、消防防災行政の推進及びその体制の充実強化を図っています。

また、久万高原町は高齢者が49.67%を占める超高齢化社会の進展した町であり、このことを踏まえ職員一人ひとりが社会と住民のニーズに応え得る消防行政に邁進し、毎日が安全であるという確かな手応えが得られるよう職務に精励しなければなりません。

これらの背景を踏まえ、令和4年度においては下記の事項を重点施策として掲げ、「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「連携と実践による福祉消防」に努めました。

重点施策	主な推進策
1 消防防災体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災対策の充実強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域防災計画の見直しに伴う警防計画の整備</li> </ul> </li> <li>● 消防体制の充実強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防機関間の柔軟な連携・協力の推進</li> <li>・ 訓練及び災害活動における安全管理の徹底</li> <li>・ トンネル災害を想定した訓練及び隣接消防との連携訓練</li> </ul> </li> <li>● 救急業務の高度化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急救命士再教育及び職員の教育研修</li> <li>・ 計画的な救急救命士の新規養成及び指導的立場の救急救命士養成</li> <li>・ 救急活動におけるICT技術等の活用の研究</li> <li>・ 救急活動時における安全管理徹底と感染防止対策</li> </ul> </li> </ul>
2 地域の防災対応能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の防災能力の向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域における防災力の強化</li> <li>・ 防災ボランティアの育成と自主防災組織の育成強化</li> <li>・ 消防団を中核とした地域防災力の充実強化</li> <li>・ 高齢者を対象とした住宅防火対策の推進</li> </ul> </li> <li>● 住民の防災意識と行動力の向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防火・防災対策の推進</li> <li>・ 災害時要援護者対策</li> <li>・ AED普及に伴う救命講習の推進</li> </ul> </li> </ul>
3 将来に向けた組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消防職員の資質の向上対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創造性の醸成と日常業務の創意工夫の実践, 職責の完遂</li> <li>・ 安全運転と道路交通法の厳守</li> <li>・ 法, 条例, 規則, 規程等の習熟と遵守</li> <li>・ 働きやすい職場環境づくりへの取組み(ハラスメントの防止)</li> </ul> </li> <li>● 消防の広域化等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防広域化の推進期限の延長に伴う調査研究</li> <li>・ 女性消防吏員の職域拡大に関する検討</li> </ul> </li> </ul>

## 消防力の現況

区 分		基準数	現有数	充足率(%)
施設	消 防 署 所	2	2	100
消 防 車 等	指 揮 車	1	1	100
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	100
	救 急 自 動 車 ( 非 常 用 1 台 除 く )	3	3	100
	救 助 工 作 車	1	1	100
	そ の 他 特 殊 車 両	5	5	100
	合 計	12	12	100
人  員	指 揮 隊 員	10	3	30
	消 防 隊 員	24	16	67
	救 急 隊 員	21	18	86
	救 助 隊 員	17	1	6
	警 防 要 員 小 計	62	34	55
	予 防 要 員	2	2	100
	通 信 員	3	3	100
	庶 務 の 処 理 等 の 人 員	7	7	100
	小 計	12	12	100
	合 計	74	46	62
水 利	消 防 水 利 数	1187	859	72

※基準数は令和4年度消防力の整備指針による。



## 消防職員

消防職員は、住民の期待に応えるべく、防災の担い手として、住民の命と暮らしを守り、安全な地域づくりに向けて、災害の予防、災害の防御、救急救助の消防業務に尽力していきます。

現在の職員には、災害の複雑多様化、高度情報化の進展をはじめとする時代の変化に対応し、また、住民に密着した防災行政を適切に遂行できる防災行政職員としての手腕が求められます。

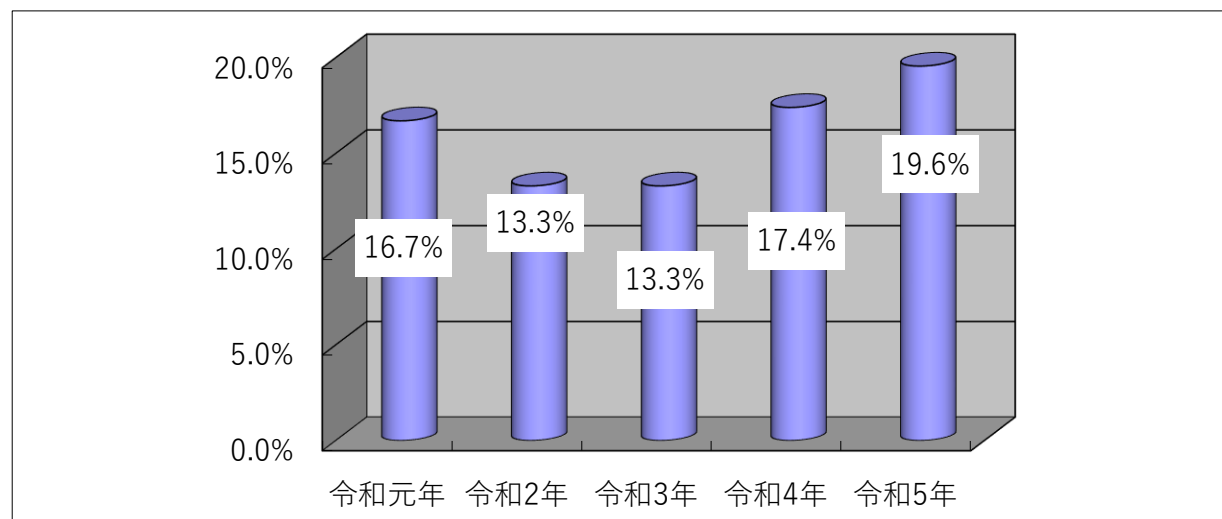
階級		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
消防本部	消防長	1	—	—	—	—	—	—	1
	消防次長	—	2	—	—	—	—	—	2
	消防総務課	—	2(1)	—	—	—	—	—	2(1)
	予防課	—	1(1)	—	—	—	—	—	1(1)
	警防課	—	(1)	—	—	—	—	—	(1)
	本部付	—	—	—	—	—	2	—	2
	団係	—	—	1	—	—	—	1	2
	役場出向	—	1	—	—	—	—	—	1
計	1	6(3)	1	0	0	2	1	11(3)	
消防署	署長	—	(1)	—	—	—	—	—	(1)
	副署長・支署長	—	4	—	—	—	—	—	4
	第1小隊	—	—	2	2	—	3	—	7
	第2小隊	—	—	3	2	1	2	—	8
	第3小隊	—	1	2	2	1	2	—	8
	美川支署	—	—	3	3	—	2	—	8
計	0	5(1)	10	9	2	9	0	35(1)	

( ) 兼務

### 〔職員の年齢構成〕

令和5年4月1日現在の消防職員の平均年齢は36.8歳であり、50歳以上の職員構成は19.56%となっています。

### 〔50歳以上の職員構成〕



## 消防予算

令和5年度消防予算は、財源の効率的かつ重点的な配分と経費の節減に努め、これまでに進めてきた施策や事業の着実な実現を図るとともに、災害に強く住民が「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「連携と実践による福祉消防」を推進することとしました。この基本姿勢のもとに編成当初予算473,186千円となっています。

### 〔一般会計予算に対する消防費の割合〕

区 分		令和5年度当初予算（千円）
一般会計予算額		8,978,287
消防費（町全体）		473,186
一般会計対構成比		5%
消防費内訳	常備消防費	316,610
	非常備消防費	53,564
	消防施設費	76,539
	災害対策費	26,473

### 〔令和4年度消防予算額〕

区 分		令和4年度当初予算額 （千円）	令和3年度当初予算額 （千円）	対前年度予算の増減 (▲は減)	
				比較(千円)	割合(%)
消防費		450,009	521,334	▲ 71,325	▲ 13.7
内 訳	人件費	318,965	308,059	10,906	3.5
	物件費	104,674	78,726	25,948	33.0
	維持補修費	600	108,175	▲ 107,575	▲ 99.4
	補助費	25,760	26,359	▲ 599	▲ 2.3
	普通建設事業費	0	0	0	—
	積立金	10	15	▲ 5	—

### 〔主な事業の概要〕

- |                                    |    |
|------------------------------------|----|
| (1) 救急救命九州研修所救急救命士研修課程第41期(北九州市)   | 1名 |
| (2) 令和4年度山岳遭難救助研修会(富山市)            | 1名 |
| (3) 令和4年度緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練(徳島市) | 3名 |
| (4) 令和4年度緊急消防援助隊全国合同訓練(静岡県牧之原市)    | 5名 |
| (5) 救難救助ボート(アキレスLRB330)整備          |    |
| (6) 高規格救急自動車高度救命処置用資機材整備           |    |

#### 非常備分

- |                        |
|------------------------|
| (1) 小型動力ポンプ付軽四輪駆動積載車整備 |
|------------------------|

火災履歴の  
検 証

# 火災の実態

## (1) 出火件数 10 件

令和 4 年中の出火件数は 10 件(建物火災 3 件, 建物火災以外の火災 7 件)となっています。出火率は, 13.2 件/万人(人口 1 万人あたりの出火件数)で, 全国平均の出火率 2.8 件/万人(令和 4 年版「消防白書」)を大きく上回っています。

### < 令和4年中 >

火災件数	10 件	損害額(全火災)	6,493 千円
建物火災件数	3 件	損害額(建物火災)	3,743 千円
建物以外の火災件数	7 件	被災世帯数	1 世帯
建物焼損床面積	309 m <sup>2</sup>	被災人員	1 人
林野焼損面積	34 a	死者	0 人
焼損棟数	4 棟	負傷者	2 人

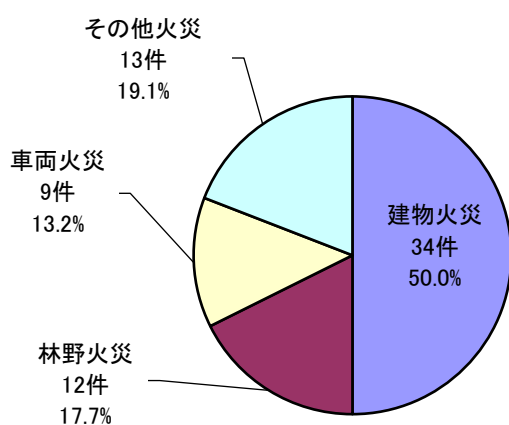
久万高原町人口 : 7,564 人

(注) 人口は令和 4 年 4 月 1 日現在

## (2) 建物火災の占める割合は約 5 割

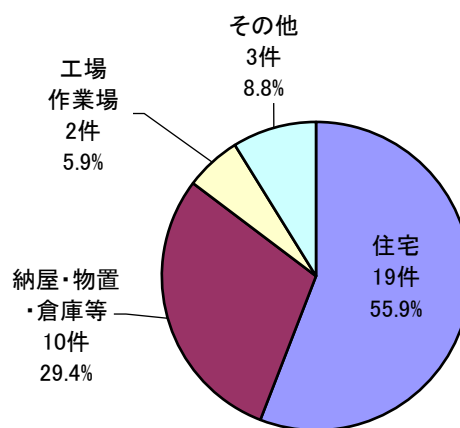
平成 25 年から令和 4 年までの火災出火件数 68 件のうち, 建物火災は 34 件(50.0%)となっています。また, 建物火災を用途別にみると, 住宅火災が 19 件と最も多く, 全体の 55.9%を占めています。

### < 火災種別出火件数の構成比率 >



(平成 25 年～令和 4 年/出火件数 68 件)

### < 建物火災における用途別構成比率 >



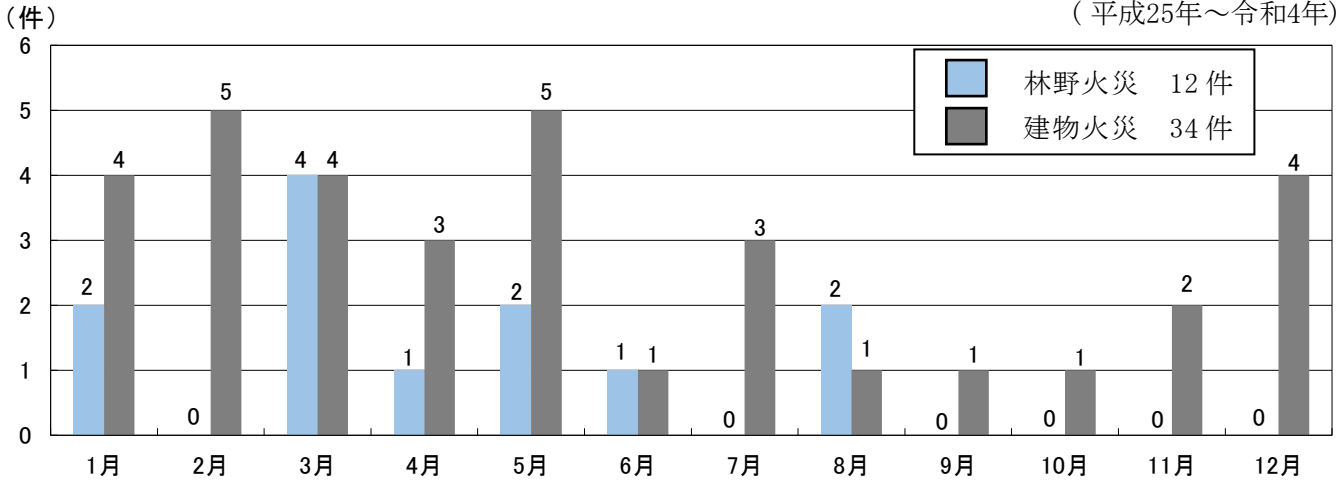
(平成 25 年～令和 4 年/建物火災件数 34 件)

## (3) 建物火災は冬季から春季が多発傾向

令和 4 年中は 2 月に 2 件, 11 月に 1 件建物火災が発生しています。過去 10 年間の月別出火件数をみると, 建物火災は冬季から春季にかけて, 林野火災は春季に多く発生する傾向があります。

### 〈林野及び建物火災の月別出火件数〉

(平成25年～令和4年)



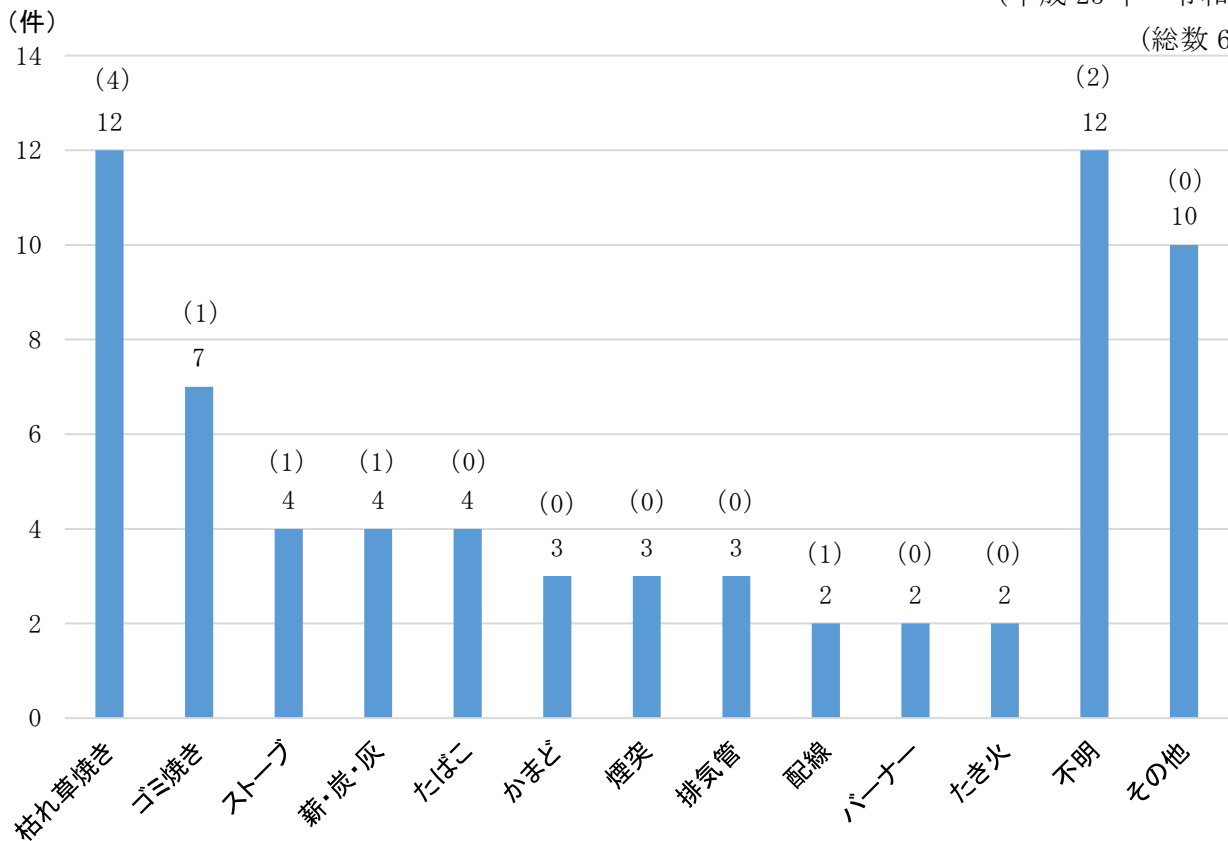
#### (4) 火災原因の大半は火気取扱いの不注意

平成25年から令和4年までの火災原因（出火件数68件）みると、枯れ草焼き12件（17.6%）、ゴミ焼き7件（10.3%）、ストーブ、薪・炭・灰、たばこが各4件（5.9%）等となっています。令和4年においても枯れ草焼き4件のほか、火気取扱いの不注意による火災が多く発生しています。

### 〈火災原因別の出火件数〉

(平成25年～令和4年)

(総数68件)

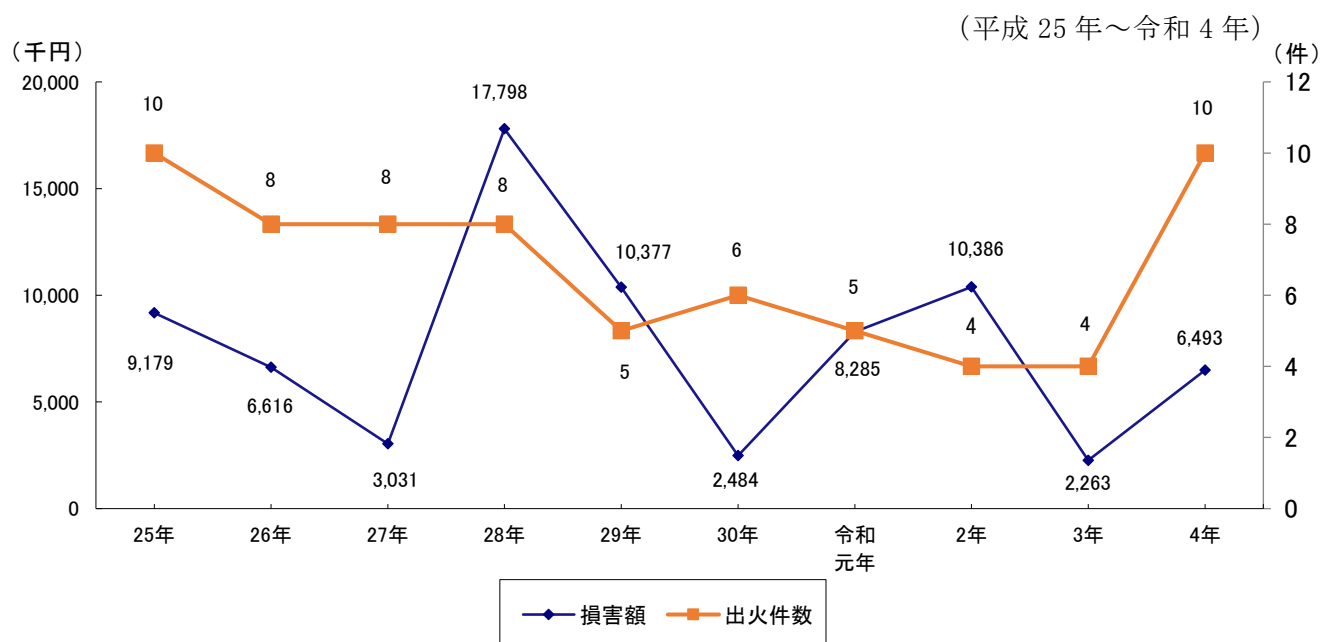


※( )内は令和4年中の出火原因件数

### (5) 出火件数は 10 年間で最も多く、損害額は前年の約 2.9 倍増

令和 4 年の出火件数は 10 件と前年より 6 件増、過去 10 年間でみても平成 25 年と同件数で最も多くなっています。また、損害額は 649 万 3 千円となっており、前年より約 2.9 倍増加しています。

〈過去 10 年間の出火件数と損害総額の推移〉



### (6) 死傷者 2 名発生

令和 4 年中の死傷者は、負傷者 2 名、死者 0 名となっています。なお、死者については、平成 29 年 5 月以降発生していません。

〈死傷者件数〉

(平成 25 年～令和 4 年)

年 区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和 元年	令和2年	令和3年	令和4年
死者	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
負傷者	0	0	0	2	0	1	0	1	1	2

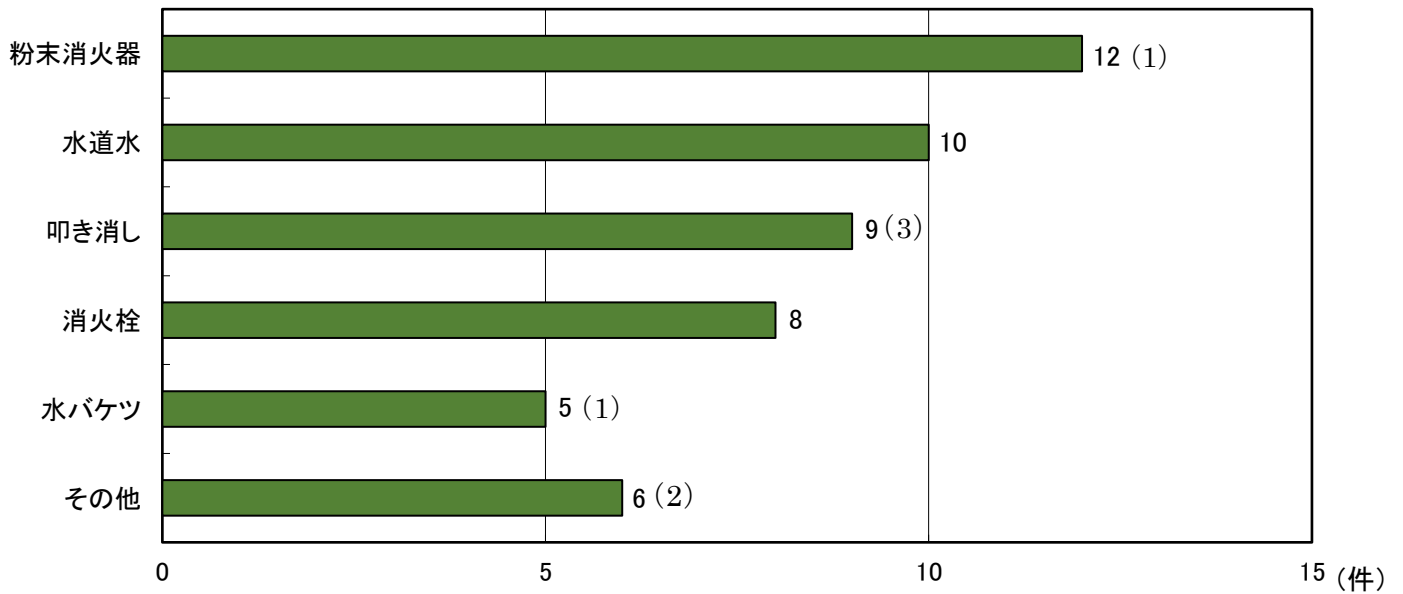
### (7) 初期消火実施率 70%

令和 4 年中の火災 10 件において、初期消火が実施されたのは 7 件です。初期消火方法は叩き消し 3 件、粉末消火器、水バケツ各 1 件、その他 2 件となっています。このうち、初期消火に成功した火災は 2 件(叩き消し、その他)です。

また、過去 10 年間で初期消火の状況を見ると、全火災 68 件中 50 件(73.5%)で実施されており、内訳は粉末消火器が最も多く 12 件、水道水 10 件、叩き消し 9 件、消火栓 8 件、水バケツ 5 件、その他 6 件となっています。

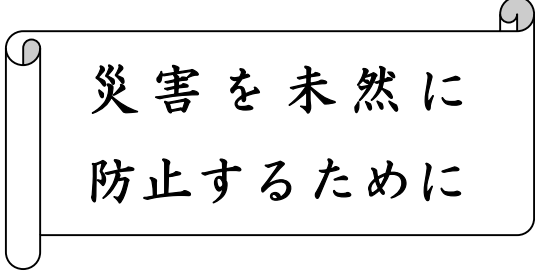
### 〈初期消火実施件数〉

(平成 25 年～令和 4 年)



※( )内は令和 4 年中の初期消火実施件数

※同一火災において、複数の消火器具を使用した事例があるため件数と使用器具数は異なります。



災害を未然に  
防止するために



## 火災予防

### 〔広報活動〕…住民とふれあうなかで期待に応える

消防広報は、その実態や各種施策を広く住民に伝え、理解と協力を得るとともに、住民とふれあうなかで、要望・意見等を吸い上げ、消防行政に反映するために行う重要な活動です。

当消防本部では、広報誌・ホームページを活用し、災害や防火防災に関する消防情報の提供や、高齢者宅防災診断、防火ポスター等コンクール、消防団及び幼・少年・女性防火クラブの活動、火災予防運動等を通じた防火防災思想の普及など、積極的な広報活動を展開しています。

### 〔幼・少年・女性防火委員会〕…地域に根ざした防災活動

管内の人口減少と高齢化の現状を踏まえ、地域に根ざした防災活動を行うため、幼・少年・女性防火委員会を設置し、各クラブの結成と人材育成を図り、住民が「安全で安心して暮らせる地域づくり」を目指しています。

#### ＜幼・少年・女性防火クラブ結成状況＞

区 分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
幼年消防クラブ	クラブ数	5	1	1	1	8クラブ
	クラブ員数	129	4	5	2	140人
少年消防クラブ	クラブ数	6	1	2	1	10クラブ
	クラブ員数	91	5	34	2	132人
女性防火クラブ	クラブ数	4	1	-	-	5クラブ
	クラブ員数	122	9	-	-	131人

### 〔防火・防災に関する知識・技術の住民普及〕…地域ぐるみの防災体制と共助の力を強化

災害時に被害の軽減を図るためには、普段から近隣や地域とのつながり・結びつきを大切にし、住民一人ひとりの高い防火・防災意識に基づいた迅速、的確な通報・初期消火・避難はもちろんのこと、正しい知識と行動力を身につけた自主的な防災活動が不可欠です。

このようなことから、防火クラブ、自治会（自主防災組織）や事業所等への防火・防災知識の普及、防災訓練等を通じて地域ぐるみの防災体制の強化を図っています。

#### ＜防災・防火教室等実施状況＞

区 分	学校関係	事業所	地域関係	総 計
実施回数	9	29	-	38回
参加者数	601	615	-	1,216人

# 住宅防火対策

## 〔住宅用火災警報器設置の推進〕…家族や財産を守るために

平成 21 年以降、火災による死傷者は、おおむね減少傾向となっていますが、犠牲者の約7割が 65 歳以上の高齢者となっています。また、81 歳以上の高齢者では、全年齢階層における平均の 3.9 倍と著しく増加していることから、高齢者宅の火元の点検や、高齢者の防火・防災意識の向上を図ることを目的とした防災診断を実施しています。

また、死亡に至った主な要因として、逃げ遅れによるものが約半数を占めていることから、住宅火災の逃げ遅れによる犠牲者を減らすことを目的とし、住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。

住宅用火災警報器の普及は、住宅防火対策の「切り札」と言え、地域の安心・安全を確保する上で極めて重要な課題です。また、設置義務化から 10 年以上経過しており、設置普及と共に、適正な維持管理の方法についても強化を図っていく必要があります。

### <防災診断実施状況>

区 分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
一人暮らし のお年寄り 防災診断	訪問対象戸数	256	39	115	55	465 戸
	在 宅 数	133	21	81	34	269 戸
	在 宅 率	52.0	53.8	70.4	61.8	57.8 %
	不在者宅数	110	16	31	21	178 戸
後期高齢者 夫婦世帯等 防災診断	訪問対象戸数	147	25	63	32	267 戸
	在 宅 数	95	20	46	19	180 戸
	在 宅 率	64.6	80.0	73.0	59.4	67.4 %
	不在者宅数	48	5	16	13	82 戸

※ 訪問対象外等により、訪問対象戸数と在宅数、不在者宅数の合計は一致しない。

### <住宅用火災警報器の都道府県別設置率及び条例適合率> (令和4年 6 月 1 日現在)

都道府県(順位)	設置率	都道府県(順位)	条例適合率
福井県 ( 1 )	96.1%	福井県 ( 1 )	81.2%
愛媛県 (28)	81.1%	愛媛県 (11)	70.3%
全 国	84.0%	全 国	67.4%
久万高原町	86.0%	久万高原町	70.0%

※ 標本調査のため、各数値は一定の誤差を含む。

※ 設置率とは、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分のうち、一箇所以上設置されている世帯(条例適合世帯を含む)の全世帯に占める割合。

※ 条例適合率とは、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分すべてに設置されている世帯(条例適合世帯という。)の全世帯に占める割合。

# 危険物

## 〔危険物保安の広報と指導〕

危険物施設の事故原因を分析すると、管理や確認が不十分であるなど人的要因によるものが多いことから、危険物施設の立入検査を実施し、事業所における自主保安体制の確立を推進するとともに、広く国民の危険物に対する意識の高揚及び啓発を図るため、毎年6月の第2週を「危険物安全週間」と定め、全国的に啓発運動を実施しています。

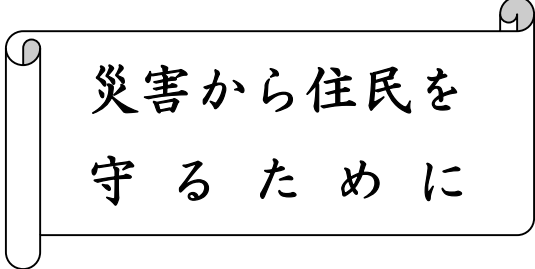
### <危険物事業所数>

地 域	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
事業所数	25	1	5	2	33

### <危険物施設の状況>

区 分	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
屋内貯蔵所	2	-	-	-	2
屋外タンク貯蔵所	3	-	1	-	4
屋内タンク貯蔵所	1	-	-	-	1
地下タンク貯蔵所	7	-	-	1	8
簡易タンク貯蔵所	2	-	-	-	2
移動タンク貯蔵所	7	-	2	-	9
屋外貯蔵所	-	-	-	-	-
給油取扱所	10 (3)	1 (1)	4 (2)	1 (0)	16 (6)
一般取扱所	3	-	1	-	4
合 計	35	1	8	2	46

※ ( )は自家用給油取扱所再掲



災害から住民を  
守るために

## 消防活動体制及び消防隊の活動状況

当消防本部では、効果的な消防活動体制を確立するため、日々消防隊の活動能力の向上に努めるとともに、消防団をはじめとする関係機関と各種災害を想定した合同訓練等を継続的に実施し、連携強化を図っています。

### <消防隊の火災出動状況>

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

区 分	合 計	準市街地 建物火災	その他地域 建物火災	車両火災	林野火災	その他火災
火災出動件数	5	1	—	1	1	2
出 動 隊 数	31	7	—	5	8	11

注) 救急車の出動は除く

### <消防隊の活動状況>

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

区 分	出 動 件 数	出 動 隊 数	放 水 隊 数	放 水 量  ( $m^3$ )	ホ ー ス  (本)	活 動 内 容				
						救 助 隊 活 動 数	指 揮 隊 活 動 数	消 火 隊 活 動 数	活 動 隊 支 援 数	
建 物 火 災	1 次出動	1	4	2	25	19	1	1	2	—
	2 次出動	1	3	—	—	—	—	—	—	3
	3 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	2	7	2	25	19	1	1	2	3
建 物 以 外	1 次出動	4	15	4	15.6	44	—	2	3	10
	2 次出動	4	9	—	—	—	—	—	1	8
	3 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	8	24	4	15.6	44	—	2	4	18
合 計	10	31	6	40.6	63	1	3	6	21	

注) 救急車の出動は除く

# 消防相互応援体制の状況

## 〔消防相互応援協定〕

- 伊予・大洲・久万高原広域消防相互応援協定(平成 17 年 11 月 1 日)  
伊予消防等事務組合・大洲地区広域消防事務組合・大洲市・伊予市・砥部町・内子町・久万高原町
- 中予地区広域消防相互応援協定(平成 31 年 3 月 29 日)  
松山市・伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町・伊予消防等事務組合
- 西部四国山地消防相互応援協定(昭和 45 年 9 月 1 日) ※令和 4 年 10 月 7 日一部改正  
西予市・鬼北町・久万高原町・津野町・四万十町・梶原町・中土佐町・仁淀川町・高幡消防組合  
高吾北広域町村事務組合 10 団体
- 真弓トンネル内における消防活動に関する覚書(平成 17 年 11 月 1 日)  
内子町、久万高原町、久万高原町消防本部、大洲地区広域消防事務組合消防本部
- 愛媛県消防広域相互応援協定(平成 18 年 4 月 1 日)  
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 広域消防相互応援協定(平成 18 年 4 月 1 日)  
仁淀消防組合・いの町・久万高原町・久万高原町消防本部
- 高幡消防組合と久万高原町相互応援協定(平成 21 年 6 月 1 日)  
須崎市・四万十町・中土佐町・梶原町・津野町・久万高原町
- 高幡消防組合と久万高原町相互応援協定実施に関する覚書(平成 21 年 6 月 1 日)  
高幡消防組合・久万高原消防本部
- 三坂道路に係る消防相互応援に関する覚書(平成 24 年 3 月 1 日) ※令和 3 年 4 月 1 日一部改正  
松山市消防局・久万高原町消防本部・伊予消防等事務組合消防本部
- 橋中津トンネルに係る消防相互応援に関する覚書(令和 2 年 1 月 10 日)  
高吾北広域町村事務組合消防本部・久万高原町消防本部

## 〔その他の応援協定〕

- 救急搬送協定(昭和 54 年 2 月 13 日)  
高吾北広域町村事務組合消防本部
- 救急業務応援協定(昭和 54 年 6 月 29 日)  
西条市
- 救急救命処置に関する覚書(平成 7 年 12 月 22 日)  
国民健康保険久万町立病院・医療法人社団マリナ会西本医院
- 愛媛県消防防災ヘリコプター応援協定(平成 8 年 10 月 1 日)  
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 携帯電話からの 119 番通報、転送等に関する協定書(平成 17 年 10 月 各消防本部直接受信)  
松山市消防局 10/4 伊予消防等事務組合消防本部 10/11  
西予市消防本部 10/20 西条市・東温市消防本部 10/24  
大洲地区広域消防事務組合消防本部 10/27
- 愛媛県消防防災ヘリコプターの支援に関する協定(平成 18 年 4 月 1 日)  
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 愛媛県立中央病院ドクターカーに関わる相互応援協定(平成 22 年 3 月 8 日)  
愛媛県公営企業管理者・久万高原町長

# 緊急消防援助隊

## 〔契機・発足及び実績〕

緊急消防援助隊は、平成 7 年に発生した阪神・淡路大震災を契機に、同年創設されました。その後、平成 15 年 6 月に消防組織法の改正により法制化され、平成 16 年 4 月から法制度上明確化のうえ新たに発足しました。

平成 7 年の創設以来、平成 16 年新潟県中越地震、平成 17 年 JR 西日本福知山線列車事故、また、当消防本部も出動した平成 23 年東日本大震災、近年では、平成 30 年 7 月豪雨、令和元年東日本台風等、令和 2 年 7 月豪雨、静岡県熱海市土石流災害など、全国各地で発生した大規模及び特殊な災害に対し、令和 4 年 1 月末までの間に 43 回の出動実績があります。

### 1. 登録部隊

全国の登録部隊数は、令和 4 年 4 月現在 6,606 部隊となっており、「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」（平成 26 年 3 月改正）で定められた目標隊数 6,600 隊を上回りました。

当消防本部は、消火小隊（平成 7 年 9 月 5 日）、救急小隊（平成 13 年 1 月 23 日）各 1 隊を登録し、緊急消防援助隊の出動に備えています。

### 2. 国庫補助制度

消防組織法第 44 条第 5 項に基づく指示を受けて出動した緊急消防援助隊の活動により、必要となる費用やその他政令で定める経費等は、国庫負担制度によって国が負担します。さらに、活動中に必要であれば消防組織法第 49 条の規定に基づき、消防用の国有財産・物品を無償で使用することが可能となっています。

### 3. 緊急消防援助隊全国合同訓練

消防庁では、緊急消防援助隊の消火・救助技術や指揮・連携活動能力等の向上を図ることを目的に、創設以来おおむね 5 年に 1 回、全国の緊急消防援助隊が一同に会して行う全国合同訓練を実施しています。

第 6 回全国合同訓練は、南海トラフ巨大地震が発生したことを想定し、令和 4 年 11 月に静岡県で開催され、当本部からは消火小隊 1 隊 5 名が参加しました。

### 4. 保有資機材

国有無償使用物品

個人線量計	X線用線量率計	ガンマ線及び個人線量計	X線用線量率計	ガンマ線及び個人線量計	表面汚染検査計	全面マスク
5	1	3	1	1	1	5

後方支援物品

寝袋	簡易ベッド	机	暖房器具	燃料携行缶	ガスボンベ	調理器具	発電機	投光器	リアカー	エアータント	簡易トイレ
10	10	2	4	4	9	3	1	1	2	1	5

## 情報通信

### 〔緊急通報〕

災害情報は緊急性と正確性を要するため、収集した情報は直ちに分析し、正確な情報を活動現場、活動部隊、及び防災関係機関等に伝達、共有することが極めて重要です。

平成 28 年 6 月から 119 番通報受信装置の更新に伴い、統合型位置情報通知装置を導入し、119 番通報において災害発生場所の特定が迅速かつ容易になっています。しかし、携帯電話による 119 番通報においては、機能及び設定、電波状況等により誤差が大きくなり、正確な位置の特定が困難な場合もあります。

平成 29 年 11 月から 119 番の日に合わせて、中予地区消防本部の通信指令員を育成するため、口頭指導技術発表会を年 1 回開催し、令和 2 年度から県内の消防本部に規模を拡大し育成を図っています。また、令和 2 年 4 月から中予地区消防本部口頭指導マニュアルの運用を開始しています。

令和 4 年における通報件数は 762 件となっており、うち 119 番通報件数が 490 件、一般加入電話通報件数が 247 件、その他通報件数が 25 件となっています。通報件数は過去 10 年間のピーク時と比較し、約 26%減少しています。

### <通報件数(過去 10 年間)>

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
119番	718	724	602	513	526	525	476	442	483	490
(内携帯電話)	( 166 )	( 240 )	( 174 )	( 154 )	( 176 )	( 199 )	( 188 )	( 190 )	( 218 )	( 246 )
一般加入	265	267	204	236	233	189	243	230	232	247
その他	42	36	19	20	26	45	29	34	26	25
合計	1,025	1,027	825	769	785	759	748	706	741	762

### 〔消防無線〕

消防無線は、平成 26 年 3 月から 260MHz 帯の周波数を使用したデジタル方式による無線方式に移行しています。管内面積(583.69km<sup>2</sup>)が広大であることから、町内に基地局 2 箇所、中継局 1 箇所を整備し、無線不感地帯の解消、携帯電話・衛星電話を配備し通信網の多ルート化を図っています。災害時には、現地災害対策本部に可搬型無線機を設置するなど、消防・防災活動の要とも言える情報通信網の確保を図っています。また、消防団との連携を密にするため、消防団指令車・ポンプ車等に 260MHz 帯デジタル方式の消防無線(10W)を装備及び町防災行政無線の移動系端末を通信指令室に配置し、二系統の連絡を細やかにするとともに、広域応援等が行われた場合の通信確保のため、主運用波・統制波を実装し応援側と受援側の連絡を適切に行うようにしています。

また、全国各地で頻発している台風・豪雨災害や、近年発生が予測されている南海トラフ巨大地震等では、消防無線網が輻輳状態となることが懸念されます。このことから災害の多発や緊急消防援助隊での活動時等に、自隊間の連絡統制の確立を目的として、令和 2 年 10 月 1 日から 466MHz 帯の周波数を使用したアナログ方式の署活動系無線の運用を開始しています。



〔移動局〕

免許有効期間 : 移動局 : R5. 5.31

呼出名称	設置車両	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
くましよう100	本署 卓上固定型	活動波 1・2 愛媛県波 共通6ch 全国3ch	10W	複信	CM-2510DF	H30.5.14
くましよう200	美川 卓上固定型		10W	複信	CM-2510DF	H30.5.14
くましよう101	本署 指令車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう102	本署 査察指導車		10W	複信	CM-2010D3	H30.5.14
くましよう103	本署 タンク車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう104	本署 積載工作車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう105	本署 水槽車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう106	美川 タンク車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう107	本署 査察広報車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう108	本署 公共応急作業車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう109	本署 資器材搬送車		10W	複信	CM-2010D3	H30.5.14
くましよう301	本署 高規格救急車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう302	本署 高規格救急車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう303	美川 高規格救急車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう305	本署 高規格救急車		10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう201	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう202	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう203	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう204	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう205	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう206	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう207	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう208	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう209	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう210	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう211	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう212	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう213	消防団 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう214	美川 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう215	美川 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう216	美川 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう217	消防団 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう218	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう219	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう220	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう221	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう222	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう223	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう224	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう225	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう226	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう227	本署 携帯		5W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう228	本署 携帯	5W	単信	CP-5068T	H30.5.14	
くましよう229	本署 携帯	5W	単信	CP-5068T	H30.5.14	
くましよう230	本署 可搬型	5W	単信	CM-2010SM	H30.5.14	
くましよう231	危機管理室 可搬型	5W	単信	CM-2010SM	H30.5.14	
くましよう110	久万方面隊 指令車	10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14	
くましよう413	久万方面隊 ポンプ車	10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14	
くましよう421	久万方面隊 ポンプ車	10W	複信	CM-2010D2	H30.5.14	

〔署活動系〕

免許有効期間 : 署活動系 : R7. 5.31

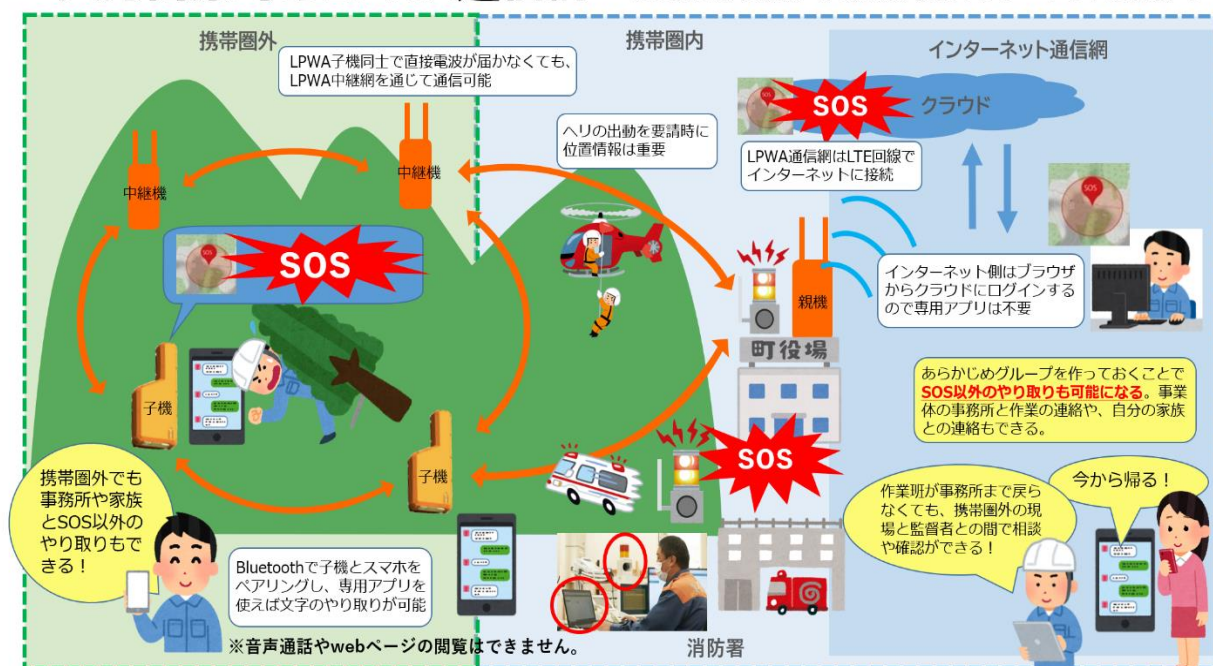
呼出名称	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
くましよう1	久万高原町全域 9・16ch  全国・緊急消防援助隊活動時のみ 1～18ch(9・16ch除く)	1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう2		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう3		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう4		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう5		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう6		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう7		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう8		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう9		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう10		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2

〔署活動系〕		免許有効期間：		署活動系：		R7. 5.31	
呼出名称	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日		
くましよう1	久万高原町全域 9・16ch	1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2		
くましよう2		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2		
くましよう3		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2		
くましよう4		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2		
くましよう5		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2		
くましよう6		全国・緊急消防援助隊活動時のみ 1～18ch(9・16ch除く)	1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう7			1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう8			1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう9			1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう10			1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	

### 〔山間部における LPWA 通信網を活用した林業従事者の安全性確保〕

森林が約 90%を占める久万高原町は、基幹産業である林業において、例年、山林内での事故が発生しています。事故現場である山林の多くが携帯電話の不感地帯であるため、サービスエリア内まで移動してからの通報や現場の状況把握等に時間を要していることから、“様々な遅れ”が生じ、その後の災害活動や傷病者の予後に影響し大きな課題として懸念されていました。このことから、総務省が普及を進める「地域 IoT 実装推進事業」にて、全国初となる町内全域を網羅する自営の LPWA 通信網を構築し、携帯電話の通じない場所で林業事故が発生した場合、位置情報通知による災害発生場所の特定やチャットによる情報収集が可能となり、迅速な災害活動につながります。令和 3 年 4 月 1 日から運用を開始しており、令和 3 年 10 月には役場・警察・消防の 3 機関で合同訓練を実施しています。

## 久万高原町のLPWA通信網 ～中継網により親機へ、親機からはインターネット通信網へ～



## 消防水利

消防水利には、消火栓・防火水槽・プール等の人工水利と、河川・池・湖・沼等の自然水利があります。

人工水利のうち、消火栓は上水道の配水管に付置されており、連続的に給水され、且つ簡易に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点も併せ持っています。こうした消火栓の持つ弱点をカバーするため、耐震防火水槽を地域の実情に応じて計画的に整備しています。

自然水利は、人工水利と並んで消防水利としての重要な役割を果たしていますが、季節によっては使用不能となったり、取水場所が制限されたりすることもあります。

消防署では常に管内の水利状況を把握し常時使用可能な状態に保つため、定期的に調査し、機能の保全に努めています。

### <人工水利と自然水利の現況>

百 計	小 計	防火水槽	消 火 栓	プ ー ル	小 計	河 川	池・沼
859	756	131	609	16	103	91	12

※ ()は前年比

### <火災における水利使用状況>

火災合計	水 利 別 延 べ 使 用 数						水 利 を 利用した 火災件数	水 利 を 利用した 消防隊数	使用量 ( m <sup>3</sup> )
	防火水槽	消火栓	プ ー ル	河川池沼	積載水	他			
10	-	1	-	1	6	-	6	12	50

## 訓練

火災等の危険で困難を伴う災害現場に臨む消防隊，高齢化社会の進展，疾病構造の変化に対応し救命率の向上を図る救急隊，交通事故・水難事故等の災害から人命救助を行う救助隊は厳正な規律と旺盛な士気はもとより，各種災害に精通し，専門的な能力を保持した精強な部隊でなくてはなりません。

隊長には，災害状況等の変化を把握し，効率的に現場活動を指揮する能力が必要とされ，また，隊員は資器材に精通し，困難な現場活動を遂行できる能力が必要とされます。これが相まって初めて組織的かつ効率的な現場活動が可能となり，被害を最小限に抑えることができます。

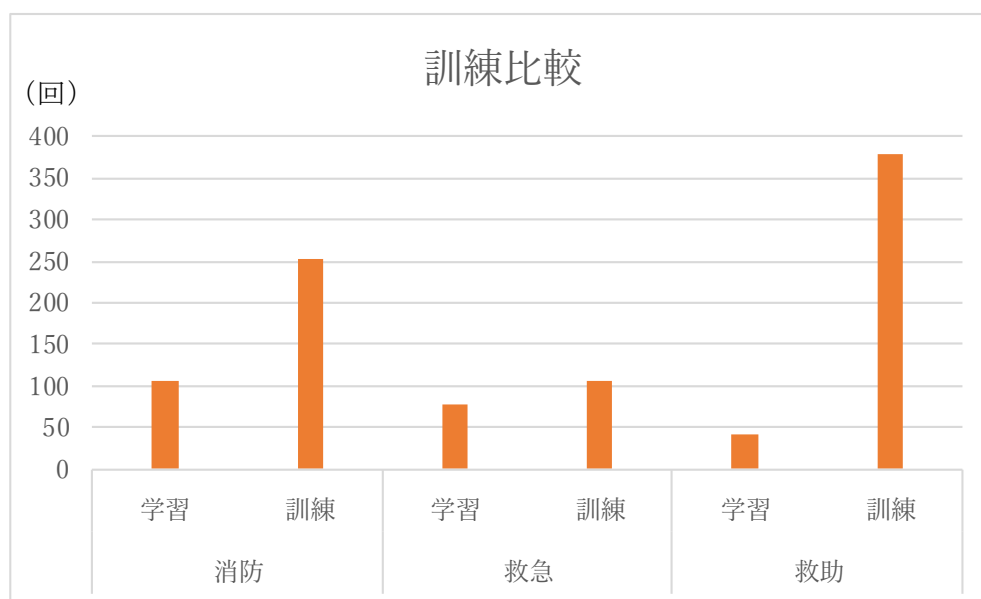
現場活動において効率的に展開するため，日々，訓練及び学習を行い，消防・救急・救助技術の向上を図っています。さらに実災害での活動ごとに指揮及び各隊の活動内容を検討し活動技術の蓄積と反省を踏まえた上で，今後の現場活動に反映させるよう努めています。

### <年間訓練状況>

令和4年1月1日～令和5年12月31日

	消防		救急		救助		合計
	学習	訓練	学習	訓練	学習	訓練	
隊	105	254	77	107	42	379	<b>964</b>

(回数)



## 消 防 団

消防団は「自分たちの郷土は自分たちで守ろう」という郷土愛の精神を基に地域社会の災害防止や、災害発生時の活動などを目的として組織された地域に密着した防災活動機関です。

久万高原町においては、条例の改定により、令和4年4月1日から旧町村単位で4方面隊10分団が設置されています。団員は条例定数600名、実員588名（令和4年4月1日現在）の編成となっており、水・火災等の災害時における防災活動にあたるとともに、久万高原町総合防災訓練では、自主防災組織と連携した訓練を実施し、住民の方々の「安全と安心なくらしづくり」に重要な役割を果たしています。

また、総務省消防庁及び日本消防協会では、男女共同参画及び女性の持つきめ細やかなソフトな面を活かした予防・防災活動を推進するため、女性消防団員10万人確保事業を実施し、女性の加入促進に努めています。

近年、高齢化・過疎化による災害弱者の急増と消防団員のサラリーマン化により、昼間における消防力の低下、災害時における犠牲者の増加が問題となっています。このことから火災予防の指導や広報など、災害発生前の活動を積極的に推進するため、令和4年4月1日現在、久万高原町では22名の女性消防団員を任用し、女性の特性を活かした啓蒙活動を実施しています。

その他にも新任消防団員の資質の向上、幹部団員の防災指導力の強化等、各職責に応じた講習会等を実施し、消防団全体の総合力向上に努めています。

### <消防団員の状況>

消防団数	条例定数	現 在 員 数							
		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1	600	1 (-)	4 (-)	10 (-)	10 (-)	31 (-)	86 (2)	446 (20)	588 (22)

(女性団員)

### <令和4年度中の活動状況>

区 分	火 災	風 水 害 (雪害含む)	遭難・捜索	年 末 警 戒	演 習 訓 練
出 動 回 数	4 件	2 件	0 件	4 日間	3 件
出 動 延 人 数	161 名	84 名	0 名	668 名	482 名

# 久万高原町消防警察捜索推進協議会

平成 7 年 11 月 28 日 発足

## 〔結成の趣旨〕・・・・・・・・円滑な業務のために

近年、久万高原町内の高齢化は著しく、これに伴い高齢者の行方不明事案が多く見られるほか、観光等の来訪者による遭難事案が相次いで発生しています。

これら行方不明者の生命を救助するため、消防、警察、行政の三者が互いに連携し、迅速かつ円滑な業務の遂行を図ることで、住民の付託に応えようと結成されたものです。

### ＜構成団体等＞

- 久万高原町(町長)
- 久万高原町消防本部(消防長)
- 久万高原町消防団(団長)
- 久万高原警察署(署長)

### ＜出動対象事項＞

- (1) 久万高原町内において発生した
  - ・住民及び滞在者の行方不明事故
  - ・住民及び滞在者の遭難事故とし、住民及び滞在者から救助要請のあった場合とする。
- (2) 犯罪関係者の捜索については、その都度関係機関で協議する。

### ＜支援依頼要請＞

- (1) 住民および滞在者から、第一次的に救助要請を受理した機関の長が、他の機関の支援を必要と判断した時点で出動要請を行うものとする。
- (2) 支援依頼要領は、運営要領による。

### ＜出動日数＞

出動日数は、基本的には捜索を開始した時点より 3 日間とするが、事案に応じた機関の長が協議して決定する。

### ＜出動費用＞

出動に要した費用については、各機関によるものとし、基本的には住民及び滞在者に請求しないものとする。

# 救急体制

高齢化社会の進展や生活習慣の多様化などの要因による疾病構造等の変化から、国民の救急業務に対する期待や需要は増大しています。これらの要望に応えるため、救急隊員のレベルアップ及び救急活動の質の向上を目的にメディカルコントロール体制(医師による医療行為の保障)が整備され、自動体外式除細動器(AED)による除細動の実施や、救急救命士による気管挿管・救急薬剤(アドレナリン)投与、更に処置拡大に伴い、新たに、血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与・心肺機能停止前の静脈路確保と輸液など、救命処置の高度化が図られています。

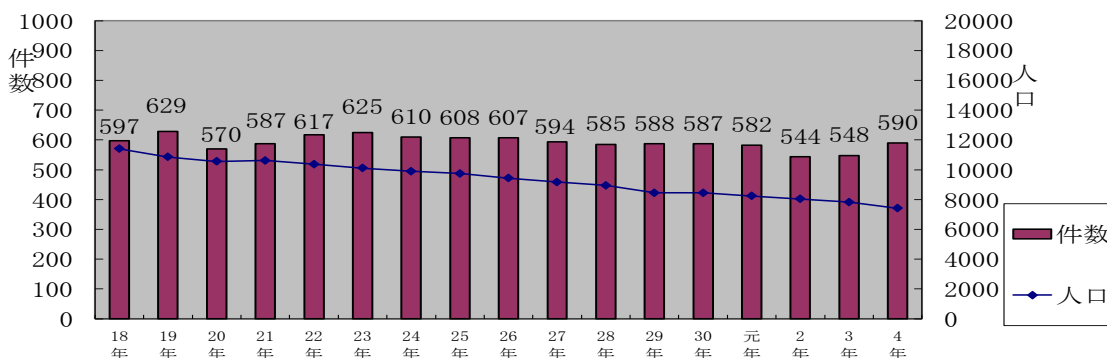
こうした状況に対応するため、当消防本部では、救急救命士及び救急隊員の養成、救急救命士の認定教育や救急救命士再教育など、救急隊員の育成と救急体制の強化、町民に対する応急手当の普及啓発、緊急電話受信時に行う応急手当の口頭指導、多数の人が集まる施設へのAEDの設置、消防防災ヘリコプター、ドクターヘリ及びドクターカーを活用した救急搬送など、プレホスピタル・ケア(救急現場及び医療機関への搬送途上における応急処置をいう)の向上に努めています。

## 〔救急出場状況〕・・・590件(1日あたり1.62件の出場)

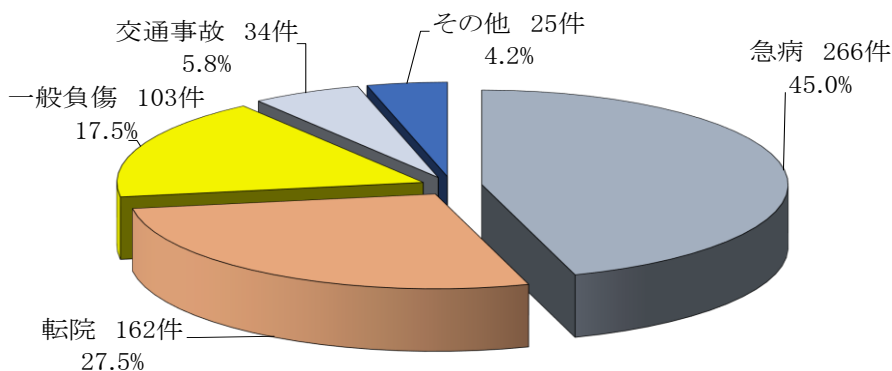
令和4年中の救急出場件数は590件で、前年より42件(4.4%)の増加、搬送人員は564人で45人(8.6%)の増加となっています。

また、救急出場を事故種別ごとにみると、最も多いのは急病 266件(45.0%)、以下、転院搬送 162件(27.5%)、一般負傷 103件(17.5%)、交通事故 34件(5.8%)、その他 25件となっています。

### <過去16年間の人口と救急出場件数>



### <令和4年中の事故種別救急出場件数>



\*その他 25件の内訳  
 労働災害 12件  
 自損行為 6件  
 運動競技 2件  
 水難 2件  
 その他 3件

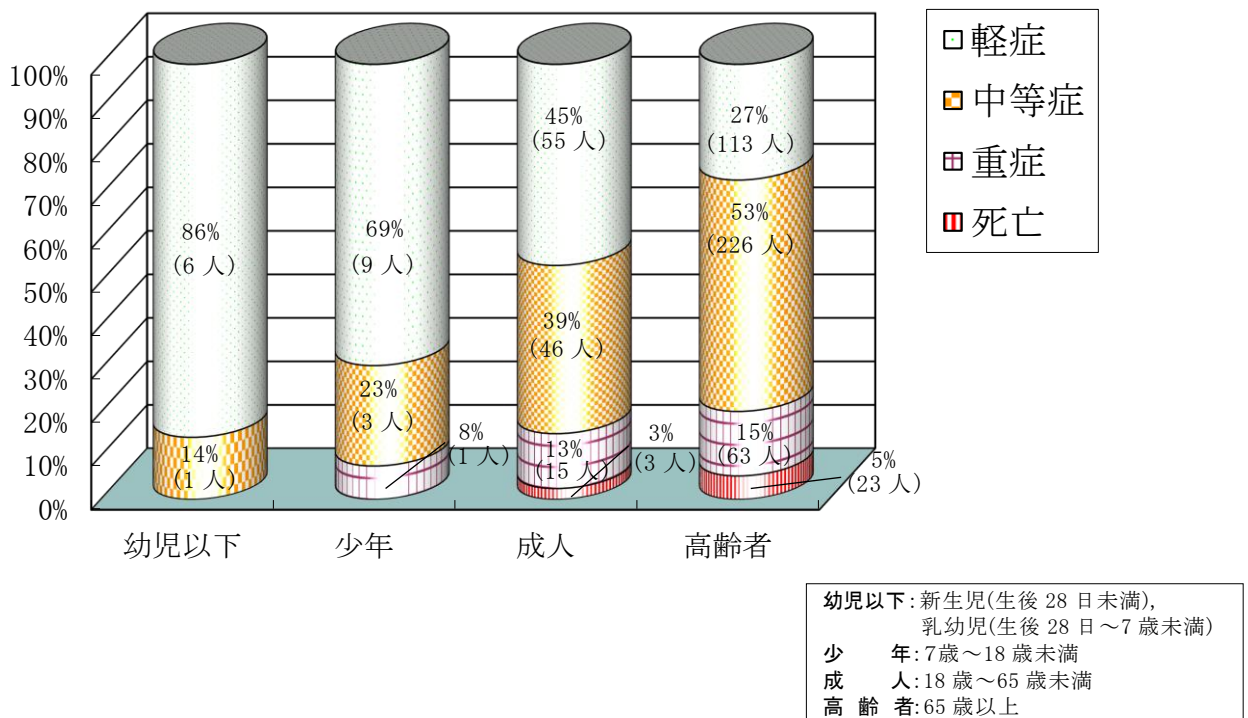


## 〔救急隊の活動状況〕・・・高齢者、重症傷病者への処置・搬送割合が高い

- ① 令和4年中の救急出場1件あたりの出場から救急事故現場までの平均所要時間(転院搬送を除く)は、13.1分(全国平均9.4分)、覚知から医療機関等に収容するまでの平均所要時間は、55.5分(全国平均42.8分)となっており全国平均を大きく上回っています。救急隊が行った応急処置の状況をみると、保温(130件)が最も多く、以下、酸素吸入(129件)、固定処置(45件)、被覆処置(26件)、気道確保(23件)、止血処置(15件)の順となっています。さらに、観察の内訳を見ると、血中酸素飽和度測定(528件)、血圧測定(527件)、心電図測定(215件)、心音呼吸音の聴取(29件)などとなっています。
- ② 搬送者数564人のうち、高齢者が425人と全体の約75%を占めています。また、令和4年中の年齢区分別の傷病程度を見ると、年齢が高くなるに従って重症・中等症の割合が高く、高齢者(65歳以上)の重症・中等症は搬送人員全体の68%を占めています。

今後さらに高齢化が進み、継続して増加する高齢者救急に対し、質の良い救急活動を行うとともに、関係機関と連携し、効率的な救急医療体制構築に取り組む必要があります。

### <年齢区分別傷病程度の状況>



## 〔応急手当の普及〕・・・AED設置68施設

当消防本部では管内の地理的条件等により、119番通報から救急隊が現場到着するまでに13.1分(転院搬送を除く)を要しており、呼吸停止・脈拍停止・大出血等といった生命に重大な危機が訪れた場合一刻も早い救命処置の開始が傷病者の予後を左右することとなり、現場に居合わせた住民による適切な救命処置が救命率向上のため最も重要であると言えます。平成16年7月1日から、非医療従事者によるAED(自動体外式除細動器)の使用が可能となったことから、普通救命講習を開始し、令和5年3月31日までに延べ6,839名が受講・修了しています。普通救命講習の主な受講者は、学生、女性防火クラブ員・地域住民・各種団体関係者となっており、特に中学校においては、毎年救急講習が行われており、知識・技術の維持に重要とされる反復訓練が行える体制が確立されています。これにより、小学生から実施している入門コースとあわせて生涯教育の一環として位置付け、命の尊さを理解するとともに救命技能の向上が期待できるものと考えています。

また、AEDは薬機法に規定する高度管理医療機器及び特定保守管理医療機器に指定されており、適切



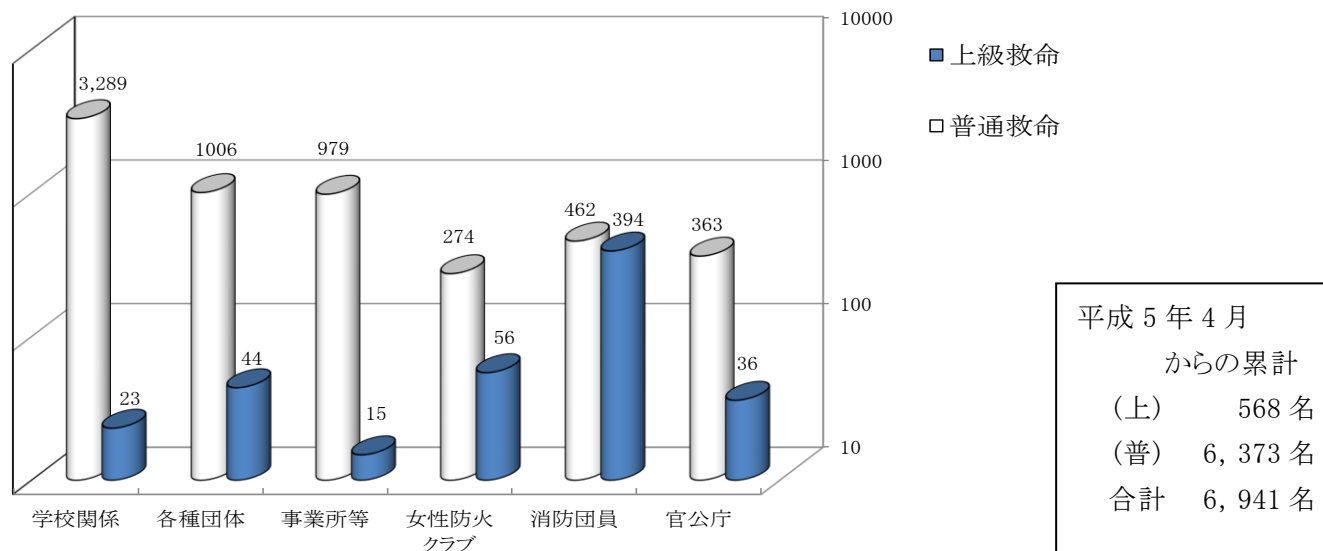
な管理が行われなければ、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある医療機器です。これらのことを踏まえ、AEDを使用する際には、その取扱いの習得と普段の適切な維持管理が必要であること等、設置施設の管理者、従事者等に理解と協力を求め、現在では管内の68施設にAEDが設置されています。

また、久万高原町内で開催される各種イベント等において使用できるよう貸出可能なAEDを整備し、貸出事業を行い救命率の向上を図っています。

### <AED(自動体外式除細動器)の設置状況> 68施設

地区	施設名	地区	施設名	地区	施設名	地区	施設名
久万	役場「本庁」	久万	久万高原ふるさと旅行村	久万	大宝寺	美川	久万高原町社会福祉協議会
久万	久万 B&G 海洋センター	久万	畑野川歯科	久万	久保建設		
久万	養護老人ホーム「ささゆり荘」	久万	久万高原警察署	久万	石丸建設	面河	面河小学校
久万	老人保健施設「あけぼの」	久万	四国電力久万営業所	久万	くま安心館	面河	おもご高齢者生活支援ハウス
久万	久万高原町産業文化会館	久万	久万こども園	久万	グループホーム「サマリア」	面河	若山集会所
久万	久万高原町教育委員会	久万	伊予銀行久万支店	久万	グループホーム「メサイア」	面河	相ノ峰公民館
久万	久万小学校	久万	松山市農協久万支所	久万	久万保健センター	面河	消防団多機能車両
久万	直瀬小学校	久万	うつのみや内科	久万	まちなか交流館	面河	面河診療所
久万	明神小学校	久万	高橋歯科医院			面河	面河山岳博物館
久万	父二峰小学校	久万	わたなべ歯科医院	美川	役場「美川支所」		
久万	畑野川小学校	久万	IC ランド土居	美川	美川小学校	柳谷	役場「柳谷支所」
久万	久万中学校	久万	道の駅天空の郷さんさん	美川	仕七川小学校	柳谷	吉村内科
久万	上浮穴高等学校	久万	道の駅防災センター	美川	美川中学校	柳谷	古味集会所
久万	久万高原町立病院	久万	久万カントリークラブ	美川	岩屋寺	柳谷	柳谷小学校
久万	父二峰診療所	久万	高原ゴルフ倶楽部	美川	仕七川駐在所	柳谷	四国電力面河発電所
久万	国民宿舎「古岩屋荘」	久万	入野福祉館	美川	小椋商店	柳谷	消防団多機能車両
久万	久万スキーランド	久万	農業公園アグリピア	美川	美川中学校「若竹寮」	柳谷	中津公民館
久万	県林業センター	久万	県中予地方局	美川	みかわクリニック		

<上級・普通救命講習受講人数>



<普通・上級救命講習実施状況> ※新型コロナウイルス感染症のため講習限定開催

区分	学校	女性防火クラブ	官公庁	消防団	会社事業所	地域自主防	各種団体	合計
普通	回数	1	-	-	4	-	5	10回
	人員	2	-	-	36	-	64	102人
上級	回数	-	-	-	-	-	-	-回
	人員	-	-	-	-	-	-	-人

[救命率の向上]・・・救急救命士・高規格救急自動車の運用から 25 年

当消防本部(旧上浮穴消防本部)においては、平成 8 年 1 月から救急救命士 1 名により救命処置の行える高規格救急自動車 1 台の運用を開始し、令和 5 年 3 月 31 日現在、救急救命士 14 名、救急科修了者 22 名と高規格救急自動車 4 台で救急隊の運用を行っています。

<救急隊員の資格状況>

項目・名称	救急救命士	救急科	救急Ⅱ課程	合計
資格者数	19	24	2	45名
運用者数	14	22	0	36名

## 〔救急救命士の状況〕・・・14名の救急救命士が活動中(救急救命士有資格者は19名)

救急隊員が救急救命士の資格を取得するためには、救急科(救急Ⅰ課程＋救急Ⅱ課程)の教育訓練を受けたものが、救急救命士養成課程(5年以上又は2,000時間以上の実務経験を有する救急隊員に対する835時間以上の教育訓練)を修了した後、国家試験に合格し厚生労働大臣の免許を受けることが必要です。

このようにして、資格を取得した救急救命士の行う救急救命処置の範囲が、平成4年3月に厚生省より示されました。その後、救急救命士の業務のあり方に関する検討がなされ、平成15年3月及び平成26年1月に救急救命処置の範囲の改正が行われ、救急救命士の行う救急救命処置として、医師の包括的指示を受けて行う行為と具体的指示を受けて行う5項目が定められています。

### 1. 医師の包括的指示に基づくもの(抜粋)

- ① AED(自動体外式除細動器)による除細動
- ② 血糖値測定

### 2. 医師の具体的指示に基づくもの

- ① 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
- ② 食道閉鎖式エアウェイ、ラリングアルマスク又は気管内チューブによる気道確保
- ③ 救急薬剤(アドレナリン1剤)の投与
- ④ 心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液
- ⑤ 低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

## 〔救急業務高度化教育〕・・・救急隊員・救急救命士の教育

当消防本部では町民の負託にこたえるため、救急業務高度化計画に基づき、計画的に(一財)救急振興財団救急救命研修所や消防学校救急科、消防大学校救急科、救急隊員養成教育等に派遣しています。

また、メディカルコントロール体制のもと、救急救命士就業前研修や救急救命士再教育、さらには救急救命士気管挿管実習として、指定医療機関等に派遣し救急隊員の資質の向上に努めています。

## ＜令和4年中の主な救急隊員外部研修＞

研修内容	研修場所・実施機関	人員	派遣期間等
救急救命士新規養成研修	北九州市・救急振興財団	1	9月2日～3月13日

## 〔メディカルコントロール〕・・・医学的観点から応急処置等の質を保障

救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置などの質を向上させ、救急業務の更なる高度化を推進するため、県に「愛媛県メディカルコントロール協議会」、東・中・南予に「地域メディカルコントロール協議会」を設置しメディカルコントロール体制の充実が図られています。

1. メディカルコントロール体制とは、消防機関と医療機関との連携による以下の体制を言います。

- ① 救急隊が現場からいつでも迅速に医師に指示・指導・助言が要請できる。
- ② 救急活動時の医学的判断・処置について医師が事後検証を行い、その結果を再教育に活用する。
- ③ 救急救命士の再教育として医療機関において定期的に病院実習を行う。

2. これらメディカルコントロール体制の整備に伴い、救急救命士の救命処置拡大も推進されました。

- ① 気管挿管は、平成 16 年 7 月から講習及び病院実習を修了した救急救命士により実施が可能となり、平成 16 年度から消防学校並びに実習病院に派遣し養成を行い、令和 5 年 3 月 31 日現在 13 名の認定救急救命士が活動しています。
- ② 薬剤投与は、平成 18 年 4 月から救急救命士による救急薬剤(アドレナリン)の使用が可能となりました。しかし、薬剤の使用には高度な専門性を有する講習を修了する必要があるため、平成 18 年度から、救急振興財団救急救命九州研修所及び広島市消防局に派遣、教育と病院実習を修了し、令和 5 年 3 月 31 日現在 14 名の認定救急救命士が活動しています。
- ③ AED(自動体外式除細動器)による除細動は、平成 16 年 7 月に示された厚生労働省告示により、非医療従事者も可能になったことを受け、救急救命士を除く消防職員に研修を行い救急現場での実施が可能となりました。

これらに併せて、当消防本部では管内の救急告示医療機関との連携をますます強化し、メディカルコントロール体制の整備に合わせた資器材の導入やシステムなどの構築を推進するとともに、救急救命士を含む救急隊員のレベルアップや資質の向上に努めています。

- ③ 心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与は、平成 26 年 1 月 31 日から必要とされるカリキュラムを修了した救急救命士により実施が可能となり、令和 5 年 3 月 31 日現在 14 名の認定救急救命士が活動しています。

## 〔ヘリ救急への取り組み〕・・・消防防災ヘリと愛媛県ドクターヘリ運航

久万高原町は石鎚山系を含む山間地域で広大な面積を有することから、救急現場から医療機関への傷病者搬送に長時間を要するケースが多く、緊急性や重症度の高い傷病者の搬送に搬送時間の短縮や高次医療機関への早期搬送に威力を発揮するヘリコプターの活用を図ることは重要です。さらに、この消防防災ヘリコプターに医師が同乗することにより、傷病者を早期に医師の管理下に置き医療が開始されることから、傷病者の救命や予後の向上に有用であることは疑うべくもありません。

このことから、平成 15 年 1 月に、管内の地理的条件や傷病者の傷病状態を考慮した「消防防災ヘリコプター救急運用マニュアル」を作成し、愛媛県防災航空事務所をはじめ、愛媛県立中央病院・愛媛大学医学部附属病院救急部を含む関係機関の協力のもと、消防防災ヘリコプターでの救急搬送(医師同乗含む)の運用を実施しています。

また、愛媛県においても平成 21 年 8 月 20 日より愛媛県消防防災ヘリコプターのドクターヘリの運航が開始、平成 29 年 2 月 1 日からは、愛媛県ドクターヘリの運航が開始され、早期に医師による治療を開始し医療機関に搬送を行い救命率の向上及び後遺障害の軽減を図り、傷病者の利益を第一とすることを目的として運航されています。

## 〔ドクターカーとの連携〕・・・愛媛県立中央病院のドクターカー運行

平成 22 年 3 月より、愛媛県立中央病院が「ドクターカー」の運行を開始しました。当消防本部においても、ドクターヘリ(的)運航ができない場合や、転院搬送時における傷病者の急変などを視野に入れ、ドクターヘリ(的)運航と同様に有効活用を図っています。

## 〔救急需要への対応〕

全国的に救急出動件数は増加傾向が続いています。高齢化の進展等により救急需要は今後も増大する可能性が高いことが示されており、救急活動の延伸を防ぐとともに、これに伴う救命率の低下を防ぐための対策として、①軽症利用者等への代替措置の提供(民間の患者搬送事業者などの活用)、②転院搬送業務への病院救急自動車の活用、③119番受信時及び救急現場における緊急度・重症度の選別(トリアージ)、④電話相談「救急安心センター事業(＃7119)」⑤住民による緊急度判定を支援する全国版救急受診アプリ「Q助(きゅーすけ)」などが推進されています。

久万高原町の救急件数は、過疎化や少子・高齢化が進展しているものの横ばい状態にあり、人口減少は続いているが高齢化や独居化及び住民意識の変化に伴い、今後しばらくは横ばい状態を示すものと考察されます。このような状況の中、当消防本部においては、救急搬送全体に占める転院搬送の割合(27.5%)が大きいことから、2 台以上の救急車が町外へ転院搬送に出場した場合、町内の救急対応に苦慮することが考えられます。

このことから、医療機関の理解を得ながら、町内の救急対応に不備が生じないよう手段を講じるとともに、民間患者搬送事業者等の活用も考慮するなど、真に緊急を要する傷病者への対応の遅れや救命率に影響が出ないよう努めることが求められています。

## 救助体制

災害の態様が複雑多様化していることに加え地震、台風や豪雨により発生する風水害・土砂災害など、大規模な自然災害が全国各地で多発しています。このような状況のなか、西日本を中心に甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」では、県内においても河川の氾濫・浸水害、土砂災害が多発し、多くの尊い命が奪われました。

近年の救助業務においては、これらの災害に対応するため、救助隊員の新たな知識・技術の習得及び救助資器材の充実強化が求められています。また、消防力を結集し被害軽減を図る広域消防連携活動の体制強化が重要視されています。このような状況を踏まえ、当消防本部においても他消防本部(局)との合同訓練に参加し、より効果的な現場活動が行えるよう連携強化を図っています。

### 〔救助出動の状況〕・・・主な出動として、ヘリ支援及び搬送応援が挙げられる

令和4年中の救助活動状況は、救助出動件数59件、救助活動件数54で救助人員は48人となっています。特にヘリ支援、次いで搬送応援が多くなっており、これらの活動は広大な面積を管轄する久万高原町における災害形態の特殊性が反映されています。

＜事故種別の救助活動状況＞（「救助編・救助出動及び活動状況」P101参照）

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他					合計	
									高所転落	搬送応援	ヘリ支援	搜索活動	山岳事故		その他
出動件数	1	8	3	-	1	1	-	-	-	12	18	8	6	1	59
活動件数	1	7	3	-	1	1	-	-	-	10	17	8	5	1	54
救助人員	-	8	3	-	1	1	-	-	-	10	17	2	5	1	48

### 〔救助隊員の育成〕・・・専門的知識と技術の習得

救助隊員には、如何なる災害にも対応できる体力・精神力及び専門的知識・技術を身に付けることが不可欠です。当消防本部では、日々訓練に励み救助隊としてのチームワークと個々の能力向上を図っています。

また、消防大学校救助科及び愛媛県消防学校救助科へ職員を入校させ、指導者を育成し、救助隊として統制のとれた教育を実施しています。

### 〔消防防災ヘリコプターの活用方策〕・・・効果的な連携活動の重要性

令和4年中の防災ヘリ出動要請件数は山岳事故で2件となっており、山岳事故での防災ヘリによる救助活動は極めて有効なものとなります。

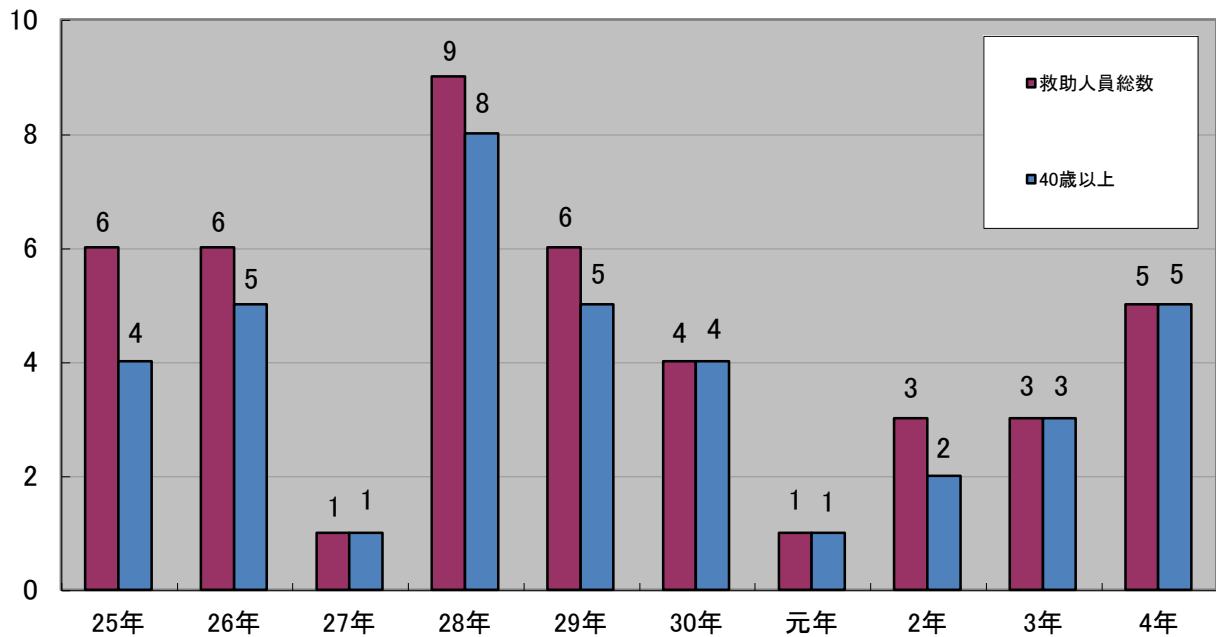
あらゆる災害現場において防災ヘリを有効的に活用するため、定期的な合同訓練に加え防災ヘリの特性をよく理解し、地上隊として連携のとれた活動が展開できるよう救助技術のレベルアップに努めています。

また、管内各地域にヘリポートを整備し、より効果的な防災ヘリ運用ができる体制作りを目指しています。

（「救助編・ヘリコプター離着陸場一覧」P103参照）

人数

＜山岳事故における救助人員の推移＞



〔山岳救助〕・・・中高年者の事故が多い傾向

西日本最高峰の石鎚山を抱え、山岳事故が四季を問わず発生しています。過去 10 年間の山岳事故に関する救助人員は 44 人で、そのうち 40 歳以上の中高年者が 38 人となっています。

毎年 7 月 1 日～10 日に「石鎚山お山開き大祭」が行われ、県内外から信者さん等多くの人々が訪れるため、警察・消防団・日赤・神社等の各関係機関と、協力・連携して警備にあたっています。なお、令和 4 年の祭期間中における石鎚山での救助事案は 2 件発生しています。



総務編



## 令和4年度おもな行事

4月	1	辞令交付・職員会
	1	年度初め職員会
	6	愛媛県消防長会春季総会
	6～9/22	愛媛県消防学校初任科入校式(2名)
	15	愛媛県消防協会中予支部総会(砥部町)
	21	全国消防長会四国支部消防職員意見発表会及び総会(四国中央市ホテルグランフォーレ)
5月	26	愛媛県消防長会消防救助技術研修会(松山市消防局西消防署)
	10	愛媛県消防協会理事会
	10	女性防火クラブ連絡協議会総会
	16	危険物安全協会通常総会(東京第一ホテル松山)
	20	第38回日本救急医学会中国四国地方会(岡山国際交流センター)
	20	愛媛県救助技術大会運営要員事前説明会(松山市消防局西消防署)
	23	愛媛県・市町災害対策本部合同運営訓練(本庁大会議室)
	25	第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会(大阪国際会議場)
	27	中予地区消防長会(東温市)
	27	予防事務担当者研修会(松山市消防局西消防署)
	30	愛媛県消防協会評議員会
6月	3	第7回愛媛県消防救助技術大会(愛媛県消防学校)
	5～11	危険物安全週間
	6	大規模氾濫に関する減災対策協議会(本庁大会議室)
7月	8	女性防火クラブ連絡協議会理事会
	4	愛媛県総合防災訓練第3回全体説明会(五十崎自治センター)
	7	久万高原町自殺未遂者支援・連携検討会(久万保健センター)
	8	愛媛県消防長会火災調査担当者研修会(松山市消防局西消防署)
	15	令和4年度危険物保安監督者技術講習会(松山市)
	16	第16回愛媛県MC協議会症例検討会・第39回中予地域MC協議会症例検討会(愛媛県医師会館)
	22	令和4年度初任教育技術支援(愛媛県消防学校)
	23	第50回四国地区消防救助技術指導会(香川県消防学校)
	29	愛媛県消防長会違反是正推進連絡会及び住宅用火災警報器設置対策連絡会
	30	防災キャンプ(久万高原町消防本部)
	8月	7
15～19		愛媛県消防学校初任教育実務研修
19		あいFIREワーキンググループ会議(松山市消防局西消防署)
25		愛媛県消防協会定例理事会
26～27		愛媛県消防長会緊急消防援助隊合同訓練
27		令和4年度愛媛県総合防災訓練(内子運動公園)
9月	29	愛媛県消防長会違反是正研修会(伊予市)
	31	愛媛県防災航空隊合同訓練事前駐機訓練(愛媛県防災航空事務所)
	1～R5.3.13	救急救命九州研修所救急救命士研修課程第41期
	3	防災士養成講座受講者救命講習(久万高原町消防本部)
	8	火災調査事例の共同研究と合同調査(松山市消防局)
	9	防災ヘリ合同訓練(笹ヶ滝ラグビー場)
	10	防災士養成講座受講者救命講習(久万高原町消防本部)
	17	初任教育実技訓練発表会(愛媛県消防学校)
10月	22	初任教育卒業式(愛媛県消防学校)
	2	ねんりんピックリハーサル大会
	6	全国消防長会四国支部予防事務担当者会議(高知市)
	7	西部四国山地消防相互応援協定市長等連絡協議会(四万十町)

10月	10～15	国立登山研修所山岳救助研修会(富山市)
	11	愛媛県消防長会警防事務担当者研修会(松山市消防局西消防署)
	15	正副団長消防長等研修会(砥部中央公民館)
	18	中予地区消防長会合同訓練(笛ヶ滝公園他)
	25	愛媛県消防長会通信事務担当者研修会(オンライン)
	29～30	緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練(阿南市)
11月	29	消防団指導員研修会(愛媛県消防学校)
	1	女性防火クラブ中国・四国大会事例発表
	4	消防法令違反是正事例研究会(松山市消防局西消防署)
	8	愛媛県消防長会119番口頭指導技術発表会(WEB型式)
	11	愛媛県消防長会秋季総会・消防職員意見発表会(愛南町)
	11～14	第6回緊急消防援助隊全国合同訓練(静岡県牧之原市)
	15	第25回全国消防救助シンポジウム(東京都 ハイブリッド開催方式)
	16	愛媛県消防長会救急事務担当者研修会(松山市消防局西消防署)
	17	拠点飛行場外離着陸場合合同現況点検
	23	久万高原町防災訓練
12月	27	消防団中予地区合同訓練(松前町)
	2	久万スキーランドリフト訓練・立入検査
	4	中予地区消防長会消防フェスタ(エミフル松前)
	6	自殺未遂者支援研修会及び事例報告会(中予保健所)
	12～15	愛媛県消防学校大規模災害対策研修
	12	松山圏域消防連携・協力に関するWG会議(第1回)
	16	令和4年度消防実務講習会(高知市)
	20～1/10	年末年始特別火災予防運動
	21	救急業務に関するフォローアップに係る消防庁ヒヤリング
	24～1/3	年末年始火災予防特別警戒
1月	27～30	年末特別警戒(消防団)・年末特別警戒出発式
	1～3	年始特別警戒
	4	久万高原町消防本部仕事初め式
	10	消防防災ヘリコプター運航に係る会議(書面会議)
	11～13	実火災体験型訓練施設研修(愛媛県消防学校)
	18～3/10	専科教育救急科入校(愛媛県消防学校)
	26	第31回全国救急隊員シンポジウム(広島市文化交流会館)
	26	未来の消防団加入促進事業(上浮穴高等学校)
	26	第69回文化財防火デー(中止)
	27	愛媛県消防協会中予支部役員会
2月	29	愛媛県災害医療研修【MCLS標準コース】(愛媛県立中央病院)
	2	防火ポスター習字・硬筆コンクール審査会(久万高原町消防本部)
	3	愛媛県消防長会「4機関女性職員交流会」(松山市消防局西消防署)
	8	火災調査事例報告会(松山市消防局西消防署)
	11	少年消防クラブ指導者交流会事例発表(東京都)
	14	高規格救急自動車寄贈式(JA共済連愛媛)
	16	愛媛県消防協会理事会(松山市)
	16	女性消防吏員活躍推進WEB講習
	17	全国消防長会四国支部消防法令違反是正事例発表会(高松市)
	19	久万高原町消防団出初式
3月	9	愛媛県下救助隊合同訓練(西条市)
	10	南海トラフ地震臨時情報伝達訓練
	12	第46回救急救命士国家試験
	15	特別教育「通信指令員業務研修」入校(愛媛県消防学校)
	18	令和4年度エレベーター事故に関する救助活動の教育訓練(新居浜市)
	18	中予地域メディカルコントロール協議会・研修会(愛媛県県民文化会館)

# 職員の年齢別状況

(令和5年4月1日現在)

階級 年齢	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	その他	計	1	2	3	4	5	6
	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士								
18	-	-	-	-	-	1	-	1						
19	-	-	-	-	-	1	-	1						
20	-	-	-	-	-	1	-	1						
21	-	-	-	-	-	2	-	2						
22	-	-	-	-	-	2	-	2						
23	-	-	-	-	-	1	-	1						
24	-	-	-	-	-	-	-	-						
25	-	-	-	-	1	-	-	1						
26	-	-	-	-	1	2	-	3						
27	-	-	-	-	-	1	-	1						
28	-	-	-	-	-	-	-	-						
29	-	-	-	1	-	-	-	1						
30	-	-	-	1	-	-	-	1						
31	-	-	-	-	-	-	-	-						
32	-	-	-	1	-	-	-	1						
33	-	-	-	4	-	-	-	4						
34	-	-	1	2	-	-	-	3						
35	-	-	-	-	-	-	-	-						
36	-	-	3	-	-	-	-	3						
37	-	-	-	-	-	-	-	-						
38	-	-	-	-	-	-	-	-						
39	-	-	1	-	-	-	-	1						
40	-	-	-	-	-	-	-	-						
41	-	-	1	-	-	-	-	1						
42	-	-	1	-	-	-	-	1						
43	-	-	-	-	-	-	-	-						
44	-	-	2	-	-	-	-	2						
45	-	-	1	-	-	-	1	2						
46	-	1	1	-	-	-	-	2						
47	-	-	-	-	-	-	-	-						
48	-	1	-	-	-	-	-	1						
49	-	1	-	-	-	-	-	1						
50	-	2	-	-	-	-	-	2						
51	-	2	-	-	-	-	-	2						
52	-	1	-	-	-	-	-	1						
53	-	-	-	-	-	-	-	-						
54	-	2	-	-	-	-	-	2						
55	-	-	-	-	-	-	-	-						
56	-	-	-	-	-	-	-	-						
57	-	-	-	-	-	-	-	-						
58	-	-	-	-	-	-	-	-						
59	-	1	-	-	-	-	-	1						
60	1	-	-	-	-	-	-	1						
人員数	1	11	11	9	2	11	1	46						
平均年齢	60	46.8	40.2	32.3	25.5	22.2	45	36.9						

# 消防職員研修状況

研修内容		年度別												計
		H24 以前	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4		
消防大学校	本科	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	幹部科(上級幹部科)	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	警防科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5
	予防科	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
	救急科	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	救助科	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	7
	火災調査講習会・危機管理セミナー・国民保護コース	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛媛県消防学	初任教育	72	4	-	-	3	-	2	1	4	1	2	89	
	幹部教育(初級幹部科)	16	1	1	1	1	1	-	-	1	-	1	23	
	警防科(警防課程)	11	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	18	
	警防科(無線通信課程)	19	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	25	
	予防科	27	1	1	1	1	1	1	1	-	1	-	35	
	救急科(救急I・II課程)	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	
	救急科(救急標準課程・救急科)	19	2	3	-	3	-	1	1	3	2	2	36	
	救急救命士追加講習	8	-	-	3	1	-	2	-	-	-	-	14	
	救助科	15	1	1	1	1	-	-	1	-	-	-	20	
	機関員運転研修	-	-	-	-	2	2	2	-	-	-	-	6	
消防学	火災調査実務研修科	25	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	34	
	消防団員教育指導科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	応急手当指導者研修科	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	
	ポンプ操法幹部(実務)研修科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	地震体験車操作員講習会	29	-	-	3	3	3	2	-	-	-	-	40	
	山岳遭難救助指導者講習会	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
	火災原因調査入門・基礎講座	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
消防学	救急救命士養成所	16	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	24	
	救急救命士(薬剤投与追加講習)	10	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	14	
	赤十字水上安全法講習会	15	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	18	
	救急医療研修会	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	日本救急医学総会/日本臨床救急医学総会	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	
	日本救急医学会中国四国地方会	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	
	病院研修 救急救命士現任研修 追加研修・就業前研修	143	11	10	11	11	10	12	12	-	12	8	240	
	合 計	600	26	21	25	30	23	28	20	10	19	14	816	

# 消防職員特殊技能有資格状況

階 級	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
自動車普通免許一種	1	10	13	9	2	11	46
大型自動車免許一種	1	10	13	9	2	4	39
大型特殊自動車免許	-	1	2	-	-	-	3
自動二輪自動車免許	-	6	7	5	1	2	21
ショベルローダー等運転技術者	1	1	-	-	-	-	1
消防設備士乙1	-	2	-	-	-	-	3
消防設備士乙4	-	-	2	-	1	-	3
消防設備士乙5	-	2	1	-	-	-	3
消防設備士乙6	-	3	4	3	-	-	10
消防設備士乙7	-	-	1	1	-	-	2
消防設備点検資格者(第1種・2種)	-	-	1	-	-	-	-
危険物取扱者甲種	-	-	1	-	-	-	1
危険物取扱者乙1	-	4	3	3	1	-	11
危険物取扱者乙2	-	4	5	1	-	-	10
危険物取扱者乙3	-	4	4	2	-	-	10
危険物取扱者乙4	-	8	10	7	2	4	31
危険物取扱者乙5	-	3	4	2	-	-	9
危険物取扱者乙6	-	6	6	1	1	-	14
防災士	1	10	7	2	-	2	22
特殊無線技士乙・第3級陸上	1	10	12	9	2	7	41
救急隊員資格Ⅱ課程・標準課程	1	10	11	9	2	6	39
救急救命士	1	6	7	2	-	1	17
JPTECプロバイダー・インストラクター	-	3	6	-	-	1	10
ACLSプロバイダー・インストラクター	-	1	-	-	-	-	1
MCLSプロバイダー・インストラクター	1	3	1	-	-	-	5
日赤救急法指導員	-	1	-	-	-	-	1
日赤水上安全法救助員	1	4	3	3	-	-	11
山岳遭難救助研修会	-	4	2	-	-	-	6
ガス・アーク溶接	-	4	1	-	1	-	6
酸素欠乏危険作業主任者	-	2	2	3	-	1	8
足場組立作業主任者	-	-	1	-	-	-	1
玉掛け技能講習会	-	3	4	-	-	-	7
小型船舶操縦士	-	2	3	1	-	1	7
第2種電気工事士	-	-	1	-	-	-	1
アマチュア無線技士	-	4	2	2	-	-	8

## 消防職員諸手当支給状況

	区分	支給単位	金額	適 要						
諸手当										
管理職手当		月	職務の級 6級 — 44,000円 5級 — 33,000円 4級 — 22,000円							
管理職員特別勤務手当		1 回	6,000円 (6時間を超える場合1.5倍) 8,000円 (6時間を超える場合1.5倍)							
時間外勤務手当 (60時間以内の場合)		時間	<table style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 0 10px;">正規の勤務日</td> <td style="text-align: right; padding: 0 10px;"><math>\frac{125}{100} \cdot \frac{150}{100}</math></td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">週休日</td> <td style="text-align: right; padding: 0 10px;"><math>\frac{135}{100} \cdot \frac{160}{100}</math></td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">週休日の振替勤務</td> <td style="text-align: right; padding: 0 10px;"><math>\frac{25}{100}</math></td> </tr> </table>	正規の勤務日	$\frac{125}{100} \cdot \frac{150}{100}$	週休日	$\frac{135}{100} \cdot \frac{160}{100}$	週休日の振替勤務	$\frac{25}{100}$	管理職を除く全員
正規の勤務日	$\frac{125}{100} \cdot \frac{150}{100}$									
週休日	$\frac{135}{100} \cdot \frac{160}{100}$									
週休日の振替勤務	$\frac{25}{100}$									
夜間勤務手当		時間	$\frac{25}{100}$							
休日勤務手当		時間	<table style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 0 10px;">当務12×</td> <td style="text-align: right; padding: 0 10px;"><math>\frac{135}{100}</math></td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">非番4×</td> <td style="text-align: right; padding: 0 10px;"><math>\frac{135}{100}</math></td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">週休8×</td> <td style="text-align: right; padding: 0 10px;"><math>\frac{135}{100}</math></td> </tr> </table>	当務12×	$\frac{135}{100}$	非番4×	$\frac{135}{100}$	週休8×	$\frac{135}{100}$	管理職を除く 隔日勤務者
当務12×	$\frac{135}{100}$									
非番4×	$\frac{135}{100}$									
週休8×	$\frac{135}{100}$									
特殊勤務手当	勤務日手当	日	350円 (平成20年4月1日 施行)	消防職員						
	救急・消防・防災業務	1 回	100円 (平成20年4月1日 施行)	消防職員						
	救急救命士 出動手当	1 回	150円 (平成20年4月1日 施行)	救急救命士						

## 消防費にかかる一世帯当たり及び一人当たりの金額

区分 町村名	消 防 費 (千円)	一世帯当たりの額 (円)	人口一人当たりの額 (円)
久 万 高 原 町	473,186	115,977	64,564

## 令和4年度会計決算額と消防費決算額の割合

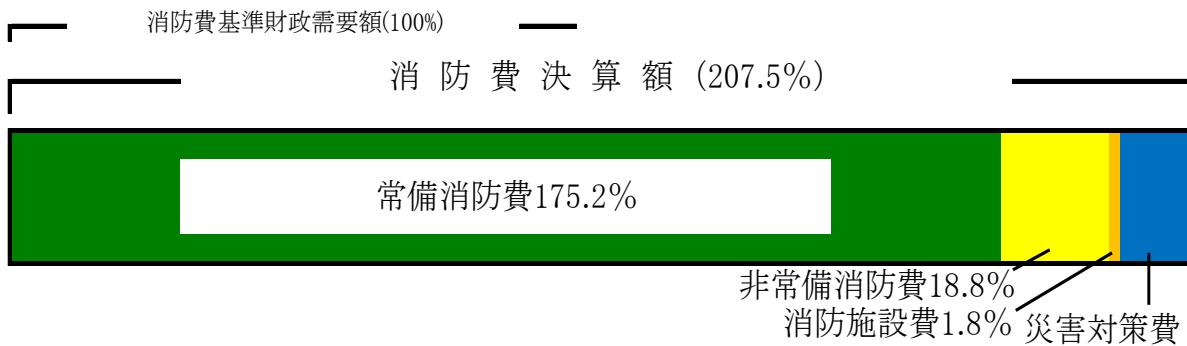
(単位:千円)

区分 町村名	一般会計決算額	消防費決算額	割 合(%)
久 万 高 原 町	9,821,134	544,824	5.5

## 令和4年度消防費基準財政需要額と消防費関係状況

(単位:千円)

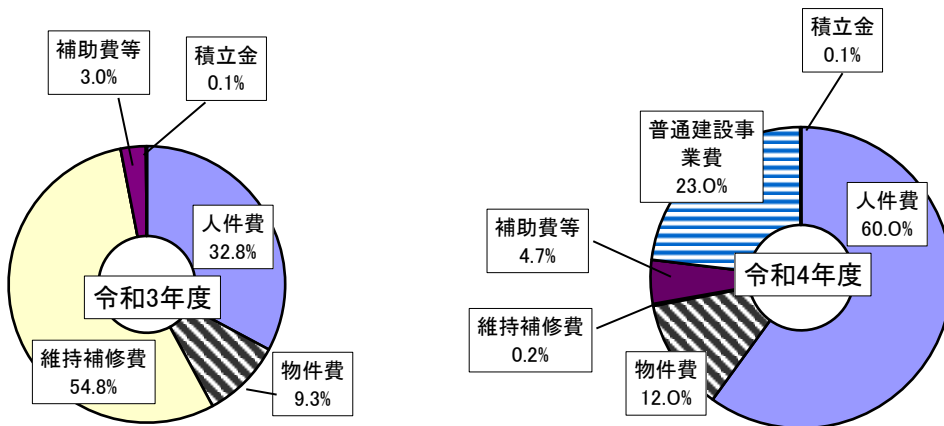
区分 町村名	消防費 基準財政需要額	消防費決算額			
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費	災害対策費
久万高原町	262,419	459,805	49,442	4,837	30,740

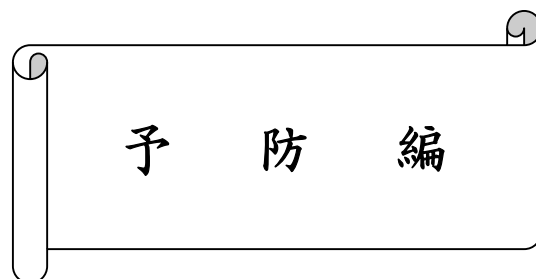


## 消防費決算内訳状況

(単位:千円)

年度 区分	令和3年度	%	令和4年度 消防費歳出合計						
				%	常備消防	非常備消防	消防施設費	災害対策費	
人件費	295,605	32.8	320,299	60.0	294,146	26,153	—	—	
物件費	84,378	9.3	64,705	12.0	27,551	5,566	3,515	28,073	
維持補修費	493,046	54.8	1,209	0.2	639	—	500	70	
扶助費	—	—	—	—	—	—	—	—	
補助費等	26,591	3.0	25,183	4.7	4,041	17,723	822	2,597	
公債費	—	—	—	—	—	—	—	—	
普通建設事業費	—	—	123,419	23.0	123,419	—	—	—	
積立金	15	0.1	10,009	0.1	10,009	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	899,635	100	544,824	100.0	459,805	49,442	4,837	30,740	





予 防 編



## 年間の主な行事

実施月日	行事名	内 容
5月10日	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会	3年振りに対面での総会を実施し、女性防火クラブの活動について協議しました。
6月5日～ 6月11日	危険物安全週間	危険物関係事業所に対する査察の実施及び予防広報により、危険物の保安に対する意識の高揚啓発に努めました。
11月9日～ 11月15日	車両による広報	期間中、管内を巡回し、火災予防広報を実施しました。
	ポスター 掲示	火災予防桃太郎旗60本の設置及び、防火ポスターを公共施設、事業所等に配布しました。
	放送による広報	期間中、防災行政無線により予防広報を実施しました。
	防災教室の実施	学校・事業所・地域を対象に通報・避難・消火訓練等を実施しました。
	立入検査の実施	防火対象物の立入検査を実施しました。
11月4日～ 11月30日	一人暮らしのお年寄り宅防災診断	管内の一人暮らしのお年寄り世帯(75歳以上465戸)を対象に、火気使用設備の状況確認や危険箇所の是正、健康状況の調査及び災害予防のための調査・指導を実施、併せて住宅用火災警報器の設置推進活動を実施しました。
11月10日	移動タンク等立入検査の実施	移動タンク・危険物運搬車両の立入検査を久万高原警察署と合同で実施しました。 (国道33号線：露峰国道検問所)
12月20日～ 1月10日	年末年始火災予防特別運動	一般住民の防火意識の高揚を図り、「火災の未然防止」「早期発見」「被害の軽減」を目的に、年末・年始火災予防特別運動を実施しました。
2月2日	防火ポスター・習字コンクール	小・中学生よりポスターの部232点・防火習字・硬筆の部273点の応募があり145名を表彰しました。表彰作品については管内各施設で展示会を実施しました。
3月1日～ 3月7日	ポスター 掲示 放送による広報 防災教室の実施 立入検査の実施	秋季火災予防運動に同じ。
	後期高齢者夫婦世帯等防災診断 (2月21日～3月13日)	管内の後期高齢者夫婦世帯等(267戸)を対象に、火気使用設備の状況確認や危険箇所の是正、健康状況の調査及び災害予防のための調査・指導を実施、併せて住宅用火災警報器の設置推進活動を実施しました。

## 危険物施設数

(完成検査済証交付施設)

製造所等の別 数量の別	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	小 計	給 油	一 般	小 計	
5倍以下	1	1	1	6	2	9	-	20	1	1	2	22
5倍をこえ 10倍以下	1	3	-	1	-	-	-	5	2 (2)	-	2	7
10倍をこえ 50倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	3 (3)	2	5	5
50倍をこえ 100倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	6	6
100倍をこえ 150倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	3
150倍をこえ 200倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	2 (1)	-	2	2
200倍をこえ 1000倍以下	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
合 計	2	4	1	8	2	9	-	26	16 (6)	4	20	46

※ 給油取扱所欄( )は自家用を再掲

## 危険物関係事務の処理状況

施設別 種 類 別	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	小 計	給 油	一 般	小 計	
設 置 許 可	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
変 更 許 可	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	2
設 置 完 成 検 査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
変 更 完 成 検 査	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	2
予 防 規 程 の 認 可	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	8	8
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 承 認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仮 使 用 の 承 認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃 止 届	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
譲 渡 引 渡 届	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	2
種 類 数 量 変 更 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
変 更 届	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2	10	10
保 安 監 督 者 選 ・ 解 任 届	-	1	-	1	-	-	-	2	4	1	5	7
取 扱 者 選 ・ 解 任 届	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
休 止 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再 開 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 届	-	-	-	2	-	1	-	3	3	-	3	6
合 計	-	1	-	4	-	3	-	8	27	4	31	39

## 危険物手数料の徴収状況

(単位:円)

区分	地区別	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	計
	設置許可	-	-	-	-	-
変更許可	-	-	26,000	26,000	52,000	
設置完成検査	-	-	-	-	-	
変更完成検査	-	-	13,000	13,000	26,000	
水張(圧)検査	-	-	-	-	-	
仮貯蔵・仮取扱	-	-	-	-	-	
仮使用	-	-	-	-	-	
合計	-	-	39,000	39,000	78,000	

## 危険物施設に対する査察状況

製造所等の別	査察実績	施設数	査察回数(延べ)
	屋内貯蔵所	2	1
屋外タンク貯蔵所	4	3	
屋内タンク貯蔵所	1	1	
地下タンク貯蔵所	8	8	
簡易タンク貯蔵所	2	2	
移動タンク貯蔵所	9	9	
屋外貯蔵所	-	-	
給油取扱所	16	15	
一般取扱所	4	4	
合計	46	43	

# 防火対象物数・立入検査状況

地区別 防火対象物の区分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町	立入検査
		1	イ 劇場・映画館・演芸場 ロ 公会堂・集会場	1 19	- 7	- 5	- 5
2	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ ロ 遊技場・ダンスホール ハ 性風俗関連特殊営業店舗等 ニ カラオケボックス等	- - - -	- - - -	- - - -	- - - -	- - - -	- - - -
3	イ 待合・料亭の類 ロ 飲食店	- 3	- -	- -	- -	- 3	- 2
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場	9	1	-	-	10	6
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所等 ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	9 24	3 3	2 7	2 5	16 39	5 21
6	イ 病院・診療所・助産所 ロ 老人児童等福祉施設・厚生施設 ハ 老人デイサービスセンター ニ 幼稚園・養護学校・盲学校	5 9 7 4	- - 1 -	1 - 1 2	- - 1 -	6 9 10 6	5 2 7 4
7	小中学校・高等学校・各種学校	21	-	9	2	32	21
8	図書館・博物館・美術館	6	1	-	-	7	7
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場 ロ 公衆浴場	- 1	- -	- -	- -	- 1	- -
10	車輛の停車場	-	-	-	-	-	-
11	神社・寺院・教会	5	-	1	-	6	1
12	イ 工場・作業場 ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	35 -	2 -	9 -	- -	46 -	17 -
13	イ 自動車車庫・駐車場 ロ 飛行機等の格納庫	3 -	- -	1 -	- -	4 -	1 -
14	倉庫	37	2	2	1	42	8
15	官公署・銀行・その他の事業所	86	2	10	18	116	-
16	イ 特定の複合用途防火対象物 ロ 上記以外の複合用途防火対象物	27 13	4 1	8 3	4 -	43 17	14 4
17	重要文化財・重要美術品	2	-	3	-	5	1
<b>合 計</b>		<b>326</b>	<b>27</b>	<b>64</b>	<b>38</b>	<b>455</b>	<b>153</b>

# 消防用設備の設置状況

消防用設備別  防火対象物の区分		消火設備					警報設備				避難設備		定期 点 検	
		消 火 器 具	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 報 知 設 備	消 防 機 関 へ 通 報 す る	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具		誘 導 灯
1	イ	観覧場・劇場	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
	ロ	公会堂・集会場	36	5	-	-	-	11	1	1	13	2	21	30
2	イ	キャバレー等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ	料理店等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店等	3	-	-	-	-	3	1	-	-	-	3	2
4		百貨店等	10	2	-	-	-	6	1	-	1	-	8	8
5	イ	旅館・ホテル等	16	6	-	-	-	16	2	4	2	6	16	10
	ロ	共同住宅等	30	-	-	-	-	5	2	-	1	-	1	26
6	イ	病院・診療所	6	1	1	-	-	3	-	3	2	-	5	5
	ロ	福祉施設	9	2	9	-	-	9	-	9	-	1	9	9
	ハ	ディサービス等	10	-	-	-	-	9	-	1	1	-	10	8
7	イ	幼稚園等	6	-	-	-	-	3	-	-	-	1	6	6
	ロ	学校等	28	13	-	-	1	26	5	-	-	3	1	32
8		図書館	4	2	-	-	-	4	2	-	1	1	1	5
9	イ	蒸気浴場等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
10		車輛の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11		神社・寺院	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2
12	イ	工場・作業場	45	7	-	1	-	19	-	-	-	-	1	28
	ロ	テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ	駐車場・車庫	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	ロ	飛行機の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	39	4	-	-	-	9	-	-	-	-	1	27
15		その他の事業所	71	5	-	1	-	19	1	-	7	1	11	-
16	イ	特定含む混在	29	6	-	1	-	20	1	1	1	4	27	26
	ロ	その他の混在	12	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	10
17		重要文化財	5	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4
<b>合 計</b>			<b>368</b>	<b>53</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>166</b>	<b>17</b>	<b>19</b>	<b>32</b>	<b>19</b>	<b>125</b>	<b>243</b>

\*任意設置については除外しています。

# 防火管理者の選任状況・消防計画の届出状況

内 訳		甲種防火対象物						乙種防火対象物						
		単一管理			複数管理			単一管理			複数管理			
		対 象 物 数	選 任 済 み	消 防 計 画	対 象 物 数	選 任 済 み	消 防 計 画	対 象 物 数	選 任 済 み	消 防 計 画	対 象 物 数	選 任 済 み	消 防 計 画	
1	イ	劇場・映画館・演芸場	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
	ロ	公会堂・集会場	18	17	17	-	-	-	18	15	14	-	-	-
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ	待合・料亭の類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場	5	4	4	1	1	1	1	1	-	-	-	-
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	9	9	9	-	-	-	3	3	3	-	-	-
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	イ	病院・診療所・助産所	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	老人児童等福祉施設・厚生施設	9	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	ディサービスセンター等	5	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	幼稚園・養護学校・盲学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7		小中学校・高等学校・各種学校	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8		図書館・博物館・美術館	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10		車輛の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11		神社・寺院・教会	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	イ	工場・作業場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15		官公署・銀行・その他の事業所	15	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	イ	特定の複合用途防火対象物	25	25	25	2	1	1	1	1	1	-	-	-
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		重要文化財・重要美術品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>合 計</b>			<b>103</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>24</b>	<b>21</b>	<b>19</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

## 各種届出事務の処理状況

種 別		地 区 別					合 計
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	その他	
消 防 法 関 係	工事整備対象設備等着工届	2	-	-	-	-	2
	消防用設備等設置届	17	1	-	4	-	22
	消防用設備等点検結果報告	193	11	20	21	-	245
	防火管理者選任届	24	7	11	-	-	42
	消防計画作成届	37	9	12	1	-	59
	L P G 等貯蔵・取扱届	-	-	-	-	-	-
火 災 予 防 条 例 関 係	防火対象物使用開始届	9	-	-	3	-	12
	ボイラー・炉等設置届	1	-	-	-	-	1
	発電・蓄電・変電設備設置届	7	1	5	3	-	16
	火災とまぎらわしい行為の届	221	-	32	2	-	255
	煙火の打ち上げ・仕掛け届	3	-	-	-	-	3
	道路工事届	39	27	29	41	13	149
	少量危険物・指定可燃物届	7	-	2	5	-	14
そ の 他	森林火入れ許可	-	-	-	-	-	-
	罹災証明等交付申請	1	-	-	-	-	1
合 計		561	56	111	80	13	821



クラブ広報編



## 幼年消防クラブ

久万こども園幼年消防クラブ

S 59. 4. 1 結成

★平成25年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★令和 3年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	白川 真理	クラブ員	84名
4月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：紙芝居)			
5月	定期避難訓練	(地震想定：消火訓練：紙芝居)			
6月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：通報訓練)			
7月	定期避難訓練	(風水害想定：消火訓練：引き渡し訓練)			
8月	定期避難訓練	(地震・火災想定：消火訓練：消火器の設置場所確認)			
9月	合同避難訓練	(火災想定：通報訓練：消火訓練)		3施設合同、消防署指導	
10月	定期避難訓練	(地震・火災想定：消火訓練)			
11月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：防災クイズ)			
12月	定期避難訓練	(火災想定)		コロナ禍により各グループでの想定訓練	
1月	定期避難訓練	(地震想定：消火訓練)			
2月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：紙芝居)			
3月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：防災グッズ紹介)			

直瀬幼年消防クラブ

S 59. 12. 1 結成

★平成27年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	宮岡 浩一	クラブ員	3名
5月	避難訓練	(小学校と合同)			
6月	救命救命講習・防災訓練	(災害時の引き渡し訓練)			
12月	避難訓練	(小学校と合同)			
冬休み中	わが家の防火点検	(小学生のみ)			
1月中旬	習字・ポスター制作	(小学生のみ)			
通年	防災に関する学習	(小学生のみ)			

畑野川幼年消防クラブ

H10. 7. 9 結成

★平成28年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	船岡 良雄	クラブ員	13名
5月	避難訓練	(幼年・少年合同)			
6月	救命救急法講習会	(幼年・少年・保護者合同)			
9月	避難訓練 地震想定	(幼年・少年合同)			
12月	シェイクアウトえひめ：地震想定	(幼年・少年合同)			

明神幼年消防クラブ

S 61. 2. 27 結成

★平成30年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	寺岡 統樹	クラブ員	4名
4月	避難訓練	地震・火災想定 (避難経路の確認)			
6月	救命救急講習				
10月	避難訓練：地震・火災想定	(予告なし)			
2月	避難訓練：地震・火災想定	(引き渡し訓練)			

久万幼稚園幼年消防クラブ	H元. 7. 14結成
--------------	-------------

★平成29年度 愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	片岡 昌司	クラブ員	25名
5月	避難訓練：火災想定（小学校と合同）				
12月	シェイクアウトえひめ：地震に対する避難訓練（小学校と合同）				

面河幼年消防クラブ	H12. 4. 1結成
-----------	-------------

★平成26年度 愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	山本 智啓	クラブ員	4名
4月	全校避難訓練（幼年・少年合同）				
5月	令和4年度少年消防クラブ結団式				
6月	全校避難訓練（幼年・少年合同）				
9月	運動会案内状作り				
12月	シェイクアウトえひめ（幼年・少年合同）				
12月～1月	わが家の防火点検				
3月	今年度の反省				

仕七川幼年消防クラブ	H3. 12. 4結成
------------	-------------

★令和元年度 愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	竹本 明仁	クラブ員	5名
4月	避難訓練				
5月	少年消防クラブ結団式				
6月	救命救急法講習会：AED指導 参観日（講師：PTA兼消防職員）				
6月	少年消防学習会（川での安全な遊び方について）				
11月	体験型防災アトラクション				
11月	防火ポスター・習字作成（講師：高崎先生）				
12月	シェイクアウトえひめ：緊急地震速報訓練				
冬休み	わが家の防火点検				
1月	避難訓練：不審者への対処法（講師：仕七川・御三戸駐在所の職員）				
3月	校内防火・防災点検：活動のまとめ				

柳谷幼年消防クラブ	H27. 6. 4結成
-----------	-------------

★令和2年度 愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	佐藤 太	クラブ員	2名
4月	避難訓練：地震・火災想定				
6月	避難訓練：地震想定				
11月	シェイクアウトえひめ				
11月	避難訓練：火災想定				
12月	わが家の防火点検				
2月	防災用品の整備（非常食等の購入）				
2月	防災用品の整備（防災用品の購入）				

## 少年消防クラブ

<小学校>

直瀬小学校少年消防クラブ

S 56. 5. 29結成

★昭和59年度 全国少年消防クラブ運営指導議会議長（消防庁長官）表彰を受ける。

★平成27年度 （財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★令和元年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

★令和 4年度 2022年度優良少年消防クラブ表彰 消防庁長官賞を受賞。

令和4年度	活動報告	代表者	宮岡 浩一	クラブ員	7名
5月	避難訓練				
6月	救命救急法講習：防災訓練：引き渡し訓練（参観日に実施）				
12月	避難訓練				
冬休み	わが家の防火点検				
1月	防火習字・ポスター作成				
通年	防災に関する学習（生活科・総合的な学習の時間等における防災学習）				

畑野川小学校少年消防クラブ

H10. 7. 9結成

★平成26年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

★平成29年度 （財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	船岡 良雄	クラブ員	15名
5月	活動開始式				
5月	避難訓練：火災想定				
9月	避難訓練：地震・火災想定				
12月	一人暮らしの高齢者宅訪問（防火の呼び掛けと花・手紙の配布）				
12月～1月	わが家の防火点検（冬休み中）				
9月～3月	防火ポスター・習字作成：防火呼びかけ				

明神小学校少年消防クラブ

S 61. 2. 27結成

★平成25年度 （財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★令和 4年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	寺岡 統樹	クラブ員	7名
5月	避難訓練 地震・火災想定（避難経路の確認）				
5月	救命救急法講習会				
10月	防火ポスター作成				
10月	避難訓練：土砂災害想定				
12月	防火の呼び掛け活動（一人暮らしの高齢者への手紙の郵送）				
12月	防火習字作成				
冬休み	我が家の防火点検				
2月	引き渡し訓練：暴風雪警報発表時想定				
2月	避難訓練：不審者侵入時想定				

## 久万小学校少年消防クラブ

H10.11.9結成

★平成28年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

★平成29年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	片岡 昌司	クラブ員	19名
5月	少年消防クラブ任命式・防火教室(設備点検など)				
2月	一人暮らしの高齢者への手紙				

## 父二峰小学校少年消防クラブ

H11.7.3結成

★平成29年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

★平成30年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	川西 潤	クラブ員	12名
6月	避難訓練(火災想定:教室での煙体験:通報訓練)				
7月	救命救急法講習(高学年・保護者を対象としたプール使用時の救命法)				
7月~1月	防火ポスター・習字の作成				
10月	避難訓練(火災想定:消火訓練)				
12月	シェイクアウトえひめ				

## 面河小学校少年消防クラブ

H12.4.1結成

★平成24年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

★平成24年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★平成24年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	山本 智啓	クラブ員	5名
4月	全校避難訓練				
5月	令和4年度少年消防クラブ結団式(隊長の任命)				
6月	全校避難訓練				
9月	運動会案内状づくり(防火と交通安全呼びかけ)				
12月	シェイクアウトえひめ				
12月~1月	わが家の防火点検				
3月	今年度の反省				

## 仕七川小学校少年消防クラブ

H3. 12. 4結成

★令和 3 年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

★令和 3 年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和 4 年度	活動報告	代表者	竹本 明仁	クラブ員	5名
4月	避難訓練				
5月	少年消防クラブ結団式				
6月	救命救急法講習会：AED指導 参観日(講師：PTA兼消防職員)				
6月	少年消防学習会(川での安全な遊び方について)				
11月	体験型防災アトラクション				
11月	防火ポスター・習字作成(講師：高崎先生)				
12月	シェイクアウトえひめ：緊急地震速報訓練				
冬休み	わが家の防火点検				
1月	避難訓練：不審者への対処法(講師：仕七川・御三戸駐在所の職員)				
3月	校内防火・防災点検：活動のまとめ				

## 柳谷小学校少年消防クラブ

H27. 6. 4結成

★令和2年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	佐藤 太	クラブ員	2名
4月	避難訓練：地震・火災想定			
6月	避難訓練：地震想定			
11月	シェイクアウトえひめ			
11月	避難訓練：火災想定			
12月	わが家の防火点検			
2月	防災用品の整備(非常食等の購入)			
2月	防災用品の整備(防災用品の購入)			

< 中学校 >

久万中学校少年消防クラブ

H12. 7. 4結成

★平成22年度 モデル少年消防クラブに選定(少年消防クラブ活性化推進会議)され、『安全で災害に強い地域づくり推進事業』(日本消防協会)において、消防防災実践活動モデル事業の助成を受ける。

★平成27年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	福井 隆也	クラブ員	31名
5月	避難訓練：地震想定				
6月	避難訓練：土砂災害想定				
夏休み	防火ポスター作成				
11月	体験型防災アトラクション				
11月	避難訓練：火災想定				
冬休み	わが家の防火・防災点検				
2月	防災倉庫点検 (医薬品等の補充)				

美川中学校少年消防クラブ

H12. 7. 4結成

★平成22年度 モデル少年消防クラブに選定(少年消防クラブ活性化推進会議)され、『安全で災害に強い地域づくり推進事業』(日本消防協会)において、消防防災実践活動モデル事業の助成を受ける。

★平成25年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★平成28年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和4年度	活動報告	代表者	田本 克彦	クラブ員	29名
4月	避難訓練				
6月	救命救急法講習				
12月	シェイクアウトえひめ (避難訓練、地震想定)				
12月～1月	わが家の防火点検				
3月	防災訓練：不審者対応想定				

## 女性防火クラブ

### 上直瀬女性防火クラブ

S56.2.26結成

★昭和56年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★昭和58年度	（財）自治総会センターのコミュニティ助成事業を受ける。	
★昭和60年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。	
★平成2年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★平成26年度	愛媛県消防協会会長表彰を受ける。	
令和4年度	活動報告	部長 上村 芽衣子
		クラブ員 28名
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会	
	※コロナ禍のため活動自粛。	

### 下直瀬女性防火クラブ

S56.4.4結成

★昭和57年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★昭和58年度	（財）自治総会センターのコミュニティ助成事業を受ける。	
★昭和60年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。	
★平成12年度	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。	
★平成21年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★令和2年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。	
令和4年度	活動報告	部長 大野 千鶴
		クラブ員 27名
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会	
7月	軽可搬ポンプ小屋周辺草刈	
11月	愛の一声運動:防火の呼び掛け・花の配布	
11月	軽可搬ポンプ点検	

### 上畑野川女性防火クラブ

S59.2.15結成

★昭和62年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★平成6年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。	
★平成7年度	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。	
★平成10年度	日本消防協会より防災資器材の寄贈を受ける。	
★平成20年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★平成29年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。	
令和4年度	活動報告	部長 八塚 美紀子
		クラブ員 20名
4月	敬老会:防災啓発活動	
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会	
7月	防災キャンプ（炊事訓練手伝い）	
11月	中国・四国ブロック 市町村女性防火クラブ研修会	
11月	避難訓練:久万高原町総合防災訓練	
12月	一人暮らしの高齢者宅訪問（畑野川小学校少年消防クラブ合同）	
年2回	軽可搬ポンプ点検	

下畑野川女性防火クラブ

S59.2.15結成

★昭和62年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★平成22年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★平成28年度	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。	
令和4年度	活動報告	部長 小黒 五月 クラブ員 47名
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会	
6月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会理事会、消防大会	
7月	公民館クリーンデー（公民館及び周辺の清掃・花植え）	
7月	防災キャンプ（炊事訓練手伝い）	
11月	県女性防火クラブ研修会	
12月	ひとり暮らしのお年寄宅訪問（畑野川小学校少年消防クラブ合同）	
12月	町内一斉避難訓練（各種町内会：自主防災班にて参加）	
12月	防災教室（町民館にて避難所設営等）	

露峰女性防火クラブ

H9.3.1結成

★平成10年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★平成23年度	愛媛県消防協会会長表彰を受ける。	
★令和4年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。	
令和4年度	活動報告	—
※昨年度3月の役員会にて解散が決定		

渋草女性防火クラブ

H6.7.28結成

★平成6年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★平成9年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。	
★平成12年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。（応急手当の普及推進）	
★平成18年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。	
★平成19年度	自治体消防制度60周年記念日本防火協会会長表彰を受ける。	
★平成21年度	上浮穴郡纏会表彰を受ける。	
★令和3年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。	
令和4年度	活動報告	部長 高岡 蔦子 クラブ員 9名
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会	
	※活動を予定していたが、コロナ禍のため自粛	



# 表彰及び助成事業状況

部門 クラブ名	全国少年消防クラブ運営指導議会 (消防庁長官) 会長表彰
直瀬小学校 少年消防クラブ	昭和59年度、令和 4年度
部門 クラブ名	日本消防協会 優良少年消防クラブ表彰
明神小学校 少年消防クラブ	平成 3年

部門 クラブ名	『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 消防防災実践活動モデル事業 (日本消防協会)
柳谷中学校 少年消防クラブ	平成21年度
久万中学校 少年消防クラブ	平成22年度
美川中学校 少年消防クラブ	平成22年度

部門 クラブ名	表 彰						助 成 事 業		
	上浮穴郡 生活環境 事務組合 組合長表彰	愛媛県婦人 防火クラブ 連絡協議会 会長表彰	自治体消防 制度60周年 日本消防協会 会長表彰	愛媛県 消防協会 会長表彰	日本消防協会 優良表彰	上浮穴郡 纏会表彰	日本消防協会 『安全で災害に 強い地域づくり 推進事業』	日本消防協会 防災資器材	(財)自治総会センター コミュニティ助成事業
上 直 瀬 女性防火クラブ	昭和60年度			平成26年度	昭和59年度		昭和56年度 平成 2年度		昭和58年度
下 直 瀬 女性防火クラブ	昭和60年度	平成12年度		令和 2年度			昭和57年度 平成21年度		昭和58年度
上畑野川 女性防火クラブ	平成 6年度	平成 7年度		平成29年度			昭和62年度 平成20年度	平成10年度	
下畑野川 女性防火クラブ		平成28年度					昭和62年度 平成22年度		
露 峰 女性防火クラブ				平成23年度			平成10年度		
渋 草 女性防火クラブ	平成 9年度 平成12年度		平成19年度	令和3年度		平成21年度	平成 6年度 平成18年度		
久万こども園 幼年消防クラブ				令和 3年度		平成25年度			
明 神 幼年消防クラブ				平成30年度					
久万幼稚園 幼年消防クラブ				平成29年度					
畑野川 幼年消防クラブ				平成28年度					
面河 幼年消防クラブ				平成26年度					
直 瀬 幼年消防クラブ				平成27年度					
柳 谷 幼年消防クラブ				令和 2年度					
仕七川 幼年消防クラブ				令和元年度					
明神小学校 少年消防クラブ				令和 4年度					平成25年度
久万小学校 少年消防クラブ				平成29年度					平成28年度
畑野川小学校 少年消防クラブ				平成26年度					平成29年度
直瀬小学校 少年消防クラブ				令和元年度					平成27年度
父二峰小学校 少年消防クラブ				平成30年度					平成29年度
面河小学校 少年消防クラブ				平成24年度		平成24年度			平成24年度
仕七川小学校 少年消防クラブ				令和 3年度					令和 3年度
柳谷小学校 少年消防クラブ				令和 2年度					
久万中学校 少年消防クラブ				平成27年度					
美川中学校 少年消防クラブ				平成28年度		平成25年度			

## 少年消防クラブ助成事業

◎『安全で災害に強い地域づくり推進事業』

○消防防災実践活動モデル事業（モデル少年消防クラブ）

設 置 年 度	設 置 ク ラ ブ 名
平成 21 年度	柳谷小学校(旧柳谷中学校)
平成 22 年度	久万中学校 美川中学校

〈資機材 配備状況〉

	品 名	規 格 等	配 備 数		
			柳谷小	久万中	美川中
1	防災倉庫 [兼 救助工具収納箱]	タクボ物置	一式	—	—
2	防災倉庫	タクボ物置	—	一式	一式
3	救助工具収納箱	AK型	—	一式	1式
4	簡易テント	E-ZUP DXA45	—	1台	1台
5	発電機	ホンダ EU16 i	1台	1台	1台
6	チェンソー	ハスクバーナ 340型	1台	—	—
7	投光器 (スタンド付)	ハロゲン1灯式	1台	1台	—
8	コードリール	防雨型	1台	1台	1台
9	リヤカー (ノーパンクタイヤ)	折りたたみ式	1台	1台	1台
10	ハンド型メガホン	防雨型 (サイレン付)	1台	1台	1台
11	防塵ゴーグル	YG-5080	1個	—	—
12	ガソリン携行缶	20ℓ用	1缶	—	—
13	一輪車	—	1台	1台	1台
14	脚立	—	1台	1台	1台
15	担架	A式担架2型	1台	1台	1台
16	災害組織用救急箱	約20人用	1箱	1箱	1箱
17	LEDライト	ヘッドライト	—	10個	10個
18	LEDライト	ハンドライト	—	10個	10個
19	ヘルメット	PU-NI-L	5個	20個	20個
20	手袋	ケブラー	5双	20双	20双
21	手袋 (軍手)	メクセル(12双入)	5箱	—	—
22	防塵マスク	ハイラック 350型(10枚入)	5箱	2箱	2箱
23	寸胴なべ	ステンレス50L	1個	1個	1個
24	4升炊き炊飯器	RR-40SE	1器	1器	1器
25	鋳物コンロ	LPG3連 KP20	1個	1個	1個
26	LPGレギュレーター	調整器2口	1個	1個	1個
27	点火装置	スパークL	1個	1個	1個
28	湯切り竹柄そば上げ	24cm	1個	1個	1個
29	ポータブル電源	708 Jackery	1機	1機	1機
30	ソーラーパネル	100 Jackery	1台	1台	1台
31	専用バック	P7 Jackery	1個	1個	1個

※23～31は令和3年度にコミュニティ助成整備

〈活動服 配備状況〉

	柳谷小学校	久万中学校	美川中学校
配 備 数	13 着	64 着	53 着

(活動服 内訳)

- ①長袖シャツ
- ③帽子
- ⑤ヘルメット

- ②カーゴパンツ
- ④ベルト

## 少年消防クラブ コミュニティ助成事業

設 置 年 度	設 置 ク ラ ブ 名
平成 24 年度	面 河 小 学 校
平成 25 年度	明 神 小 学 校
平成 27 年度	直 瀬 小 学 校
平成 28 年度	久 万 小 学 校

〈 資 機 材 配 備 状 況 〉

★は役場総務課で配備

	品 名	規 格 等	配 備 数			
			面河小	明神小	直瀬小	久万小
1	防災備蓄倉庫	タクボ物置	一 式	一 式	一 式	一 式
2	簡易テント	E-ZUP DXA45 DX45 アルミ TA-34	一 式	一 式	一 式	一 式
3	簡易担架	A式担架2型 アルミ	1 台	1 台	1 台	1 台
4	リヤカー (ノーパンク)	折りたたみ式	1 台	1 台	1 台	1 台
5	発電機	ホンダ EU16 i ホンダ EU9iK1JN1	1 台	1 台	1 台	1 台
6	投光器 (スタンド付)	ハロゲン1灯式 ハロゲン2灯式 ハヤタ PHCX-305	1 台	1 台	1 台	1 台
7	コードリール	防雨型	1 台	1 台	1 台	1 台
8	ハンド型メガホン	防雨型 (サイレン付)	1 台	1 台	1 台	1 台
9	LEDライト	ヘッドライト	10 個	10 個	10 個	10 個
10	ヘルメット	PU-NI-L 148EZ-W1-J	10 個	10 個	10 個	10 個
11	手袋	ケブラー	10 双	10 双	10 双	10 双
12	防塵マスク	ハイラック 350型(10枚入) 使い捨て型	1 箱	1 箱	1 箱	1 箱
13	移動式カマド	船山 EG600A 自主防エコノミーU型	一 式	一 式	一 式	一 式
14	チェーンソー	ゼノア GZ3850EZ			1 台	
15	ガソリン携行缶	20ℓ			1 個	2 個
16	難燃毛布	災害備蓄用パック式	★	★	20 枚	30 枚
17	トランシーバー	ケンウッド UBZ-LP20			5 台	10 台
18	一輪車 (ノーパンク)					5 台
19	はしご兼用脚立	PRT-20FX				1 脚
20	伸縮脚付き足場台	PXGE-1012FK				1 脚
21	ロールマット	段ボール・個包装	★	★	★	★
22	間仕切り	4部屋セット(パーテンション)	★	★	★	★

## 少年消防クラブ コミュニティ助成事業

設 置 年 度	設 置 ク ラ ブ 名
平成 29 年 度	畑 野 川 小 学 校
	父 二 峰 小 学 校
令 和 3 年 度	仕 七 川 小 学 校
	柳 谷 小 学 校、久 万・美 川 中 学 校 (資機材追加整備)

〈資機材 配備状況〉

★は役場総務課で配備

	品 名	規 格 等	配 備 数		
			畑野川小	父二峰小	仕七川小
1	防災備蓄倉庫		★	★	★
2	簡易テント	TA-34	一 式	一 式	一 式
3	簡易担架	A式担架2型 アルミ	1 台	1 台	1 台
4	リヤカー (ノーパンク)	折りたたみ式		1 台	1 台
5	発電機	ホンダ EU16 i	★	★	★
6	投光器	バルーン型	★	★	★
7	コードリール	防雨型	★	★	★
8	ハンド型メガホン	防雨型 (サイレン付)	1 台	1 台	1 台
9	LEDライト	ヘッドライト	10 個	10 個	10 個
10	ヘルメット	148EZ-W1-J	10 個	10 個	10 個
11	手袋	ケブラー	10 双	10 双	10 双
12	防塵マスク	使い捨て型	1 箱	1 箱	1 箱
13	移動式カマド	船山 EG600A	一 式	一 式	
14	ガソリン携行缶	20 <sup>リットル</sup>	2 缶	2 缶	2 缶
15	難燃毛布	災害備蓄用パック式	★	★	★
16	トランシーバー	ケンウッド UBZ-LP20	5 台	5 台	5 台
17	一輪車	ノーパンク	5 台	5 台	5 台
18	寸胴なべ	ステンレス50L			1 個
19	4升炊き炊飯器	RR-40SE			1 器
20	鋳物コンロ	LPG3連 KP20			1 個
21	LPGレギュレーター	調整器2口			1 個
22	点火装置	スパークL			1 個
23	湯切り竹柄そば上げ	24cm			1 個
24	ポータブル電源	708 Jackery			1 機
25	ソーラパネル	100 Jackery			1 台
26	専用バック	P7 Jackery			1 個
27	ロールマット	段ボール・個包装	★	★	★
28	間仕切り	4部屋セット(パーテンション)	★	★	★

※令和3年度 柳谷小、久万中、美川中に18～26を各1ヶ、資機材充実で配備した



警 防 編

# 保有消防車両

(令和4年12月31日現在)

車名	号車	車種	出力	登録番号	備考	配置年	年数	走行距離	配置部署	取得・寄贈
指令車 兼 人員輸送車	消防 1号	トヨタ プラド	2.69KW	愛媛 800 さ 93-17	4WD	H17. 3. 10	17	95,706 k m	本部署	平成16年度市町村合併 推進体制整備事業
消防用査察 指導車	消防 2号	トヨタ エスティマ	2.36KW	愛媛 800 す 27-38	4WD	H21. 10. 30	13	94,479 k m	本部署	単 独
水槽付ポンプ車	消防 3号	ヒノ レンジャー	5.12KW	愛媛 800 は 62-63	4WD モリタA-1	R 2. 12. 1	2	5,309 k m	本部署	緊急消防援助隊 設備整備費補助事業
積載兼工作車	消防 4号	三菱 キャンター	5.24KW	愛媛 830 は ・119	4WD ラビットB-3	H15. 8. 20	19	36,291 k m	本部署	単 独
小型動力ポンプ 付水槽車	消防 5号	ヒノ レンジャー	6.40KW	愛媛 800 は 55-67	FR車 トーハツB-3	H22. 6. 18	12	13,378 k m	本部署	平成21年度地域活性化 経済対策臨時交付金事業
水槽付ポンプ車	消防 6号	三菱 ファイター	8.20KW	愛媛 800 は ・154	4WD モリタA-2	H11. 11. 30	23	42,439 k m	美川支署	平成11年度市町村 消防設備整備費補助事業
資器材運搬車	消防 7号	スズキ エブリーワゴン	0.65KW	愛媛 880 あ 16-10	4WD	H27. 1. 26	7	50,708 k m	本部署	平成26年度石油貯蔵施設 立地対策等交付金事業
査察広報車	消防 8号	ニッサン エクストレイル	1.99KW	愛媛 800 さ 93-13	4WD	H17. 3. 15	17	199,715 k m	本部署	平成16年度市町村合併 推進体制整備事業
資器材運搬車	消防 9号	スバル サンバー	0.65KW	愛媛 80 あ 20-11	4WD	R 2. 12. 28	2	10,693 k m	本部署	久万高原町消防団から移管
訓練指導車	消防11号	マツダ タイタン	1.99KW	愛媛 100 す 11-91	FR車	H18. 8. 30	16	25,494 k m	本部署	宝くじ協会寄贈
高規格救急車	救急 1号	ニッサン エルブランド	3.49KW	愛媛 800 す 63-72	4WD	H28. 3. 8	7	48,723 k m	本部署	緊急消防援助隊 設備整備費補助事業
高規格救急車	救急 2号	トヨタ ハイエース	2.69KW	愛媛 800 す 15-64	4WD	H20. 1. 11	14	196,634 k m	本部署	全国共済農業協同組合連合会 愛媛県本部 寄贈
高規格救急車	救急 3号	トヨタ ハイエース	2.69KW	愛媛 800 す 41-33	4WD	H24. 3. 12	10	93,947 k m	美川支署	電源立地地域対策交付金事業
高規格救急車	救急 5号	ニッサン エルブランド	3.49KW	愛媛 800 さ 90-01	4WD	H16. 11. 4	18	171,748 k m	本部署	緊急消防援助隊 設備整備費補助事業

## 消防機械器具の保有状況(抜粋)

種別	名 称	数量	種別	名 称	数量
放水器具	小型ポンプB-3級	2	林野火災用器具	マルチジョイント	2
	軽可搬ポンプD-2級	1		ウォーターチャージャー	1
	高圧送水ポンプ一式	2		トレンチショベル	10
	水幕ホース	3		火たたき	5
	65mmホース	172	車両整備器具	高温・高圧洗浄機	1
	50mmホース	39		ガレージジャッキ	3
	40mmホース	21		充電器	2
	可変噴霧ノズル	3		ギアレンチ	2
	プロジェクトガン	3	その他	刈払機	2
	エコファイターノズル	2		ホースブリッジ	10
クワドラフォグノズル	2	自立式大型水槽		1	
ラインプロポーションナー	1	防雨型コードリール		3	
プロパック	1	チェーンブロック		1	
背負い式消火水のう	48	救助用三脚		1	
照明器具	発電機	5		トランジスターメガホン	10
	投光器	5		エアーテント	1
	可搬式投光器	1	ナイロンスリング	6	
	携帯用投光器	1	スバリ(検索棒付)	4	
	反射式合図灯	2			

## 化学消火薬剤保有状況

区 分	薬 剤 名 ・ 規 格	メーカー	個 数	備 考
た ん 白 系	ニュー・マイティフォーム (3%)	ヤマト	20L × 4缶	
	ニュー・マイティフォーム (6%)	ヤマト	20L × 13缶	水溶性液体用
		合 計	20L × 17缶	340 リットル
合成界面活性剤	マルチエース	モリタ	20L × 3缶	
	プロフォーム (3%)	ヤマト	20L × 24缶	
	プロフォーム (3%)	ヤマト	20L × 7缶	耐寒用
		合 計	20L × 34缶	680 リットル
水溶性液体用 泡消火薬剤	ニューアルコジェットフォーム (6%)	ヤマト	20L × 3缶	耐アルコール用
	ニューアルコジェットフォーム (6%)	ハッタ	20L × 3缶	耐アルコール用
		合 計	20L × 6缶	120 リットル
水性膜泡 消火薬剤	フォレックスパン-S	YONE	20L × 1缶	19 リットル
		合 計	20L × 1缶	19 リットル

※ 使用中の容器の数は含まない。

## 油処理剤保有状況

区 分	薬 剤 名 ・ 規 格	メーカー	個 数	備 考
油処理剤	シーグリーン (805)	ヤマト	18L × 5缶	90リットル
油吸着マット	BL-65型	三 井	168枚	
油・液体吸着剤	ACライト (4.5kg入り)	谷口商会	32袋	144 kg
	ACライト (10kg入り)	谷口商会	8袋	80 Kg

※ 使用中の端数は数に含まない。



## 消防水利の状況

区 分		地区別				合 計
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	
消 火 栓 65mm	公 設	450	2	124	28	604
	私 設	—	5	—	—	5
	小 計	450	7	124	28	609
防 火 水 槽 40t以上	公 設	73	37	15	6	131
	私 設	—	—	—	—	—
	小 計	73	37	15	6	131
防 火 水 槽 20 t 以 上 40 t 未 満		21	1	25	45	92
そ の 他	河 川 ・ 溝 等	67	6	8	10	91
	海 ・ 湖	—	—	—	—	—
	プ ー ル	8	2	2	4	16
	濠 ・ 池 等	6	4	—	2	12
	下 水 道	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—
	小 計	81	12	10	16	119
<b>合 計 (現有数)</b>		<b>604</b>	<b>56</b>	<b>149</b>	<b>50</b>	<b>859</b>
基 準 数		632	126	281	148	1,187
消 防 水 利 充 足 数		455	60	111	54	680
不 足 数		177	66	170	94	507
<b>充 足 率 (%)</b>		<b>72.0</b>	<b>47.6</b>	<b>39.5</b>	<b>36.5</b>	<b>57.3</b>

※消火栓:50mm 以下は除く。防火水槽:40t 未満は合計数に含まず。

## 耐震性防火水槽設置状況

久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	合 計
31	17	7	6	61

# 年間出動状況及び燃料消費量

(令和4年12月31日現在)

出 動 別	車名 区分	消防1号	消防2号	消防3号	消防4号	消防5号	消防6号	消防7号	消防8号
		指令車	査察・指導車	水槽付ポンプ車	積載工作車	小型ポンプ付水槽車	水槽付ポンプ車	資器材搬送車	査察広報車
火 災 出 動	回 数	6	-	7	4	7	5	2	-
	走行距離	147	-	178	98	183	138	33	-
救 急 出 動	回 数	-	-	-	-	-	-	-	-
	走行距離	-	-	-	-	-	-	-	-
救 助 出 動	回 数	7	1	2	13	2	-	3	10
	走行距離	260	16	19	193	64	-	58	521
風 水 害 出 動	回 数	-	-	-	-	-	-	1	-
	走行距離	-	-	-	-	-	-	2	-
捜 索 ・ 遭 難	回 数	1	-	-	-	-	-	1	4
	走行距離	14	-	-	-	-	-	16	169
演 習 訓 練	回 数	4	56	84	72	54	49	5	80
	走行距離	29	3,810	1,903	180	72	236	44	5,041
訓 練 指 導	回 数	-	2	1	2	1	1	5	5
	走行距離	-	170	6	9	4	11	153	277
警 防 調 査	回 数	1	1	2	2	1	1	1	5
	走行距離	60	72	30	9	7	45	93	392
予 防 調 査	回 数	-	9	2	6	1	-	29	27
	走行距離	-	442	12	64	7	-	800	1,567
原 因 調 査	回 数	-	-	-	-	-	-	-	2
	走行距離	-	-	-	-	-	-	-	62
特 別 警 戒	回 数	1	-	7	-	1	4	1	5
	走行距離	93	-	166	-	30	137	4	527
予 防 広 報	回 数	-	-	10	1	7	1	-	-
	走行距離	-	-	212	18	166	8	-	-
そ の 他	回 数	25	74	13	24	7	13	446	55
	走行距離	646	3,598	110	159	101	129	3,393	1,774
誤 報 ・ 確 認	回 数	2	-	8	-	-	4	-	-
	走行距離	95	-	127	-	-	62	-	-
合 計	回 数	47	143	136	124	81	78	494	193
	走行距離	1,344	8,108	2,763	730	634	766	4,596	10,330
消費燃料	ガソリン	242	576	-	-	-	-	348	962
	軽 油	-	-	841	204	253	232	-	-
年 間 距 離 指 数		1,344km	8,108km	2,763km	730km	634km	766km	4,596km	10,330km

出 動 別	車名 区分	消防9号	消防11号	救急1号	救急2号	救急3号	救急5号	合 計
		資器材搬送車	訓練指導車	高規格車	高規格車	高規格車	高規格車	
火 災 出 動	回 数	7	-	-	-	1	-	39
	走行距離	182	-	-	-	20	-	979
救 急 出 動	回 数	-	-	127	249	208	6	590
	走行距離	-	-	7,867	8,839	11,753	156	28,615
救 助 出 動	回 数	8	1	-	-	-	-	47
	走行距離	286	32	-	-	-	-	1,449
風 水 害 出 動	回 数	3	-	-	-	-	-	4
	走行距離	24	-	-	-	-	-	26
捜 索 ・ 遭 難	回 数	1	-	-	1	3	-	11
	走行距離	-	-	-	14	53	-	266
演 習 訓 練	回 数	23	11	7	17	40	5	507
	走行距離	345	153	644	110	740	111	13,418
訓 練 指 導	回 数	-	21	-	-	5	-	43
	走行距離	-	278	-	-	70	-	982
警 防 調 査	回 数	8	2	-	3	20	-	47
	走行距離	379	163	-	18	332	-	1,600
予 防 調 査	回 数	11	13	1	21	23	1	144
	走行距離	283	394	4	220	305	63	4,161
原 因 調 査	回 数	3	2	-	-	2	1	10
	走行距離	143	93	-	-	20	39	357
特 別 警 戒	回 数	-	-	2	1	-	-	22
	走行距離	-	-	47	4	-	-	1,008
予 防 広 報	回 数	-	3	-	2	76	-	100
	走行距離	-	438	-	28	1,701	-	2,571
そ の 他	回 数	168	29	40	39	318	12	1,263
	走行距離	2,513	1,178	300	210	4,581	210	18,902
誤 報 ・ 確 認	回 数	-	-	-	2	1	-	17
	走行距離	-	-	-	5	1	-	290
合 計	回 数	232	82	177	335	697	25	2,844
	走行距離	4,155	2,729	8,862	9,448	19,576	579	74,620
消費燃料	ガソリン	346	429	1,742	1,610	3,137	204	9,596
	軽 油	-	-	-	-	-	-	1,530
年 間 距 離 指 数		4,155km	2,729km	8,862km	9,448km	19,576km	579km	74,620km

備考 ※ 救急出動には医師搬送、不搬送件数を含む。  
※ 救助出動には応援出動、出場途中帰署件数を含む。

# 月別出動状況

(令和4年12月31日現在)

種別	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	延べ人員	-	14	57	-	-	15	-	-	-	8	20	-	114
	延べ車両	-	4	21	-	-	5	-	-	-	3	6	-	39
救急	延べ人員	134	149	123	148	123	136	121	190	144	175	128	167	1,738
	延べ車両	45	50	42	50	42	47	42	64	49	59	44	56	590
救助	延べ人員	3	2	-	14	5	7	2	21	11	29	8	12	114
	延べ車両	2	1	-	5	2	3	1	10	5	10	3	5	47
風水害等の災害	延べ人員	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	7
	延べ車両	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4
捜索	延べ人員	-	6	-	-	3	-	4	3	-	6	-	10	32
	延べ車両	-	3	-	-	1	-	1	1	-	2	-	3	11
演習訓練	延べ人員	91	54	66	68	129	80	103	85	64	115	90	45	990
	延べ車両	50	38	27	28	65	49	47	53	44	48	38	20	507
訓練指導	延べ人員	-	3	4	-	16	7	8	8	7	6	21	11	91
	延べ車両	-	1	2	-	6	3	3	5	4	3	11	5	43
警防調査	延べ人員	13	10	16	2	15	5	8	2	11	11	5	15	113
	延べ車両	5	4	7	1	6	2	4	1	4	4	3	6	47
予防調査	延べ人員	22	13	30	28	24	35	12	21	18	23	90	32	348
	延べ車両	9	5	12	11	10	14	5	8	7	8	42	13	144
原因調査	延べ人員	-	-	10	-	-	3	-	-	-	10	3	-	26
	延べ車両	-	-	4	-	-	1	-	-	-	3	2	-	10
特別警戒	延べ人員	13	-	-	-	-	-	13	10	6	3	-	12	57
	延べ車両	5	-	-	-	-	-	6	4	2	1	-	4	22
広報	延べ人員	36	41	71	43	23	3	-	-	3	11	26	24	281
	延べ車両	13	15	26	15	8	1	-	-	1	4	9	8	100
その他	延べ人員	138	182	149	157	154	212	204	289	260	293	220	198	2,456
	延べ車両	77	88	79	83	89	114	100	144	117	147	114	111	1,263
誤報・確認	延べ人員	3	-	-	-	6	9	3	3	3	3	9	9	48
	延べ車両	1	-	-	-	2	3	1	1	1	1	3	4	17
合計	延べ人員	453	474	526	460	498	512	478	632	534	693	620	535	6,415
	延べ車両	207	209	220	193	231	242	210	291	238	293	275	235	2,844

※ 火災出動は軽微な火災出動も含む。

### 緊急通報受信状況

	災害別	月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
受 信 件 数	火 災		2	3		1	1		1		1	1		10
	救 急	45	50	42	51	42	49	39	63	47	53	42	56	579
	救 助							3						3
	救急救助		1		2			1	3	1	7	2	1	18
	確認出動						3				1		1	5
	その他	1	1	6	4	1	1	3	1	2	2	1	6	29
	間違い	7	1		1	1	4	4	6	1	1	2	12	40
	いたずら													0
	試 験	1	4	3	2	8		1	1	8		5	1	34
	訓 練	1	1	2		2		2	1	4	5	6	5	29
	問い合わせ							1	3		5	1	5	15
合 計	55	60	56	60	55	58	54	79	63	75	60	87	762	

### 携帯119転送受信状況

	種別	月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
転送 送受信	送 信		1		3		2		1		2			9
	受 信			4		1	1			1	1	1	1	10
	合 計	0	1	4	3	1	3	0	1	1	3	1	1	19

### 覚知方法別受信状況

覚知別	月	月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1 1 9		23	20	23	20	19	14	12	21	21	22	17	23	235
携 帯 1 1 9		13	10	12	20	15	24	13	32	20	26	22	39	246
I P 1 1 9				1	1			1	1		1	1		6
衛 星 1 1 9		1		1									1	3
一 般 加 入		15	28	13	16	20	14	24	19	21	19	16	15	220
一般加入(美川)		2	1	2	2		2	1	4		5	1	3	23
一般加入(警察)					1	1	1					1		4
一般加入(介護)														0
転 送			1	3							1	1	2	8
自 己 覚 知		1						3	2	1	1		2	10
駆 け 付 け				1								1	1	3
ジ オ チ ャ ッ ト														0
トンネルモニター盤							3						1	4
合 計		55	60	56	60	55	58	54	79	63	75	60	87	762

### 携帯電話別受信件数

携帯電話業者別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
ド コ モ	8	5	6	15	12	15	7	21	11	17	13	20	150
a u	4	5	3	4	2	6	5	9	3	4	8	13	66
ソフトバンク	1		2	1	1	3		2	4	5	1	6	26
楽天モバイル			1				1		2				4
合 計	13	10	12	20	15	24	13	32	20	26	22	39	246

# 久万高原町における気象記録

久万高原町消防本部観測(昭和54年～令和4年)

※令和4年の最大記録

## 最大瞬間風速記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	方 位	風 速	原 因
1	平成 16年 8月 30日	15:00	南	35.0m	台 風
2	平成 30年 7月 10日	11:17	西	30.1m	台 風
3	昭和 55年 9月 11日	8:00	南	30.0m	台 風
※	令和 4年 9月 18日	23:30	南南東	17.1m	台 風

## 平均風速最大記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	方 位	風 速	原 因
1	昭和 55年 9月 11日	18:00	南	22.0m	台 風
2	平成 3年 9月 27日	20:00	南東	15.0m	台 風
3	平成 7年 9月 24日	15:00	北西	14.5m	台 風
※	令和 4年 4月 16日	12:27	北北西	6.7m	低 気 圧

## 最低気温記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	気 温
1	平成 7年 12月 31日	7:00	-15.0℃
2	平成 8年 2月 10日	8:00	-14.0℃
3	平成 30年 2月 9日	6:59	-13.3℃
※	令和 4年 2月 26日	6:42	-7.8℃

## 最高気温記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	気 温
1	令和 2年 8月 17日	14:59	36.2℃
2	平成 6年 8月 7日	13:00	35.7℃
3	平成 6年 7月 16日	13:00	35.6℃
※	令和 4年 7月 1日	15:34	35.5℃

## 日雨量の最大記録

順位	発 生 年 月 日	雨 量	降雨原因
1	平成 17年 9月 6日	309.5mm	台 風
2	平成 16年 8月 30日	286.0mm	台 風
3	令和 4年 9月 18日	281.5mm	台 風
※	令和 4年 9月 18日	281.5mm	台 風

## 積雪最大記録

順位	発 生 年 月 日	積雪量
1	令和 4年 12月 23日	76.8cm
2	昭和 59年 1月 31日	72.0cm
3	平成 17年 12月 17日	65.0cm
※	令和 4年 12月 23日	76.8cm

## 1時間雨量の最大記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	雨 量	降 雨 原 因
1	昭和 58年 7月 16日	18:00 ~ 19:00	56.5mm	前 線 の 停 滞
2	令和 2年 8月 29日	16:00 ~ 17:00	51.5mm	前 線 の 停 滞
3	平成 29年 9月 17日	14:00 ~ 15:00	50.0mm	台 風 第 18 号
※	令和 4年 9月 18日	21:00 ~ 22:00	34.0mm	台 風 第 14 号

## 継続雨量の最大記録

順位	発 生 年	月 / 日 ~ 月 / 日	雨 量	降 雨 原 因
1	平成 17年	7/1 ~ 7/6	414.0mm	前 線 の 停 滞
2	昭和 54年	6/27 ~ 6/30	411.5mm	梅 雨 前 線 の 停 滞
3	平成 15年	6/28 ~ 7/5	384.0mm	前 線 の 停 滞
※	令和 4年	9/17 ~ 9/18	281.5mm	前 線 の 停 滞

# 気象観測年報

内訳		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均 極 値
気 温 ℃	平 均	平均	0.5	0.4	7.4	12.5	15.6	20.3	24.0	24.9	21.8	13.8	10.1	1.5	<b>12.7</b>
		最高	3.3	3.5	13.4	18.9	18.4	25.7	26.4	26.6	24.8	18.7	15.9	6.8	<b>26.6</b>
		最低	-1.6	-3.5	1.5	3.8	10.7	15.8	21.0	22.3	15.7	8.0	7.0	-1.8	<b>-3.5</b>
温 度 ℃	極 値	最高	11.7	15.4	23.3	25.6	29.1	34.1	35.5	33.6	32.2	28.6	22.0	15.7	<b>35.5</b>
		起日	10	28	17	10	29	30	1	2	14	3	12	10	<b>7/1</b>
		最低	-7.7	-7.8	-6.0	-2.7	1.2	6.8	17.3	16.5	9.6	1.4	0.8	-6.8	<b>-7.8</b>
		起日	22	26	8	17	4	2	24	29	21	30	20	20	<b>2/26</b>
湿 度 %	平 均	平均	73.5	69.1	71.0	70.7	72.4	77.8	81.4	79.2	83.1	81.5	83.2	78.7	<b>76.8</b>
		最低	13.7	13.7	5.7	5.6	16.5	18.9	26.9	37.5	27.1	24.4	28.2	34.2	<b>5.6</b>
		起日	15	28	16	17	29	3	1	27	30	26	16	6	<b>4/17</b>
風 速 m/s	平 均	平均	1.0	1.3	1.1	1.2	1.0	1.0	0.9	0.9	1.0	0.8	0.8	4.5	<b>1.3</b>
		瞬間	14.7	16.0	15.4	16.4	16.0	11.9	10.4	12.3	17.1	11.8	12.3	14.5	<b>17.1</b>
		風向	NNW	NNW	NNW	N	NNW	NNW	NE	NNW	SSE	NNW	ENE	NNW	<b>SSE</b>
		起日	11	22	6	29	2	8	2	18	18	25	28	14	<b>9/18</b>
最多風向			WNW	WNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	<b>NNW</b>
日照時間h (累計)			140.0	126.5	170.0	202.6	183.8	158.4	122.4	162.9	111.9	181.7	165.2	97.2	<b>1,822.6</b>
降 水 量 mm	合計(累計)		<b>56.0</b>	<b>32.0</b>	<b>104.0</b>	<b>142.0</b>	<b>99.5</b>	<b>121.0</b>	<b>243.5</b>	<b>60.0</b>	<b>458.5</b>	<b>56.0</b>	<b>54.5</b>	<b>82.5</b>	<b>1,509.5</b>
	最 大	日量	31.0	12.5	26.5	48.5	26.0	33.5	96.5	22.0	281.5	17.5	16.0	26.0	<b>281.5</b>
		起日	23	13	18	26	13	21	19	18	18	17	29	22	<b>9/18</b>
	大	1時間	6.0	3.0	6.5	26.5	6.0	13.0	15.0	15.5	34.0	6.5	5.5	26.0	<b>34.0</b>
		起日	11	13	18	26	12	21	19	18	18	7	1	22	<b>9/18</b>
降 雪 量 mm	降雪日数		4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	<b>14</b>
	最 大	日量	3.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76.8	<b>76.8</b>
		起日	20	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	<b>12/23</b>
	大	1時間	2.9	4.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	<b>6.4</b>
		起日	20	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	<b>12/23</b>



火災統計編



# 火災発生状況

(各年中)

年 区分		令和3年	令和4年	増減	
		(A)	(B)	(B) - (A)	
出火 件数	総件数		4	10	6
	種 別	建物	1	3	2
		林野	0	1	1
		車両	3	1	△2
		その他	0	5	5
焼損 状況	焼損棟数		1	4	3
	程 度	全焼	0	4	4
		半焼	0	0	0
		部分焼	1	0	△1
		ぼや	0	0	0
面積	建物床	m <sup>2</sup>	45	309	264
	建物表	m <sup>2</sup>	0	0	0
	林野	a	0	34	34
り災 状況	総世帯		1	1	0
	程 度	全損	0	2	2
		半損	0	0	0
		小損	1	0	△1
死傷	人員		1	1	0
	死者	人	0	0	0
	傷者		1	0	△1
損害 状況	総損害額		2,263	6,493	4,230
	種 別	建物	1,759	3,743	1,984
		林野	0	771	771
		車両	504	1,167	663
		その他	0	812	812
出火率		万人当り	5.1	13.2	8.1

\* 各年の数値は1月～12月に発生した火災を集計したもの。  
以下本節において同じ。

# 火災一覧表

(令和4年中)

火災番号	出火月日	火災種別	出火地区	出火時刻	覚知時刻	鎮火時刻	天候	風速	湿度	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	火元用途	構造燃焼物	出火原因
1	2/3~2/4	建物	美川	2/3 17:00	2/15 13:30	不明	曇り	0.6	72%	52	-	-	422	不明	木造	不明
2	2/26	建物	美川	11:00	3/1 14:45	不明	晴れ	1.2	40%	22	-	-	108	倉庫	軽量鉄骨造	石油ストーブ
3	2/28	その他	久万	15:46	16:03	16:40	曇り	4.3	28%	-	194	-	0	敷地内の 枯草	-	火のついたゴミ
4	3/5	その他	久万	16:24	16:34	17:07	晴れ	2.1	23%	-	1,161	-	812	農地	-	枯草焼き
5	3/10	その他	久万	12:10	12:41	13:20	晴れ	1.4	28%	-	3,145	-	0	農地	-	枯草焼き
6	3/17	林野	久万	10:50	11:23	12:05	晴れ	0.8	24%	-	-	34	771	人工林	-	枯草焼き
7	4/17	その他	美川	20:00	22:51	20:10	晴れ	0.7	57%	-	-	-	0	田畑	-	枯草焼き
8	6/7	車両	美川	10:56	11:06	11:47	曇り	3.1	56%	-	-	-	1,167	林業機械	-	配線
9	10/20	その他	久万	15:00~ 17:16	17:21	17:42	晴れ	0.4	74%	-	158	-	0	農地	-	不明
10	11/15	建物	美川	15:20	15:45	17:50	晴れ	1.3	54%	235	-	-	3,213	住宅	木造	消し炭

# 地区別火災発生状況

(平成25年～令和4年の総数)  
(総件数68件)

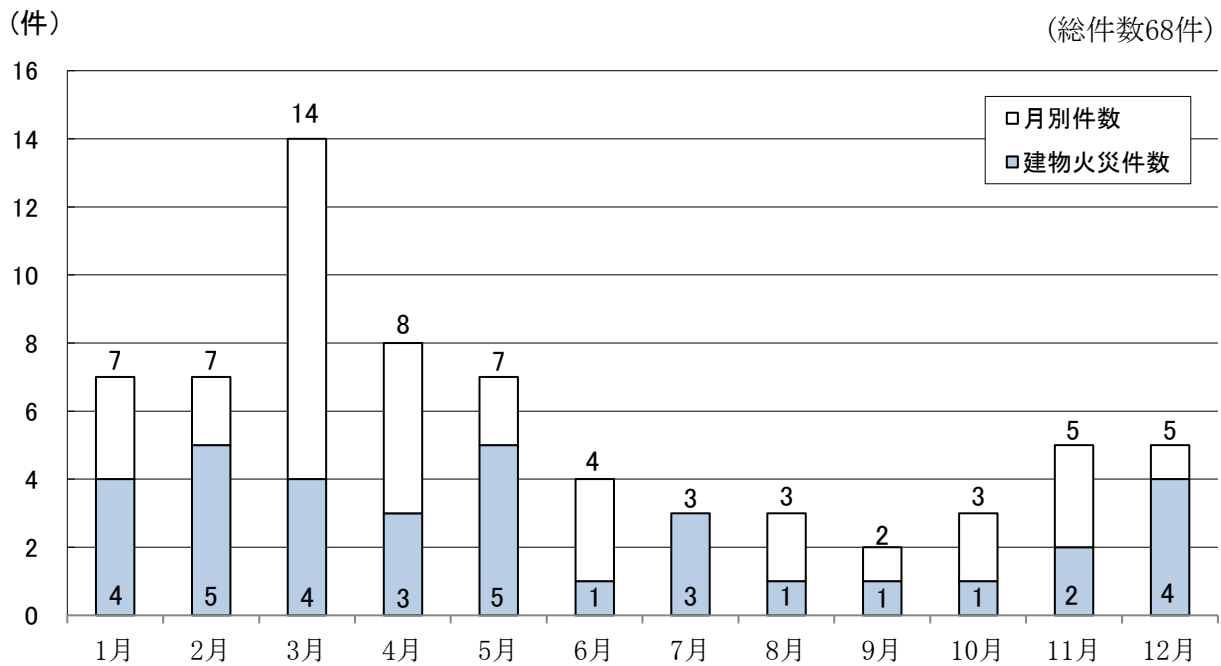
地区		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町		
区分	地区							
火災件数	総件数		36 (5)	6	19 (5)	7	68 (10)	
	種別	建物	12	3	13 (3)	6	34 (3)	
		林野	8 (1)	2	1	1	12 (1)	
		車両	4	1	4 (1)	—	9 (1)	
		その他	12 (4)	—	1 (1)	—	13 (5)	
焼損状況	焼損棟数		12	15	24 (4)	20	71 (4)	
	程度	全焼	8	12	16 (4)	12	48 (4)	
		半焼	0	0	2	2	4	
		部分焼	3	2	5	3	13	
		ぼや	1	1	1	3	6	
面積	建物床	m <sup>2</sup>	584	710	1,213 (309)	1,016	3,523 (309)	
	建物表	m <sup>2</sup>	3	24	40	49	116	
	林野	a	175 (34)	3	186	10	374 (34)	
り災	世帯		7	6	9 (1)	6	28 (1)	
	人員		8	9	17 (1)	8	42 (1)	
死傷	死者		—	1	1	—	2	
	傷者		1	1	3 (2)	2	7 (2)	
損害状況	損害額		9,846 (1,583)	12,161	35,427 (4,910)	20,365	77,799 (6,493)	
	種別	建物	千円	6,777	11,295	29,112 (3,743)	20,272	67,456 (3,743)
		林野	1,192 (771)	63	2,022	80	3,357 (771)	
		車両	739	803	4,293 (1,167)	—	5,835 (1,167)	
		その他	1,138 (812)	—	—	13	1,151 (812)	

※( )内は令和4年中の数値

# 月別火災発生状況

(平成25年～令和4年の総数)

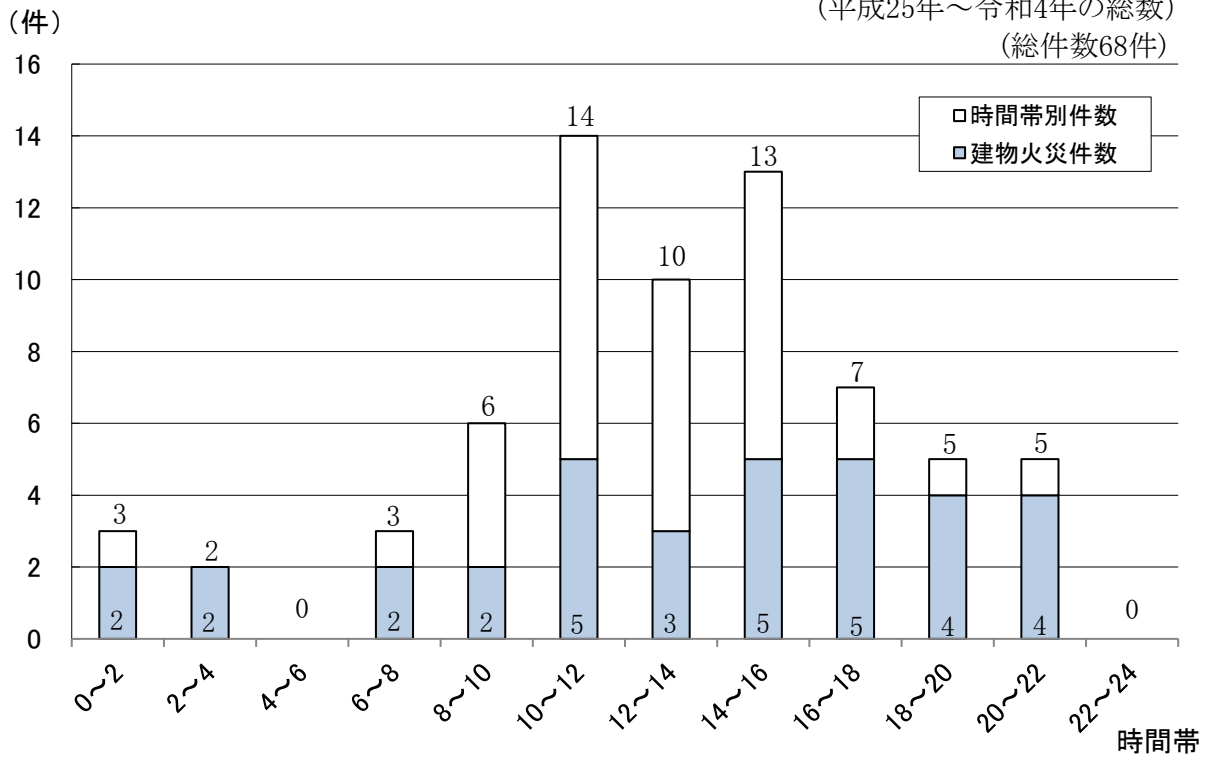
(総件数68件)



種別 年	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野
平成25年	2	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
平成26年	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
平成27年	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
平成28年	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-
平成29年	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
平成30年	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元年	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和2年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
令和3年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
計	4	2	5	-	4	4	3	1	5	2	1	1	3	-	1	2	1	-	1	-	2	-	4	-
車両	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
その他	1	-	1	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-
合計(68)	7	-	7	-	14	8	-	-	7	-	4	-	3	-	3	-	2	-	3	-	5	-	5	-

# 時間帯別火災発生状況

(平成25年～令和4年の総数)  
(総件数68件)



時間 種別 年	0時		2時		4時		6時		8時		10時		12時		14時		16時		18時		20時		22時	
	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野
平成25年	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
平成26年	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	2	1	-	-
平成27年	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
平成28年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-
平成29年	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
平成30年	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
令和元年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和2年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
令和3年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
計	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	5	3	3	2	5	5	5	1	4	-	4	1	-	-
車両	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	5	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-
合計(68)	3	-	2	-	-	-	3	-	6	-	14	-	10	-	13	-	7	-	5	-	5	-	-	-

# 地区別火災発生一覧表

(平成17年～令和4年の総数)

(総件数111件)

区分 地区	出火件数				焼損面積			焼損棟数	り災		死傷者		損害額 千円
	統計	建物	林野	他	床面積(m <sup>2</sup> )	表面積(m <sup>2</sup> )	林野(a)		世帯	人員	死者	傷者	
<b>久万地区</b>	<b>62</b>	<b>30</b>	<b>13</b>	<b>19</b>	<b>1,495</b>	<b>4,852</b>	<b>193</b>	<b>37</b>	<b>15</b>	<b>26</b>	<b>-</b>	<b>2</b>	<b>45,655</b>
東明神	6	2	-	4	50	194	13	2	-	-	-	-	954
西明神	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入野	6	4	-	2	244	-	8	4	3	3	-	1	4,661
久万	7	7	-	-	243	7	-	8	8	13	-	-	5,761
野尻	7	4	-	3	1	101	-	4	-	-	-	-	3,418
菅生	8	3	2	3	165	1,195	4	5	1	3	-	-	10,901
上畑野川	5	1	4	-	112	-	46	1	-	-	-	-	2,153
下畑野川	3	-	1	2	-	-	42	-	-	-	-	-	595
直瀬	10	3	3	4	192	3,313	6	4	-	-	-	1	884
父野川	1	-	1	-	-	-	68	-	-	-	-	-	252
露峰	4	2	1	1	164	-	-	2	1	4	-	-	7,127
二名	5	4	1	-	324	42	6	7	2	3	-	-	8,949
<b>面河地区</b>	<b>7</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>785</b>	<b>128</b>	<b>3</b>	<b>17</b>	<b>7</b>	<b>12</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>14,162</b>
相の木	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	803
笠方	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
前組	2	1	1	-	294	-	2	5	1	3	1	-	3,583
渋草大成	3	3	-	-	491	128	-	12	6	9	-	1	9,775
中組本組	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
若山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>美川地区</b>	<b>31</b>	<b>22</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>2,272</b>	<b>101</b>	<b>194</b>	<b>45</b>	<b>16</b>	<b>33</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>52,426</b>
有枝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大川	3	2	-	1	145	32	-	3	1	3	-	-	2,491
上黒岩	4	2	1	1	-	4	-	2	-	-	-	-	639
中黒岩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沢渡	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1,822
日野浦	7	6	1	-	843	11	8	15	4	6	1	1	19,836
仕出	2	1	-	1	30	17	-	2	-	-	-	-	652
七鳥	5	4	-	1	228	23	-	6	4	11	-	-	5,542
東川	6	5	-	1	532	14	-	11	5	10	-	2	13,259
黒藤川	3	2	1	-	494	-	186	6	2	3	-	-	8,185
<b>柳谷地区</b>	<b>11</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>1,290</b>	<b>100</b>	<b>10</b>	<b>28</b>	<b>8</b>	<b>14</b>	<b>-</b>	<b>3</b>	<b>26,366</b>
柳井川	5	4	1	-	387	59	4	9	3	5	-	3	6,291
西谷	4	4	-	-	783	41	6	14	4	7	-	-	12,845
中津	2	2	-	-	120	-	-	5	1	2	-	-	7,230
<b>久万高原町</b>	<b>111</b>	<b>66</b>	<b>19</b>	<b>26</b>	<b>5,842</b>	<b>5,181</b>	<b>400</b>	<b>127</b>	<b>46</b>	<b>85</b>	<b>2</b>	<b>9</b>	<b>138,609</b>



救 急 編

# 年別救急活動状況

## <救急出場件数>

事故別 年次	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他		
													医師	資器材	その他
平成21年	587	—	—	1	29	8	2	81	—	7	287	170	1	1	—
平成22年	617	—	—	1	31	7	5	99	1	3	273	196	—	—	1
平成23年	625	—	—	1	27	6	8	96	1	4	278	202	—	—	2
平成24年	610	—	—	1	26	4	6	86	—	9	282	193	—	—	3
平成25年	608	—	—	—	27	7	5	86	—	6	280	195	—	—	2
平成26年	607	—	—	—	44	8	3	101	—	8	247	194	—	—	2
平成27年	594	—	—	1	36	7	4	89	2	6	283	164	—	—	2
平成28年	585	—	—	—	33	2	4	82	—	4	294	165	—	—	1
平成29年	588	—	—	—	38	5	6	87	3	7	283	153	3	—	3
平成30年	587	—	—	—	32	7	—	91	—	4	301	143	—	—	9
令和元年	582	—	—	1	28	9	6	104	—	6	281	143	2	—	2
令和2年	544	1	—	—	35	5	1	82	—	5	252	161	—	—	2
令和3年	548	1	—	1	27	9	3	101	—	4	251	149	1	—	1
令和4年	590	—	—	2	34	12	2	103	—	6	266	162	—	—	3
合計	8,272	2	0	9	447	96	55	1,288	7	79	3,858	2,390	7	1	33

## <救急搬送人員>

事故別 年次	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他		
													医師	資器材	その他
平成21年	562	—	—	1	33	8	2	78	—	4	266	170	—	—	—
平成22年	608	—	—	1	33	6	6	95	1	2	266	196	—	—	2
平成23年	602	—	—	—	30	6	8	89	1	3	261	202	—	—	2
平成24年	593	—	—	1	29	4	6	85	—	5	267	193	—	—	3
平成25年	588	—	—	—	26	5	5	81	—	5	270	195	—	—	1
平成26年	584	—	—	—	44	9	3	97	—	6	228	195	—	—	2
平成27年	573	—	—	1	40	7	4	85	1	2	266	165	—	—	2
平成28年	560	—	—	—	34	2	4	77	—	3	276	164	—	—	—
平成29年	561	—	—	—	40	4	6	83	3	4	265	153	—	—	3
平成30年	553	—	—	—	32	7	—	87	—	2	281	143	—	—	1
令和元年	551	—	—	—	26	9	6	96	—	2	267	143	—	—	2
令和2年	519	1	—	—	33	5	1	78	—	2	236	161	—	—	2
令和3年	519	1	—	1	28	7	3	91	—	1	237	149	—	—	1
令和4年	564	—	—	1	36	11	2	98	—	3	249	161	—	—	3
合計	7,937	2	0	6	464	90	56	1,220	6	44	3,635	2,390	0	0	24



# 月別救急活動状況

月別 項目		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		出場件数	590	45	50	42	50	42	47	41	65	49	59	44	56
搬送人員	564	44	50	41	46	38	45	40	64	48	55	43	50		
火災	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自然災害	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
水難	件数	2	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	
	人員	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
交通事故	件数	34	—	1	1	6	2	3	2	8	3	6	2	—	
	人員	36	—	2	1	6	1	3	2	9	3	7	2	—	
労働災害	件数	12	—	—	—	1	—	1	—	—	2	1	5	2	
	人員	11	—	—	—	—	—	1	—	—	2	1	5	2	
運動競技	件数	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	
	人員	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	
一般負傷	件数	103	8	11	6	9	8	4	10	12	7	14	5	9	
	人員	98	9	11	6	9	8	3	10	12	7	11	5	7	
加害	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自損行為	件数	6	—	—	—	1	2	1	—	—	1	—	1	—	
	人員	3	—	—	—	—	1	1	—	—	1	—	—	—	
急病	件数	266	25	19	24	24	19	23	14	26	19	25	17	31	
	人員	249	24	18	23	22	17	22	13	25	18	23	17	27	
その他	転院	件数	162	12	19	10	9	11	14	13	17	17	13	13	14
		人員	161	11	19	10	9	11	14	13	17	17	13	13	14
	医師	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	資器材	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	件数	3	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—
		人員	3	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—

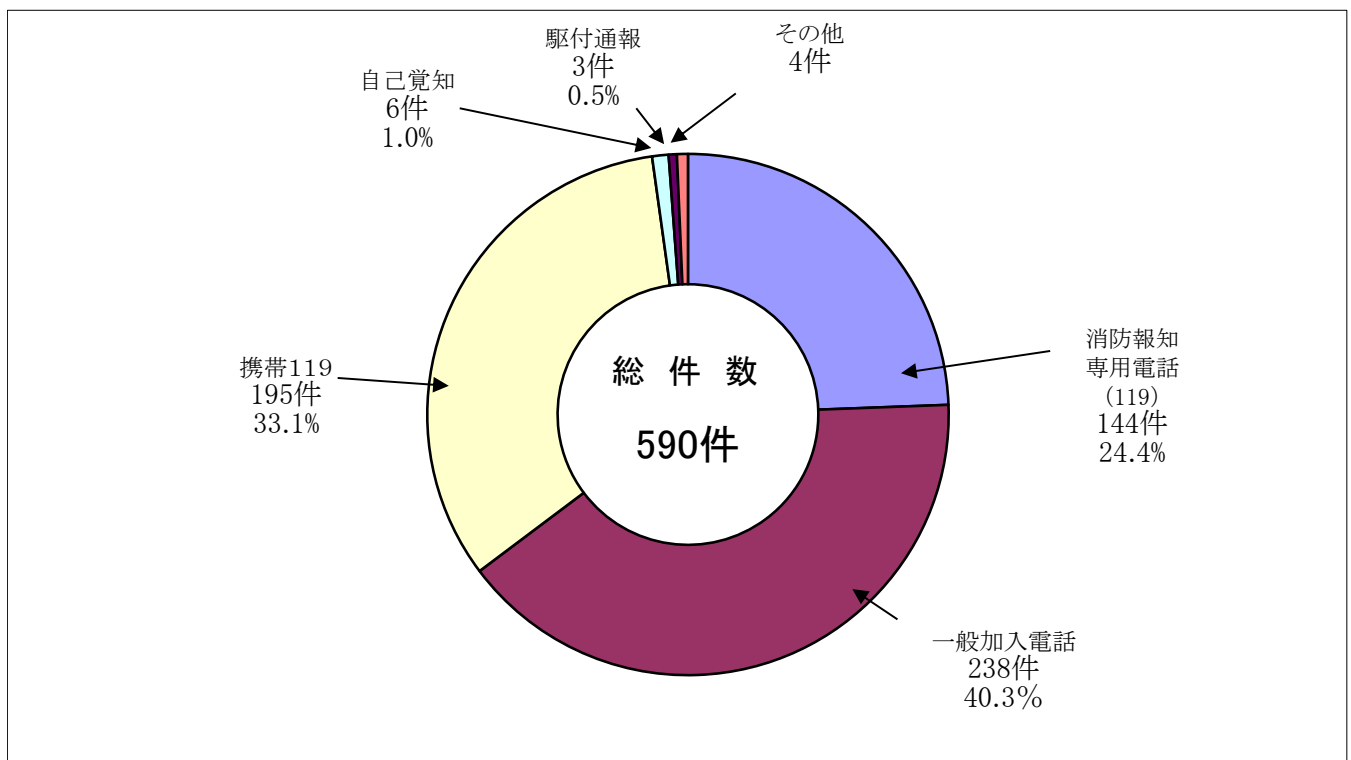
## 署・地区別救急活動状況

事故種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院	医師	資器材	その他
休日	426	—	—	2	14	10	1	67	—	4	199	128	—	—	1
休日以外	164	—	—	—	20	2	1	36	—	2	67	34	—	—	2
消防署(本署)	382	—	—	—	15	5	2	68	—	3	164	124	—	—	1
美川支署	208	—	—	2	19	7	—	35	—	3	102	38	—	—	2
出場件数	590	—	—	2	34	12	2	103	—	6	266	162	—	—	3
搬送人員	564	—	—	1	36	11	2	98	—	3	249	161	—	—	3

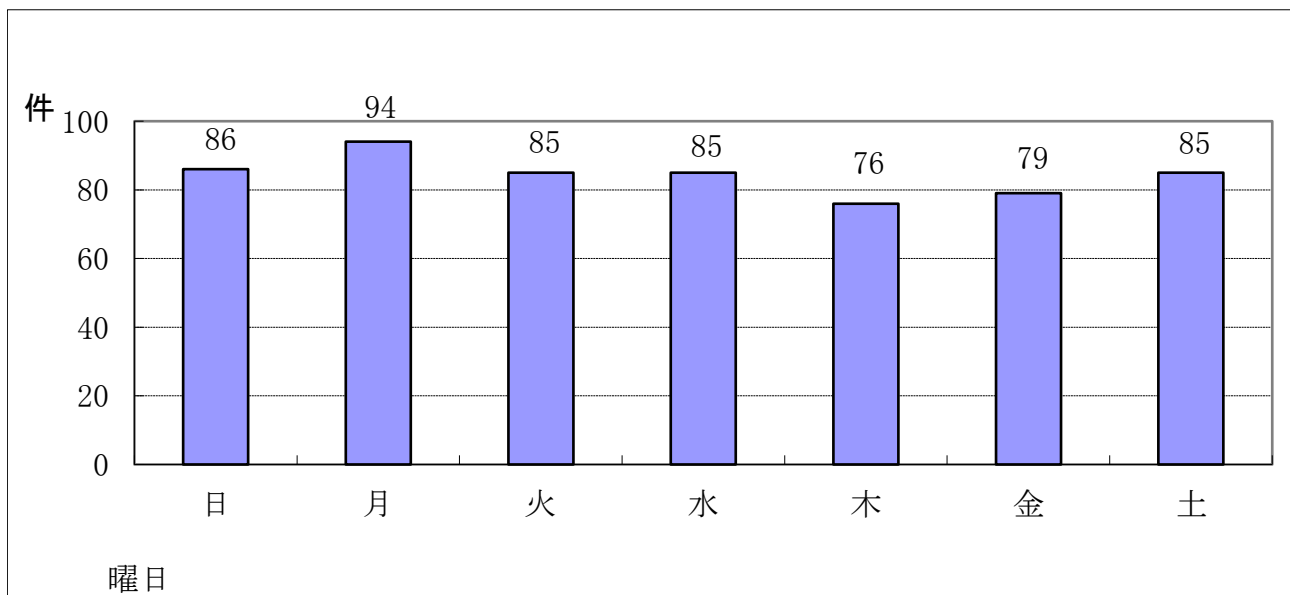
区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院	医師	資器材	その他	
久万高原町	久万地区	407	—	—	—	16	7	2	70	—	3	162	147	—	—	—
	面河地区	30	—	—	—	2	2	—	7	—	1	15	3	—	—	—
	美川地区	97	—	—	2	10	1	—	10	—	2	60	12	—	—	—
	柳谷地区	51	—	—	—	6	2	—	14	—	—	26	—	—	—	3
町外	5	—	—	—	—	—	—	2	—	—	3	—	—	—	—	

## 覚知方法別状況



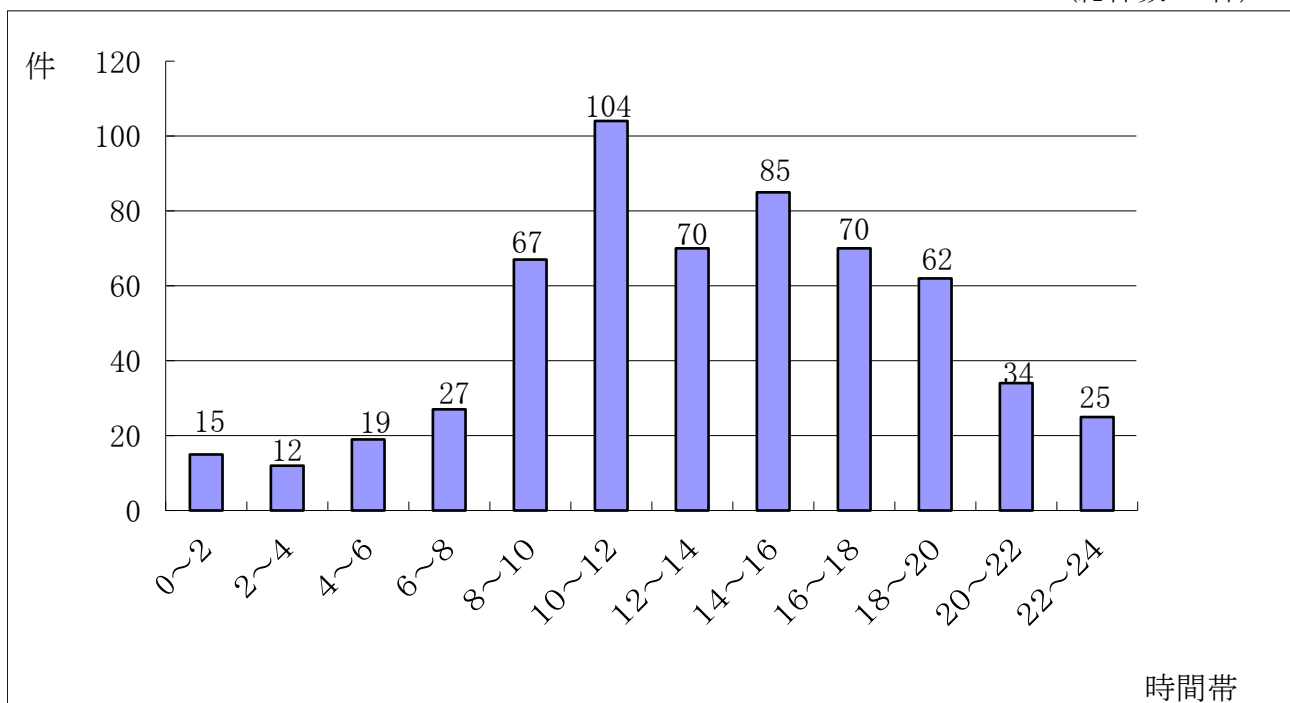
## 曜日別発生件数状況

(総件数590件)



## 時間帯別発生件数状況

(総件数590件)



## 居住区別搬送人員の対人口比

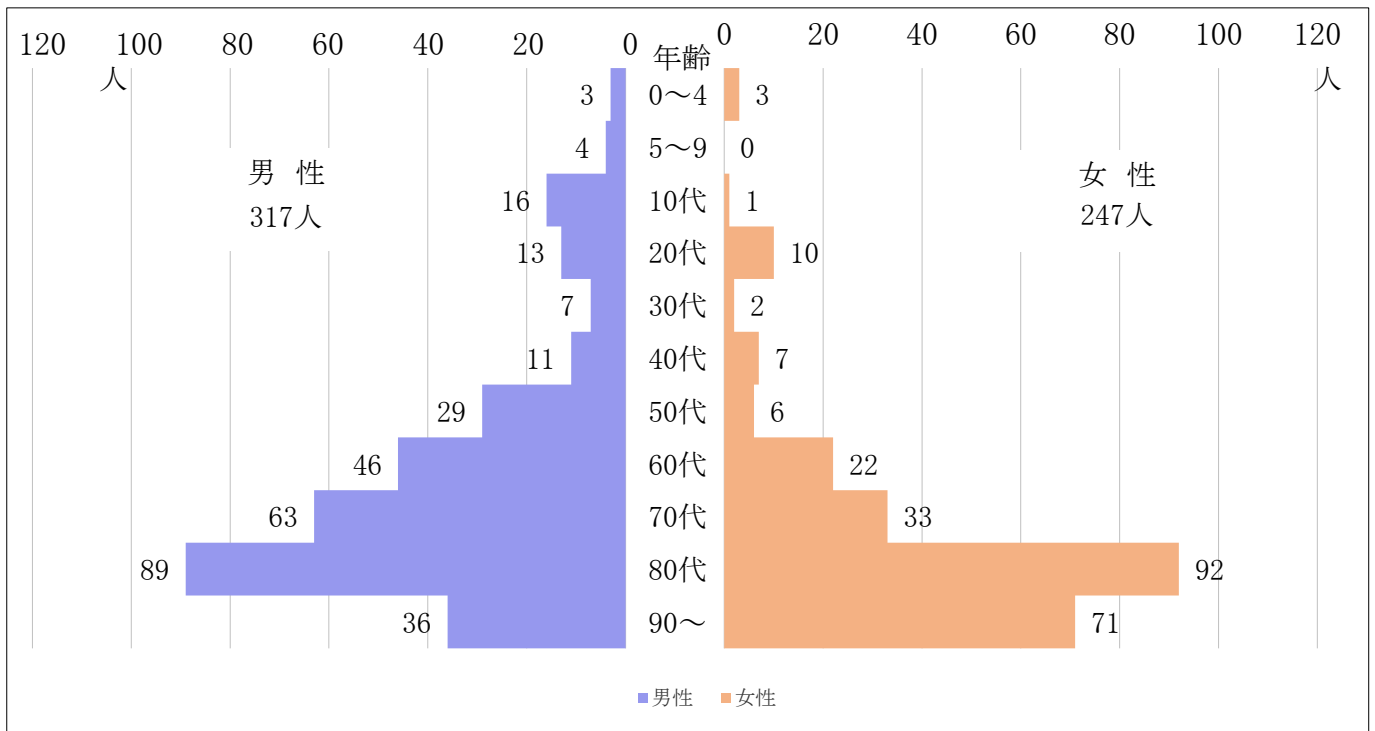
※ 地区別人口は令和4年12月31日現在

項目	久万高原町				町外	合計
	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区		
居住別搬送人員	298	27	101	46	92	564
人口	5,229	449	1,168	574	—	7,420
対人口比	18人に1人	17人に1人	12人に1人	12人に1人	—	13人に1人

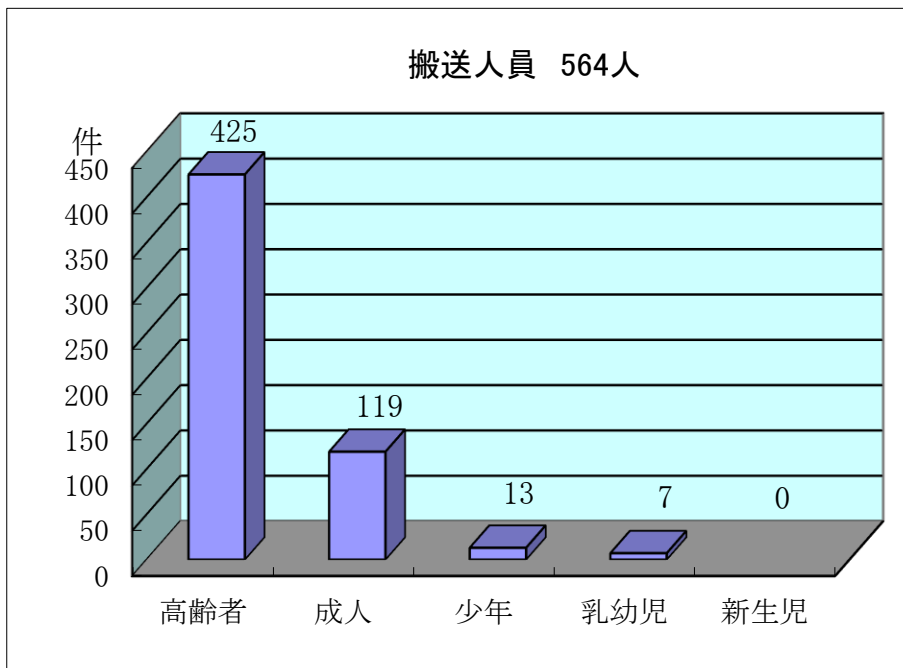
※久万高原町居住者搬送(472人)を、人口割すると16人に1人の搬送となる。

# 年齢性別区分搬送人員状況

<その1>



<その2>



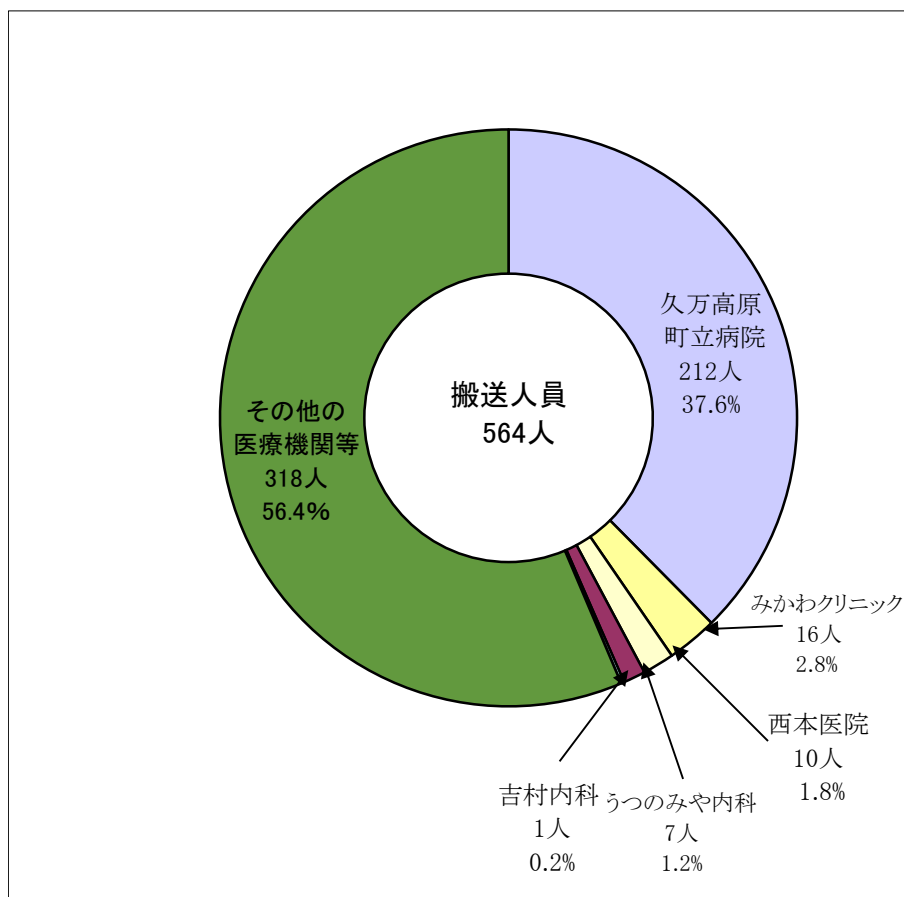
新生児	生後28日未満
乳幼児	生後28日~7歳未満
少年	7歳~18歳未満
成人	18歳~65歳未満
高齢者	65歳以上

年齢区分

# 医療機関別収容人員の状況

管内医療機関	医療機関名		開設	人員	内転院	
	告示	久万高原町立病院		公立	212	3
社団昇和会西本医院		私的	10			
非告示	みかわクリニック		私的	16	1	
	うつのみや内科		私的	7		
	吉村医院		私的	1		
合計				246	4	
管外医療機関	救急告示	国立病院機構愛媛医療センター		国立	29	7
		愛媛大学医学部附属病院		国立	1	
		愛媛県立中央病院		公立	44	34
		松山赤十字病院		公的	44	27
		済生会松山病院		公的	30	17
		椿原町立国民健康保険椿原病院		公的	2	
		松山市民病院		私的	27	13
		南松山病院		私的	19	8
		野本記念病院		私的	19	5
		平成脳神経外科病院		私的	17	9
		梶浦病院		私的	13	5
		愛媛生協病院		私的	12	5
		奥島病院		私的	12	5
		笠置記念病院		私的	6	4
		松山城東病院		私的	3	1
		渡辺病院		私的	2	1
		松山まどんな病院		私的	1	
		合計				281
	非告示	救命救急センター		公立	11	7
その他県内		私的	6	4		
合計				17	11	
特殊	ドクターヘリ(県外ドクターヘリ含む)			18	5	
	他消防機関(消防防災ヘリ)へ中継			2		
	久万高原警察署・その他					
総計				564	161	

## 収容機関別状況



※ その他の医療機関等への搬送人員318人中161人は転院搬送によるもの。

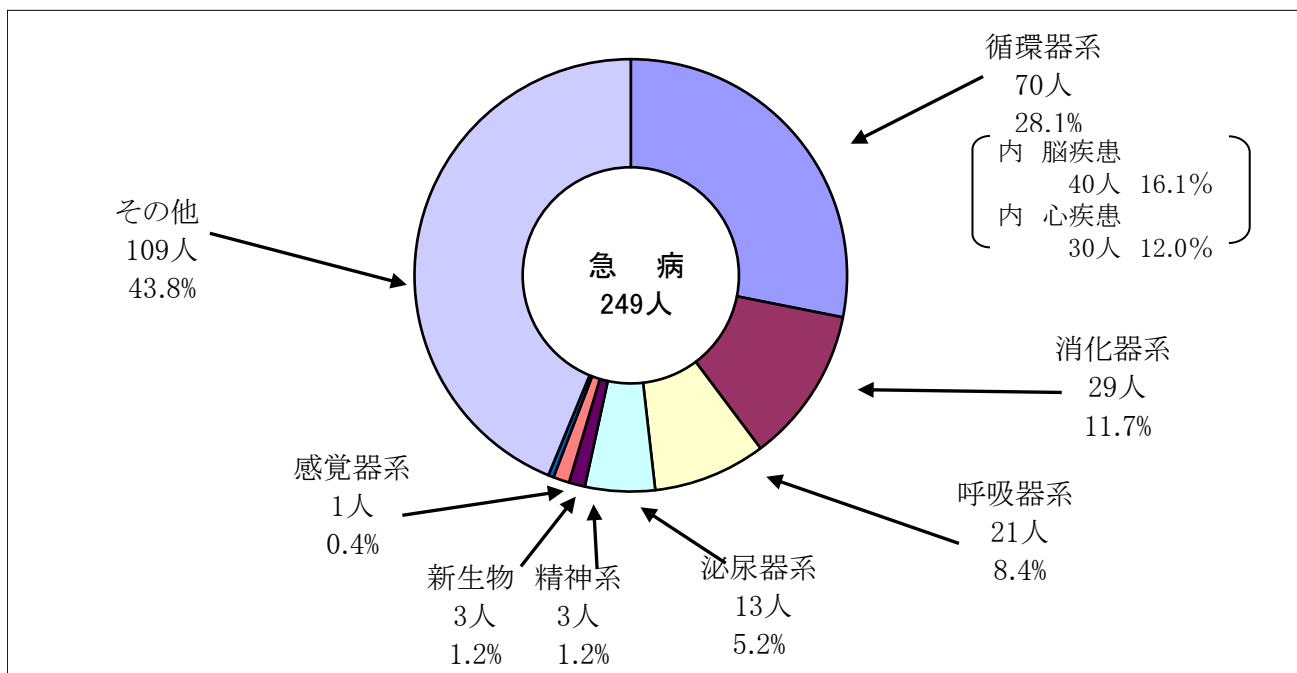
## 事故種別・傷病程度

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	割合
	死亡	—	—	1	2	—	—	1	—	2	19	1	<b>26</b>
重症	—	—	—	2	3	1	10	—	—	34	29	<b>79</b>	<b>14.0%</b>
中等症	—	—	—	7	5	1	36	—	1	114	112	<b>276</b>	<b>49.0%</b>
軽症	—	—	—	25	3	—	51	—	—	82	22	<b>183</b>	<b>32.4%</b>
計	—	—	<b>1</b>	<b>36</b>	<b>11</b>	<b>2</b>	<b>98</b>	—	<b>3</b>	<b>249</b>	<b>164</b>	<b>564</b>	<b>100.0%</b>

# 急病疾患別内訳

(急病搬送人員 249人)

疾患別	循環器系		消化器系	呼吸器系	泌尿器系	精神系	新生物	感覚器系	その他
	脳疾患	心疾患							
	40	30							



# 事故種別・理由別不搬送

事故種別 不搬送理由	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院	医師	資器材	その他
緊急性なし	11	—	—	—	2	—	—	2	—	—	6	1	—	—	—
傷病者なし	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
拒否	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
酩酊	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
死亡	14	—	—	1	—	—	—	1	—	3	9	—	—	—	—
現場処置	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
誤報・いたづら	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	4	—	—	—	—	1	—	2	—	—	1	—	—	—	—
計	31	—	—	—	2	1	—	6	—	3	17	1	—	—	—

# 緊急電話受信時における口頭指導内容

(全指導回数48回,50件)

口頭指導内容	件数	口頭指導内容	件数
胸骨圧迫・人工呼吸などに関するもの	20	AEDの準備などに関するもの	1
止血・被覆などに関するもの	22	その他(異物除去、保温、体位管理)	7

\* 指導回数には複数項目の場合が存在するため回数と件数は一致しない

## 応急処置及び拡大処置件数

事故種別	応急処置 対象人員	止血	固定	被覆	保温	人工呼吸	胸骨圧迫	心肺蘇生法	うち自動心マ使用	酸素吸入	気道確保				
											用手含む総数	うちA	うちB	うちC	うちD
急病	249	1	1	—	71	8	8	14	2	67	16	2	—	6	—
交通	36	—	14	1	4	1	2	2	—	4	2	—	—	—	—
一般負傷	98	14	15	21	18	1	1	1	—	9	1	—	—	—	—
その他	181	—	15	4	37	—	2	2	—	49	4	—	—	1	—
計	564	15	45	26	130	10	13	19	2	129	23	2	0	7	0

事故種別	応急処置	在宅療法	ショックパンツ	血圧測定	心音・呼吸音聴診	血中酸素飽和度	心電図	除細動	静脈路確保	心肺機能停止前	静脈路確保	薬剤投与	アドレナリン	薬剤投与	ブドウ糖	血糖測定	その他	合計	拡大された応急処置と特定行為	うち特定行為
交通	—	—	30	3	30	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	132	70	—	
一般負傷	—	—	93	2	92	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	96	378	201	—	
その他	—	—	176	8	176	64	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180	718	425	1	
計	1	0	527	29	528	215	1	0	2	0	0	0	0	0	550	2,274	1,314	8		

※      については、拡大された処置

※ 気道確保 A 経鼻エアウェイ使用

※      については、特定行為

B 喉頭鏡・鉗子を使用した異物除去

C ラリングアルマスク等使用

D 気管挿管



## 現場到着所要時間

	3分未満	3分～5分未満	5分～10分未満	10分～20分未満	20分以上	計	現場到着平均所要時間
急病	1	15	94	93	60	263	12.4
交通	-	-	11	15	8	34	14.2
一般負傷	-	5	40	33	25	103	14.7
その他	-	-	7	10	8	25	11.9
計	1	20	152	151	101	425	13.1
転院	8	28	103	18	4	161	6.1
総計	9	48	255	169	105	586	12.2

※出場途上辞退4件を除く

## 医療機関収容所要時間状況

	10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分～60分未満	60分～120分未満	120分以上	計	収容平均所要時間
急病	-	13	50	92	88	6	249	54.0
交通	-	1	3	12	20	-	36	53.0
一般負傷	-	5	14	27	46	6	98	60.8
その他	-	-	5	6	9	-	20	60.5
計	0	19	72	137	163	12	403	55.9
転院	-	5	1	126	29	0	161	52.8
総計	0	24	73	263	192	12	564	55.0

## 平均出場時間

	令和4年	令和3年
総出場件数	590	548
総出場時間	1083時間13分	923時間56分
全平均時間	1時間50分	1時間41分

## ドクターヘリ及びドクターカーとの連携活動状況

### <ドクターヘリの運航状況一覧表>

年次	件数 (No)	種別	傷病名または要因	程度	収容医療機関
平成21年	1	一般	出血性ショック	重症	救命救急センター
平成22年	1	一般	多発外傷	その他	救命救急センター
	2	急病	狭心症疑い	軽症	救命救急センター
	3	一般	左下腿開放骨折	重症	救命救急センター
	4	急病	AMI	その他	救命救急センター
	5	労災	頭部外傷	中等症	救命救急センター
平成23年	1	交通	自転車での転倒	重症	救命救急センター
	2	労災	木材運搬車の下敷	その他	高知医療センター
平成25年	1	交通	高エネルギー外傷	重症	救命救急センター
平成27年	1	一般	左下腿挫減創	重症	救命救急センター
	2	労災	多発外傷	中等症	救命救急センター
	3	交通	右前腕・踵骨骨折	重症	救命救急センター
	4	交通	CPA	死亡	救命救急センター
令和3年	1	転院	急性冠症候群	重症	救命救急センター

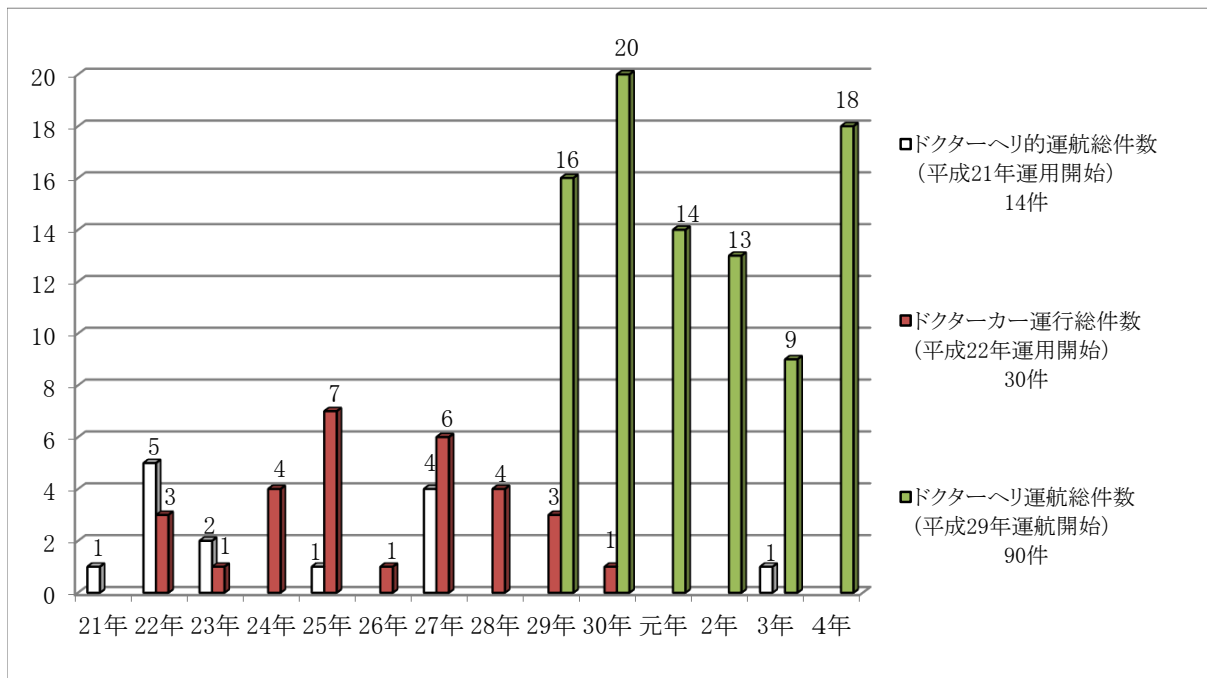
### <ドクターカー運行状況一覧表>

年次	件数 (No)	種別	傷病名	程度	収容医療機関
平成22年	1	労災	急性硬膜外血腫	重症	救命救急センター
	2	一般	右大腿切創	中等症	救命救急センター
	3	一般	左前腕開放骨折	重症	救命救急センター
平成23年	1	一般	頸髄損傷	重症	救命救急センター
平成24年	1	交通	仙骨開放骨折	重症	救命救急センター
	2	労災	脳挫傷・外傷性SAH	重症	救命救急センター
	3	転院	痙攣重積	中等症	救命救急センター
	4	急病	ACS・CPA蘇生後	重症	救命救急センター
平成25年	1	一般	右脛骨・左大腿骨骨折	重症	救命救急センター
	2	交通	左膝蓋骨開放骨折	重症	救命救急センター
	3	交通	顔面複雑骨折	重篤	救命救急センター
	4	転院	骨盤骨折	重症	救命救急センター
	5	転院	くも膜下出血	重篤	救命救急センター
	6	転院	頸髄損傷	重篤	救命救急センター
	7	交通	左視床出血・全身打撲	重症	高知消防防災ヘリ
平成26年	1	交通	熱傷	重症	救命救急センター
平成27年	1	急病	急性心不全	重症	救命救急センター
	2	一般	胸髄損傷	重症	救命救急センター
	3	交通	多発骨折	重症	救命救急センター
	4	一般	熱傷	軽症	救命救急センター
	5	交通	腹腔内出血	重症	救命救急センター
	6	労災	脊髄損傷疑い	軽症	救命救急センター
平成28年	1	急病	てんかん重積状態	重症	救命救急センター
	2	一般	圧挫傷	中等症	救命救急センター
	3	交通	多発性外傷	重症	救命救急センター
	4	交通	多発性外傷	中等症	救命救急センター
平成29年	1	転院	急性呼吸不全	重症	救命救急センター
	2	急病	急性冠症候群	中等症	救命救急センター
	3	急病	急性心不全	重症	救命救急センター
平成30年	1	急病	急性冠症候群	重症	救命救急センター

※令和元年～4年については、ドクターカー要請0件。

<ドクターヘリ運航状況一覧表>

年次	件数 (No)	種別	傷病名	程度	収容医療機関
令和 4年	1	一般負傷	多発性外傷	重症	救命救急センター
	2	転院搬送	胸椎破裂骨折	中等症	救命救急センター
	3	急病	脳卒中疑い	中等症	松山赤十字病院
	4	急病	脳出血	重症	救命救急センター
	5	一般負傷	頸椎損傷	中等症	救命救急センター
	6	交通事故	左大腿骨頸部骨折	中等症	奥島病院
	7	転院搬送	不安定狭心症	中等症	救命救急センター
	8	急病	うっ血性心不全	重症	松山赤十字病院
	9	急病	左前頭葉皮質下出血	中等症	愛媛大学医学部附属病院
	10	転院搬送	多発肋骨骨折 肺挫傷血胸 骨盤骨折	重症	救命救急センター
	11	転院搬送	誤嚥性肺炎	重症	救命救急センター
	12	交通事故	大腿骨頭骨折	中等症	救命救急センター
	13	交通事故	左肩骨折	中等症	高知医療センター
	14	労働災害	多発外傷	中等症	救命救急センター
	15	急病	うっ血性心不全	重症	救命救急センター
	16	転院搬送	急性硬膜下血腫	中等症	救命救急センター
	17	労働災害	腰椎破裂骨折	重症	救命救急センター
	18	労働災害	右脛腓骨骨折	中等症	愛媛県立中央病院





救 助 編

## 救助出動及び活動状況

区分	事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他					合計	
										高所転落	搬送応援	ヘリ支援	捜索活動	山岳事故		その他
出動件数		1	8	3	-	1	1	-	-	-	12	18	8	6	1	59
活動件数		1	7	3	-	1	1	-	-	-	10	17	8	5	1	54
救助人員		-	8	3	-	1	1	-	-	-	10	17	2	5	1	48
活動人員	救助隊員	6	7	4	-	1	3	-	-	-	11	34	14	7	3	90
	消防隊員	15	9	12	-	3	3	-	-	-	9	31	9	8	4	103
	救急隊員	-	27	6	-	3	3	-	-	-	34	64	11	9	3	160
	消防団員	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	54
	計(人)	60	43	22	-	7	9	-	-	-	54	129	34	39	10	407
活動車両等	救助工作車	1	7	1	-	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-	13
	消防ポンプ車	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	救急車	-	12	3	-	1	1	-	-	-	12	17	4	4	1	55
	その他の車両	3	1	6	-	-	1	-	-	-	11	4	6	3	2	37
	防災ヘリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3
計(台)	6	21	10	-	2	3	-	-	-	24	24	10	8	3	111	

(注) 山岳事故については、応援協定に基づく西条消防等の協力を受けての活動件数を含む。

## 年間の主な訓練と行事

実施月日	訓練及び実施行事	訓練結果・行事内容
9月9日	愛媛県消防防災航空隊合同訓練	1.機体誘導訓練・警戒要領・無線交信 2.ホイストによる隊員投入回収訓練 3.低空ホバによる隊員投入回収訓練 4.消火バケットへの給水訓練
12月2日	スキー場リフト救出訓練	1.リフト停止時の乗客救出訓練 2.スキー場職員との連携救出想定訓練

## 救助関係資器材の保有状況

	名称	数量		名称	数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	2	隊員保護用器具	耐電手袋	2
	三連はしご	3		耐電衣	2
	空気式救助マット	1		耐電ズボン	2
	救命索発射銃	1		耐電長靴	2
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	3		防塵メガネ	6
	エバックハーネス	1		防毒マスク	5
	平担架	2		防塵マスク	10
	ガス測定器	3		化学防護服	10
	送排風機	1		肘プロテクター	11
	簡易画像探索機	1		膝プロテクター	11
	熱画像赤外線カメラ	1		空気呼吸器	13
			酸素呼吸器	4	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2	搬送用資機材	バスケット型担架	3
	油圧スプレッダー	3		減圧担架	1
	可搬ウインチ	2		キャリングシート	1
	マット型空気ジャッキ	5		キャリングラック	1
	大型油圧スプレッダー	2		サーモソフト ストレッチャー	1
	チェーンブロック	1		バーティカル ストレッチャー	1
切断用器具	油圧切断機	2	その他	緩降機	1
	エンジンカッター	2		救命胴衣	10
	チェーンソー	3		救命ボート	1
	ガス溶断機	1		救命浮環	6
	鉄線カッター	1		流水救助器材	2
	空気切断機	1		エアテント	1
	大型油圧切断機	2		懸垂降下器	10
	空気鋸	1		登はん器具	4
破壊器具	万能斧	4	ハーネス	13	
	ハンマー	2	携帯GPS	3	
	削岩機	1			
	ハンマドリル	2			

# ヘリコプター離着陸場一覧

久万地区						
1	A	上野尻	笛ヶ滝公園ラグビー場	久万高原町	教育委員会	芝生
2	B (準)	上畑野川	畑野川小学校	久万高原町	教育委員会	真砂十転圧
3	B (準)	下畑野川	千本高原グラウンド	久万高原町	ふるさと創生課	真砂十転圧
4	A	菅生	久万公園グラウンド	久万高原町	教育委員会	真砂十転圧
5	A	菅生	久万高原ラグビー場	久万高原町	教育委員会	真砂十転圧
6	C	菅生	槇谷分校跡	久万高原町	総務課	人工芝
7	B (準)	直瀬	直瀬小学校	久万高原町	教育委員会	真砂十転圧
8	B (準)	東明神	明神小学校	久万高原町	教育委員会	真砂十転圧
9	B (適)	露峰	父二峰小学校	久万高原町	教育委員会	アスファルト
10	B (適)	下野尻	久万高原消防ヘリポート	久万高原町	消防本部	アスファルト
美川地区						
11	A	上黒岩	美川中学校	久万高原町	教育委員会	真砂十転圧
12	A	日野浦	美川スキー場駐車場	久万高原町	ふるさと創生課	アスファルト
13	B (準)	東川	仕七川小学校	久万高原町	教育委員会	真砂十転圧
14	B (準)	東川	山村広場	久万高原町	教育委員会	真砂十転圧
15	B (適)	日野浦	日野浦ヘリポート	久万高原町	教育委員会	アスファルト
16	B (適)	黒藤川	二箇ヘリポート	久万高原町	教育委員会	アスファルト
17	B (適)	黒藤川	黒藤川ヘリポート	久万高原町	教育委員会	アスファルト
面河地区						
18	C	大成	大成神社	久万高原町	総務課	砂利転圧
19	A	笠方	面河ダム	久万高原町	ふるさと創生課	真砂十転圧
20	B (準)	渋草	面河小学校	久万高原町	教育委員会	真砂十転圧
21	B (適)	中組	面河ヘリポート	久万高原町	教育委員会	アスファルト
22	B (適)	相ノ峰	相ノ峰ヘリポート	久万高原町	総務課	アスファルト
柳谷地区						
23	A	柳井川	柳谷小学校	久万高原町	教育委員会	真砂十転圧
24	B (適)	西谷	姫鶴運動場	姫鶴荘		真砂十転圧
25	B (準)	西谷	四国電力ヘリポート	四国電力(愛媛支店技術部面河水力センター)		アスファルト
26	B (適)	西谷	中久保ヘリポート	久万高原町	総務課	アスファルト
27	B (適)	西谷	川成ヘリポート	久万高原町	総務課	アスファルト
28	B (適)	中津	休場ヘリポート	久万高原町	総務課	アスファルト
石鎚山関係						
29	B (適)	石鎚山系	石鎚山土小屋第2駐車場	愛媛県自然保護課		アスファルト
30	B (準)	石鎚山系	石鎚スカイライン中間展望台	中予地方局 久万土木事務所		砂利転圧

## A: 地域拠点飛行場外離着陸場

航空法第79条ただし書きに基づき、国土交通大臣の許可を常時得た場外離着陸場で、平時の訓練及び緊急患者搬送や災害時などに即応して、直ちに使用できる状態を確保している場外離着陸場。

※一部、離着陸に際し散水の必要有り。

## B: 緊急時離着陸場

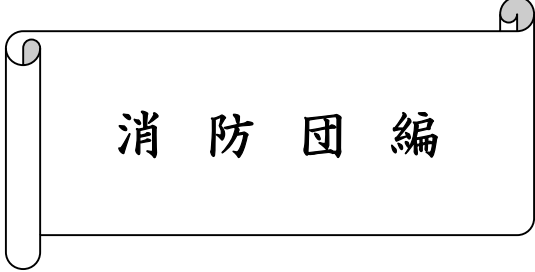
事故若しくは災害発生時等緊急時に使用する離着陸場。

(適): 離着陸に関し散水の必要が無い場所

(準): 離着陸に関し散水が必要な場所

## C: 孤立地区対策緊急時離着陸場

町が孤立地区対策として指定する離着陸場で、事故若しくは災害発生時等、緊急時に離着陸し、またはホイストにより吊り上げを行う緊急時の離着陸場。



消防団編



## 消防団の沿革

平成 16 年 8 月 1 日、久万町、面河村、美川村、柳谷村の 4 町村が合併し、久万高原町が誕生しました。これに伴い、消防団も合併し、条例定数 717 名（平成 16 年 8 月 1 日実員 683 名）17 分団 31 部とし、旧町村の消防機材（消防ポンプ車 2 台、消防ポンプ積載車 47 台、小型動力ポンプ 71 台）を引継ぎ、久万高原町消防団が発足しました。

合併初年度である平成 16 年度事業として、団員の士気の向上を図ることを目的に、活動服の統一を実施するとともに、更なる消防力の強化を目的として、耐用年数を大幅に経過した積載車 2 台（久万・美川各 1 台）を更新整備しました。

また、石油貯蔵施設立地対策等交付金事業及び電源立地地域対策交付金事業等を活用し、積載車等資機材を年次計画により更新しております。

町村合併から 10 年以上が経過し、令和 5 年 3 月 31 日現在、町の総人口は 7,329 人、高齢化率は県内で最も高い 49.7% に達しており、地域防災の要である消防団への負託は年々大きくなっております。しかしながら、労働人口の町外流出、住民の高齢化は消防団にとっても深刻な問題であり、地域によっては団員確保が困難な状況となっております。

そのため、分団の配置、出動態勢の見直し等、消防団の組織再編を検討し、令和 4 年 4 月 1 日、機構改革による再編成を行い、条例定数 600 名、10 分団 31 部としました。

平成 16 年	8 月	1 日	町村合併により久万高原町消防団となる
平成 17 年	2 月	21 日	久万第 3 分団第 4 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） 美川第 1 分団第 3 部積載車更新（日本損害保険協会寄贈）
	3 月	6 日	愛媛県消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
	4 月	1 日	機構改革により 12 分団 36 部に再編成
	10 月	20 日	第 17 回全国女性消防操法大会出場（美川方面隊古味女性消防隊）
	11 月	25 日	久万第 2 分団第 2 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 18 年	4 月	1 日	女性消防団員 21 名となる
	7 月	23 日	第 1 回久万高原町消防操法大会
平成 19 年	2 月	19 日	日本消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
		27 日	久万第 4 分団第 2 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	10 月	22 日	久万第 3 分団第 1 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11 月	7 日	携帯用投光器 197 個配備（消防基金安全装備品助成事業）
	11 月	7 日	投光器一式 8 基配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成 20 年	3 月	7 日	消防庁長官表彰（表彰旗）を受章
	4 月	1 日	消防団幹部（副分団長以上）3 年任期により役員改選
	6 月	29 日	第 2 回久万高原町消防操法大会
	12 月	6 日	携帯用投光器 270 個配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成 21 年	2 月	20 日	久万第 4 分団第 3 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		20 日	美川第 2 分団第 4 部積載車更新（電源立地地域対策交付金事業）
	7 月	11 日	小型動力ポンプ更新整備事業 6 台（地域活性化・生活対策臨時交付金事業）
	10 月	9 日	久万第 3 分団第 3 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11 月	24 日	消防団管理積載車に搭載していない可搬ポンプ 22 台を地域移管

平成 22 年	12 月	20 日	携帯用投光器 250 個配備 (消防基金安全装備品助成事業)
	3 月	2 日	美川第 2 分団第 2 部小型動力ポンプ付き積載車更新 (電源立地地域対策交付金事業)
		29 日	久万第 2 分団第 1 部ポンプ自動車更新 (電源立地地域対策交付金事業)
	4 月	31 日	消防団車庫 50 施設中 13 施設修繕工事実施 (町単独事業)
30 日		消防団車庫 50 施設中 8 施設新築工事実施 (地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業)	
平成 23 年	6 月	20 日	第 3 回久万高原町消防操法大会
	11 月	12 日	ケブラー手袋 230 双配備 (消防基金安全装備品助成事業)
		29 日	久万第 1 分団第 2 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	1 月	21 日	柳谷第 1 分団第 1 部多機能型車両受領 (日本消防協会)
	2 月	23 日	面河第 1 分団第 2 部及び第 3 部並びに美川第 1 分団第 2 部及び 第 3 分団第 3 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (電源立地地域対策交付金事業)
平成 24 年	3 月	30 日	久万高原町消防団本部拠点施設新築工事竣工 (地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業)
	4 月	1 日	消防団幹部 (副分団長以上) 3 年任期により役員改選
		15 日	久万第 2 分団第 2 部詰所車庫改築工事竣工 (地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業)
	2 月	6 日	ケブラー手袋 230 双配備 (消防基金安全装備品助成事業)
平成 25 年	3 月	16 日	久万第 3 分団第 2 部積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	6 月	24 日	第 4 回久万高原町消防操法大会
	6 月	28 日	バルーン式投光器 5 台配備 (消防団安全対策設備整備費補助事業)
	9 月	28 日	テント 3 張, パイプイス 30 台配備 (コミュニティ助成事業)
	11 月	29 日	ケブラー手袋 257 双配備 (消防基金安全装備品助成事業)
	12 月	21 日	久万第 2 分団第 3 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	1 月	18 日	雨衣 401 着配備 (町単独事業)
	2 月	26 日	日本消防協会会長表彰 (竿頭綬) を受章
平成 26 年	4 月	1 日	女性消防団員 23 名となる
	7 月	1 日	女性消防団員 25 名となる
	10 月	29 日	雨衣 323 着配備 (町単独事業)
		31 日	久万第 4 分団第 1 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	11 月	25 日	消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会参加
平成 26 年	3 月	26 日	及び東日本大震災被災地復興視察
		2 日	愛媛県消防協会会長表彰 (竿頭綬) を受章
	21 日	面河第 1 分団第 1 部多機能型車両及び拠点資機材等受領 (総務省消防庁)	
	4 月	1 日	消防団幹部 (副分団長以上) 3 年任期により役員改選 女性消防団員 26 名となる
	4 月	16 日	土居団長, 愛媛県消防協会会長へ就任
	5 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	5 月	11 日	土居団長, 日本消防協会監事及び全日本消防人共済会総代へ就任
6 月	22 日	第 5 回久万高原町消防操法大会	

	6月	12日	救助用半長靴 700 足配備（消防基金安全装備品助成事業）
	2月	1日	全方面隊合同訓練（ふるさと旅行村）
平成 27 年	11月	1日	女性消防団員 25 名となる
	2月	13日	広島市土砂災害視察（幹部研修）（～14 日）
	5月	11日	新任団員研修会
	6月		消防団組織再編に向けた方面隊現状確認
	10月		〃
	12月		〃
平成 28 年	1月	1日	女性消防団員 24 名となる
	5月	17日	土居団長，愛媛県消防協会長を留任
	6月	17日	土居団長，日本消防協会理事へ就任
		19日	第 6 回久万高原町消防操法大会
	8月	24日	全国救助技術大会視察（幹部研修）
	11月	29日	団本部防災活動車（三菱デリカ）を受領（日本消防協会）
平成 29 年	3月	7日	日本消防協会特別表彰「まとい」を受章
	4月	1日	女性消防団員 23 名となる
	5月	10日	面河地区前組の火災出動範囲を変更（久万 3-1, 3-2 を加える）
		27日	特別表彰「まとい」受章祝賀会を開催
	6月	1日	役場本庁職員 15 人体制で団本部消防隊を結成
	11月	30日	面河第 2 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 30 年	3月	7日	消防団 125 年・自治体消防 70 周年記念大会参加
	5月	18日	土居団長，愛媛県消防協会長を留任
	6月	1日	女性消防団員 26 名となる
		15日	土居団長，日本消防協会副会長へ就任
		17日	第 7 回久万高原町消防操法大会
	7月	1日	女性消防団員 25 名となる
	8月	28日	救助用半長靴兼防火用長靴を面河方面隊に配備（コミュニティ助成事業） ヘルメット更新配備 665 個（町単独事業）
	10月	17日	活動服更新配備 700 着（町単独事業）
		23日	アポロキャップ配備 700 個（町単独事業）
	12月	13日	防火衣（48 着）・防火帽（48 個）更新配備 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 31 年	3月	5日	日本消防協会会長表彰（竿頭綬）を受章
令和元年	6月	8日	岡山県倉敷市真備町豪雨災害視察（幹部研修）（～9 日）
	9月	2日	第 1 回消防団再編検討委員会
	10月	20日	新任団員研修会
	10月	25日	第 2 回消防団再編検討委員会
	11月	8日	救助用半長靴兼防火用長靴を柳谷方面隊に配備 （消防団安全装備品整備事業）
	11月	27日	第 3 回消防団再編検討委員会
	12月	4日	団本部指令車（日産エクストレイル）を受領（日本消防協会）
	12月	19日	防火衣（50 着）・防火帽（50 個）更新整備 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）

令和 2 年	2 月	16 日	愛媛県消防協会会長表彰（竿頭綬）を受章
	4 月	1 日	消防団幹部（副分団長以上）3 年任期により役員改選 愛媛県消防団広域相互応援協定を締結
	5 月	1 日	美川地区の火災出動範囲を変更（方面隊管轄内出動）
	6 月	21 日	第 8 回久万高原町消防操法大会 （新型コロナウイルス感染防止のため延期）
	6 月	24 日	土居団長，日本消防協会副会長を退任
	8 月	6 日	土居団長，愛媛県消防協会会長を退任
	8 月	11 日	消防団移動系無線整備基本設計（町単独）
	9 月	13 日	土居団長、消防団長を退任
	9 月	14 日	立野副団長、消防団長へ就任
	9 月	30 日	救助用半長靴兼防火用長靴を美川方面隊第 3 分団に配備 （消防団安全装備品整備事業）
令和 3 年	2 月	21 日	令和 3 年久万高原町消防団出初式 （新型コロナウイルス感染防止のため中止）
	3 月	3 日	本部消防隊消防ポンプ自動車及び救助資機材受領（総務省消防庁）
	3 月	8 日	美川第 2 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	3 月	15 日	消防団移動系無線整備実施設計（町単独）
	3 月	16 日	携帯用デジタル簡易無線機 160 台購入 （消防団救助能力向上資機材緊急整備事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	7 月	1 日	美川地区の火災出動範囲を変更（分団管轄内出動）
	9 月	14 日	救助用半長靴兼防火用長靴を美川方面隊第 1 分団第 2 分団に配備 （消防団安全装備品整備事業）
令和 4 年	2 月	20 日	令和 4 年久万高原町消防団出初式 （新型コロナウイルス感染防止のため中止）
	3 月	16 日	久万第 4 分団第 4 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	条例改定に伴い、定数及び報酬を 1 部変更
	8 月	7 日	第 33 回愛媛県消防操法大会（久万第 1 分団第 3 部）
	10 月	21 日	救助用半長靴兼防火用長靴を久万方面隊に配備（コミュニティ助成事業）
令和 5 年	2 月	19 日	令和 5 年久万高原町消防団出初式
	3 月	10 日	柳谷第 1 分団第 3 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）

※旧町村別消防団の沿革については、平成 24 年度版年報以前を参照

## 階級別消防団員数 . . . 消防団員の高齢化対策が今後の課題

区 別	20歳 以下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 ～ 60歳	61歳 ～ 64歳	65歳 以上	合 計
団 長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
副 団 長	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2	4
分 団 長	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	3	10
副分団長	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	3	10
部 長	-	-	-	-	1	2	7	5	8	6	2	31
班 長	-	-	-	7	7	13	14	16	11	7	11	86
団 員	2	9	27	35	30	49	56	49	52	52	85	446
(うち女性団員)	-	-	3	1	-	3	5	4	-	2	4	22
合 計	2	9	27	43	38	64	77	73	76	72	107	588

## 消防団員の職業構成

区 別	久万方面隊	面河方面隊	美川方面隊	柳谷方面隊	本 部	合 計
農 業	35	11	18	3	1	68
林 業	24	10	10	15	-	59
漁 業	-	-	-	1	-	1
鉱 業	1	-	-	-	-	1
建 設 業	24	21	32	8	1	86
製 造 業	11	-	5	-	-	16
電気・ガス・水道業	6	-	3	-	-	9
運輸・通信業	9	-	11	-	-	20
御・小売飲食業	11	2	4	2	-	19
金融保険業	-	1	1	-	-	2
不動産業	-	-	-	-	-	0
サービス業	32	13	18	6	2	71
公 務 員	46	18	29	6	22	121
特殊法人(農協等)	43	4	10	4	-	61
日本郵政公社	3	2	2	-	-	7
その他(無職等)	13	11	7	14	2	47
合 計	258	93	150	59	28	588

## 年齢別消防団員数

区 別	20歳 以下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 以上	合 計	平均 年齢
久万高原町消防団	2	9	27	43	38	64	77	73	255	588	51.9
内女性団員	—	—	2	2	—	1	4	6	7	22	50.0

## 在職年数別消防団員数

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
久万高原町消防団	80	81	75	78	72	58	144	588
内女性団員	5	6	1	10	—	—	—	22

## 消防団員の退職・新任状況

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
退職	5	3	6	2	5	2	14	37
区 分	25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳以上	合 計
新任	2	1	3	2	1	1	8	18

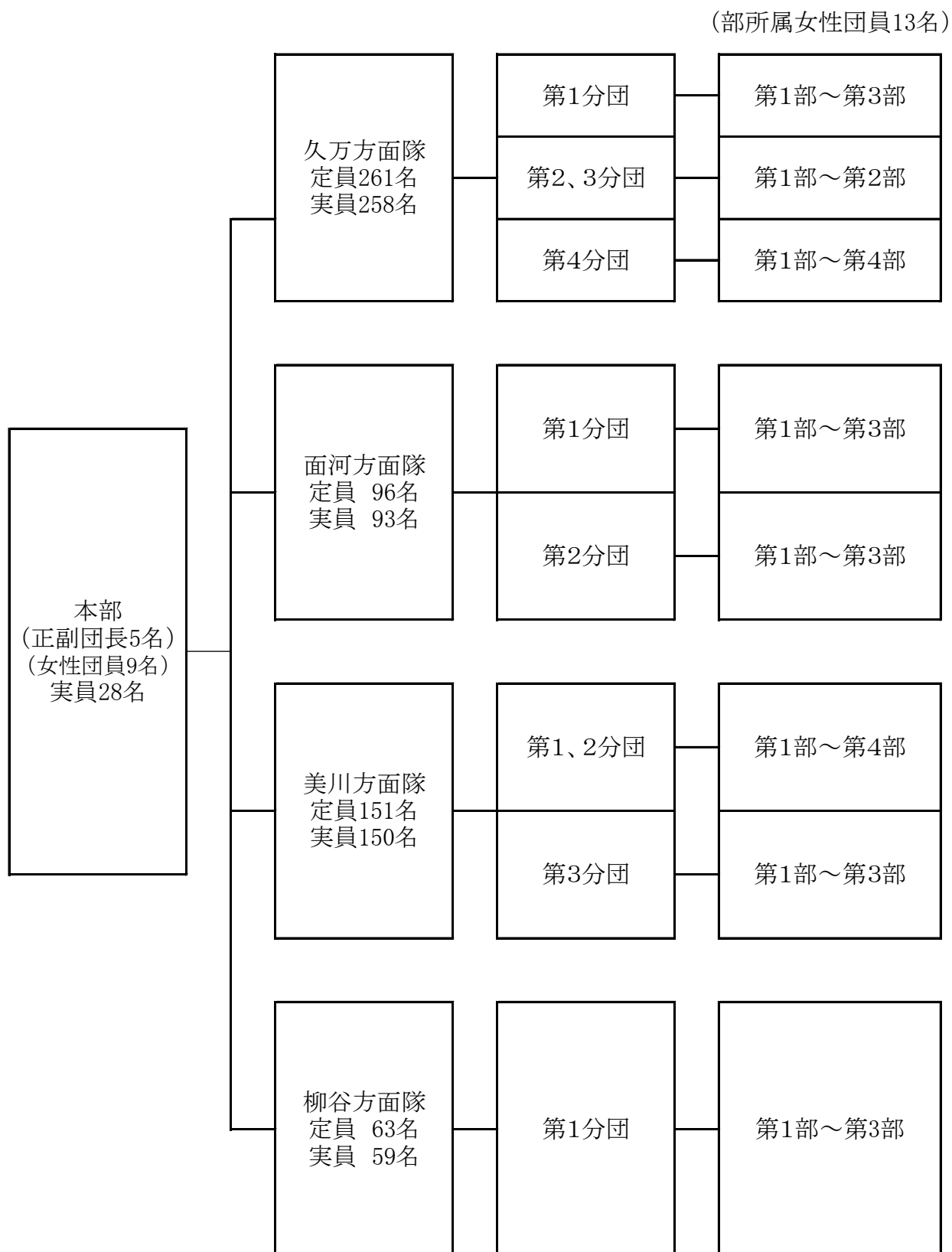
## 消防団年俸調べ

団 長	副団長 (本部付)	副団長 (方面隊長兼務)	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
134,500	107,500	87,500	65,500	54,500	51,500	39,500	36,500

## 消防団手当調べ

火災出動手当	風水害出動手当	警戒出動手当	教養訓練出動手当	その他の手当
4,000(4時間未満)	4,000(4時間未満)	4,000(4時間未満)	4,300	2,000
8,000(4時間以上)	8,000(4時間以上)	8,000(4時間以上)		

# 久万高原町消防団組織図



## 各方面隊別出動範囲

方面隊	分団	管轄	出動範囲		
久万方面隊	第1分団	東明神	全域	第1分団・第2分団管轄内	
		西明神			
		入野			
		久万			
		菅生			
	第2分団	久万	住安・本町・辻		
		菅生	槻之沢・北村・高野・東国(一部)		
		上野尻	桂町・福井・曙・緑ヶ丘・旭ヶ丘		
		下野尻	中組・中通・東国(一部)・中野村・槇谷		
	第3分団	上畑野川	全域		第3分団管轄内 面河地区前組(第2部)
		下畑野川			
		直瀬			
	第4分団	露峰	全域		第4分団管轄内
父野川					
二名					
面河方面隊	第1分団	渋草	方面隊管轄内		
		笠方			
		前組			
		相の峰			
		大成			
	第2分団	本組			
		中組			
		若山			
		河の子			
		相の木			
美川方面隊	第1分団	上黒岩	分団管轄内		
		有枝			
		中黒岩			
		大川			
		沢渡			
	第2分団	七鳥			
		仕出			
		東川			
	第3分団	日野浦			
		黒藤川			
	柳谷方面隊	第1分団		柳井川	方面隊管轄内
西谷					
中津					



## 本部消防隊

### <消防ポンプ自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
本部消防隊	昼間(全町対応) 夜間(本部後方支援)	トヨタ	LDF - KDY231改	2,980	2	2021.03	愛媛 800 寸 94 - 23

## 久万方面隊

### <消防ポンプ自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第3部	東明神・西明神 入野・久万・菅生 上野尻・下野尻	三菱	KK - FG52EC	5,240	23	2000.12	愛媛 800 さ 28 - 62
第2分団第1部		日野	BDG - XZU378M	3,990	13	2010.03	愛媛 800 寸 30 - 70

### <消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	東明神・西明神 入野・久万・菅生 上野尻・下野尻	ニッサン	KG - SP6F23	2,660	22	2001.03	愛媛 800 さ 32 - 12
第1分団第2部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	20	2003.12	愛媛 800 さ 81 - 76
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	13	2010.11	愛媛 800 あ 9 - 96
第2分団第2部		ニッサン	KR - SR8F23	3,150	18	2005.11	愛媛 800 さ 99 - 02
第2分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	660	11	2012.12	愛媛 880 あ 12 - 89
第3分団第1部	上畑野川 下畑野川 直瀬 面河地区前組 (第2部)	ニッサン	PDG - Z25F24	2,950	16	2007.10	愛媛 800 寸 14 - 24
第3分団第2部		トヨタ	LDF - KDY281	2,980	11	2012.03	愛媛 800 寸 40 - 91
第3分団第2部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	14	2009.10	愛媛 800 寸 26 - 96
第3分団第1部		トヨタ	KR - KDY270	2,490	18	2005.02	愛媛 800 さ 92 - 65
第4分団第1部	露峰 父野川 二名	ダイハツ軽四	EBD - S331W	650	10	2013.10	愛媛 880 あ 14 - 38
第4分団第2部		ニッサン	KR - SR8F23	3,150	16	2007.02	愛媛 800 寸 9 - 61
第4分団第3部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	14	2009.02	愛媛 800 寸 22 - 86
第4分団第3部		スバル軽四	GT - TT2	650	21	2002.02	愛媛 80 あ 18 - 79
第4分団第4部		ダイハツ軽四	3BD - S710W	650	1	2022.03	愛媛 880 あ 27 - 86

### <小型(可搬)ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	東明神 中組 (明神公民館)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	14
第1分団第2部	西明神 沖 (JA支所上)	ラビット	P476 - 42kw	B - 3	2003	20
第1分団第2部	入野 (農業試験場前)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2010	13
第2分団第2部	野尻 (上野尻)	トーハツ	V46BS - 28kw	B - 3	1998	25
第2分団第2部	中野村 (集会所下)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2012	11
第3分団第1部	下畑野川 (下畑野川公民館横)	トーハツ	V46BS - 28kw	B - 3	1998	25
第3分団第2部	上直瀬 (公民館横)	ラビット	P476 - 42kw	B - 3	2002	21
第3分団第2部	下直瀬 (中通)	シバウラ	SF651M - 34kw	B - 3	1999	24
第3分団第1部	上畑野川 (上西之浦)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	14
第4分団第1部	二名 (富重)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2013	10
第4分団第2部	二名 (宮成)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	14
第4分団第3部	父野川 馬ノ地 (公民館横)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	14
第4分団第3部	露峰 (橋詰)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	14
第4分団第4部	露峰 (中村)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2022	1

## 面河方面隊

### <消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	面河地区全域	いすゞ	TKG - NHS85AN	2,990	9	2014.03	愛媛 800 寸 52 - 64
第1分団第1部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	21	2002.07	愛媛 800 さ 43 - 18
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	12	2011.02	愛媛 880 あ 10 - 32
第1分団第3部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	12	2011.02	愛媛 880 あ 10 - 33
第2分団第1部		ニッサン	TKG - SZ5F24	2,950	6	2017.11	愛媛 800 寸 73 - 74
第2分団第2部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	22	2001.05	愛媛 800 さ 34 - 50
第2分団第3部		ニッサン	U - SM6F23改	2,280	30	1993.11	愛媛 88 寸 9 - 74

### <小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	洪草 里成 (役場支所前)	トーハツ	VF63AS - 22kw	B - 2	2014	9
第1分団第1部	洪草 竹の谷 (JA支所前)	トーハツ	V75GM - 52kw	B - 2	2002	21
第1分団第2部	笠方 (八社神社下)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	12
第1分団第3部	前組 (支援センター横)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	12
第2分団第1部	本組 (八幡神社横)	トーハツ	V46AS - 27kw	B - 3	1995	28
第2分団第2部	中組 (中組公民館横)	トーハツ	V40AS - 26kw	B - 3	1998	25
第2分団第3部	若山 (旧面河駐在所横)	トーハツ	V46AS - 27kw	B - 3	1995	28

## 美川方面隊

### <消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	美川地区全域	ニッサン	KC - SN6F	2,490	26	1997.11	愛媛 88 寸 43 - 14
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	12	2011.02	愛媛 880 あ 10 - 34
第1分団第3部		三菱軽四	GBD - U62T	650	18	2005.02	愛媛 880 あ - 13
第1分団第4部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	22	2001.05	愛媛 800 さ 34 - 51
第2分団第1部		ニッサン	GC - SK82LN	1,780	22	2001.05	愛媛 800 さ 34 - 55
第2分団第1部		ダイハツ軽四	3BD - S331W	650	2	2021.03	愛媛 880 あ 26 - 51
第2分団第2部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	13	2010.02	愛媛 800 寸 29 - 75
第2分団第3部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	21	2002.11	愛媛 800 さ 49 - 20
第2分団第4部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	14	2009.02	愛媛 800 寸 22 - 85
第3分団第1部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	22	2001.05	愛媛 800 さ 34 - 52
第3分団第1部		スバル軽四	GD - TT2	659	21	2002.03	愛媛 80 あ 19 - 00
第3分団第2部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	22	2001.05	愛媛 800 さ 34 - 53
第3分団第3部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	12	2011.02	愛媛 880 あ 10 - 31

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	大川（大川下中）	トーハツ	V46BS - 28kw	B - 3	1995	28
第1分団第2部	有枝（八幡神社前）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	12
第1分団第3部	上黒岩（上本組）	トーハツ	VC52A - 34kw	B - 3	1996	27
第1分団第4部	沢渡（集会所横）	トーハツ	V40AS - 26kw	B - 3	1999	24
第2分団第1部	仕出（筒城集会所横）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	14
第2分団第1部	東川（養川集会所横）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2021	2
第2分団第2部	七鳥（熊野神社上）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2010	13
第2分団第3部	西古味（集会所横）	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	2001	22
第2分団第4部	東川（中村堀田宅横）	トーハツ	V25AS - 13kw	B - 3	2002	21
第3分団第1部	日野浦（大谷集会所西）	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	2001	22
第3分団第1部	日野浦（成河藤社入口）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2002	21
第3分団第2部	黒藤川（旧黒藤川小学校）	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	2001	22
第3分団第3部	黒藤川（旧二箇小学校下）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	12

柳谷方面隊

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	柳谷地区全域	いすゞ	CA - SE88MN	2,990	12	2011.01	愛媛 800 す 34 - 78
第1分団第1部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	20	2003.11	愛媛 800 さ 80 - 65
第1分団第1部		ニッサン	GE - SK82LN	1,780	23	2000.08	愛媛 800 さ 25 - 57
第1分団第2部		ニッサン	GE - SK82LN	1,780	22	2001.08	愛媛 800 さ 37 - 96
第1分団第2部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	20	2003.11	愛媛 800 さ 80 - 64
第1分団第2部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	20	2003.03	愛媛 800 さ 53 - 21
第1分団第2部		三菱	菱 KK - FD70AB	2,830	20	2003.03	愛媛 800 さ 52 - 31
第1分団第3部		ダイハツ	3BD - S710W	650	0	2023.03	愛媛 880 あ 29 - 30
第1分団第3部		ニッサン	GE - SK82LN	1,780	21	2002.11	愛媛 800 さ 49 - 23

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	柳井川落出（柳井川集会所）	トーハツ	VF63AS - 22kw	B - 2	2011	12
第1分団第1部	柳井川川前（川前集会所下）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	20
第1分団第1部	柳井川永野（永野）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	20
第1分団第2部	西谷本谷（下四組集会所）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	20
第1分団第2部	西谷名荷下（名荷下集会所）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	20
第1分団第2部	西谷古味（沖田石油向）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	20
第1分団第2部	西谷高野（旧高野集会所川向）	トーハツ	VC72AS - 46kw	B - 2	2003	20
第1分団第3部	中津旭（R 33バス停）	トーハツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2023	0
第1分団第3部	中津窪田（升田宅横）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	20

# 方面隊別消防団保有資機材

区分	装 備	久 万 (本部含む)	面 河	美 川	柳 谷	合 計
車 両	消防ポンプ自動車	3	-	-	-	3
	小型動力ポンプ付積載車	14	7	13	9	43
放 水 器 具	ホース 65mm	244	117	180	120	661
	吸水管	23	11	16	9	59
	管 槍 口	39	18	26	17	100
	双口接手(分岐金具)	23	7	12	9	51
	中継金具(65-70ネジ)	24	11	16	11	62
	消火栓開閉金具	53	14	26	15	108
	簡易布水槽	11	6	7	11	35
	スタンドパイプ	9	2	-	-	11
	消 火 水 囊	6	21	2	-	29
	防火衣	40	14	26	18	98
照 明	発 電 機	14	6	3	3	26
	携帯用投光器	7	12	13	4	36
無 線 機	携帯用無線機	39	17	21	9	86
	車載用無線機	17	7	13	9	46
そ の 他 防 災 用 資 機 材	鳶口	101	46	81	38	266
	チェーンソー	2	4	-	1	7
	警戒用ロープ	24	15	5	8	52
	スコップ	48	21	36	45	150
	エンジンカッター	5	1	2	4	12
	水中ポンプ	-	1	-	1	2
	携行缶(GS)	26	10	14	11	61
	ホースブリッジ	16	7	13	2	38
	コードリール	9	9	3	3	24
	懐中電灯(LED)	17	7	14	9	47
	救助用ジャッキ	1	-	-	-	1
	油圧切断機	1	1	-	1	3
	救命胴衣	6	5	-	-	11
	担架	7	6	5	4	22
	自動体外式除細動器(AED)	1	1	-	1	3
	拡声器	2	1	-	-	3
	土嚢袋	2,350	1,330	1,400	1,100	6,180
	ケブラー手袋	-	-	-	-	-
	雨衣	-	-	-	-	-
	救助用半長靴(安全ゴム長靴)	-	-	-	-	358

## 消防団幹部調べ

### < 久万高原町消防団 >

階 級	氏 名	住 所
団 長	立 野 好 仁	西谷

### < 久万方面隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	山 本 英 重 二 生	久万
第 1 分団長	小 倉 岡 剛	東明神
第 1 副分団長	古 日 野 潤 文 一	入野
第 2 分団長	水 谷 山 潤 文 一 昭 吾	上野尻
第 2 副分団長	西 竹 山 田 真 英 陽 勝 一 生 利	久万
第 3 分団長	久 河 保 野 勝 一 生 利	下畑野川
第 3 副分団長	久 河 保 野 勝 一 生 利	直瀬
第 4 分団長	久 河 保 野 勝 一 生 利	二名
第 4 副分団長	久 河 保 野 勝 一 生 利	露峰

### < 面河方面隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	十 木 川 菅 岡 直 正 彦	洪草
第 1 分団長	十 木 川 菅 岡 直 正 彦	洪草
第 1 副分団長	十 木 川 菅 岡 直 正 彦	洪草
第 2 分団長	十 木 川 菅 岡 直 正 彦	洪草
第 2 副分団長	十 木 川 菅 岡 直 正 彦	中組

### < 美川方面隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	瀧 倉 岡 左 木 中 倉 内 橋 林 京 岡 岡 橋 光 幸 加 正 昌 雄 正 治 健 寿 樹 行 彦	大川
第 1 分団長	瀧 倉 岡 左 木 中 倉 内 橋 林 京 岡 岡 橋 光 幸 加 正 昌 雄 正 治 健 寿 樹 行 彦	上黒岩
第 1 副分団長	瀧 倉 岡 左 木 中 倉 内 橋 林 京 岡 岡 橋 光 幸 加 正 昌 雄 正 治 健 寿 樹 行 彦	上黒岩
第 2 分団長	瀧 倉 岡 左 木 中 倉 内 橋 林 京 岡 岡 橋 光 幸 加 正 昌 雄 正 治 健 寿 樹 行 彦	東川
第 2 副分団長	瀧 倉 岡 左 木 中 倉 内 橋 林 京 岡 岡 橋 光 幸 加 正 昌 雄 正 治 健 寿 樹 行 彦	東川
第 3 分団長	瀧 倉 岡 左 木 中 倉 内 橋 林 京 岡 岡 橋 光 幸 加 正 昌 雄 正 治 健 寿 樹 行 彦	日野浦
第 3 副分団長	瀧 倉 岡 左 木 中 倉 内 橋 林 京 岡 岡 橋 光 幸 加 正 昌 雄 正 治 健 寿 樹 行 彦	露峰

### < 柳谷方面隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	崎 山 健 二 壽 文 勉	中津
第 1 分団長	古 用 野 文 勉	柳井川
第 1 副分団長	古 用 野 文 勉	西谷

## 久万高原町消防団長

初 代	大 野 健 二	H16.8.1 ~ H20.3.31
二 代	土 居 敏 夫	H20.4.1 ~ R2.9.13
三 代	立 野 好 仁	R2.9.14 ~

## 久万高原町消防操法大会成績表

※令和4年度以降の地区大会は県の操法大会種目とした。

※ポンプ車操法については地区大会を行わず、久万方面隊第1分団・第2分団が交互に県大会へ出場する。

### <小型動力ポンプの部>

大会回数	開催年月日	出場数	優 勝	準優勝	3位	4位	5位
第1回	平成18年7月23日	11	柳谷方面隊 第2分団	面河方面隊 第1分団	久万方面隊 第4分団	柳谷方面隊 第1分団	久万方面隊 第3分団
第2回	平成20年6月29日	10	美川方面隊 第2分団	面河方面隊 第2分団	久万方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第1分団
第3回	平成22年6月20日	11	美川方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	美川方面隊 第1分団	久万方面隊 第4分団
第4回	平成24年6月24日	11	美川方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第1分団	面河方面隊 第1分団	美川方面隊 第1分団
第5回	平成26年6月22日	10	美川方面隊 第3分団	面河方面隊 第1分団	柳谷方面隊 第2分団	面河方面隊 第2分団	久万方面隊 第1分団
第6回	平成28年6月19日	11	美川方面隊 第3分団	面河方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	面河方面隊 第1分団	柳谷方面隊 第1分団
第7回	平成30年6月17日	10	面河方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第3分団	久万方面隊 第2分団	面河方面隊 第1分団
第8回	令和2年6月21日	-	新型コロナウイルス感染防止のため延期				
第8回	令和3年-月-日	-	新型コロナウイルス感染防止のため延期				

### <ポンプ自動車の部>

大会回数	開催年月日	出場数	優 勝
第 1 回	平成 18 年 7 月 23 日	1	久万方面隊 第2分団
第 2 回	平成 20 年 6 月 29 日	1	久万方面隊 第1分団
第 3 回	平成 22 年 6 月 20 日	1	久万方面隊 第2分団
第 4 回	平成 24 年 6 月 24 日	1	久万方面隊 第1分団
第 5 回	平成 26 年 6 月 22 日	1	久万方面隊 第2分団
第 6 回	平成 28 年 6 月 19 日	1	久万方面隊 第1分団
第 7 回	平成 30 年 6 月 17 日	1	久万方面隊 第2分団
第 8 回	令和 2 年 6 月 21 日	-	新型コロナウイルス感染防止のため延期
第 8 回	令和 3 年 一 月 一 日	-	新型コロナウイルス感染防止のため延期
第 8 回	令和 4 年 一 月 一 日	-	久万方面隊第1分団が出場

※町村合併以前の操法大会成績表については、令和2年度版年報以前を参照

# 愛媛県消防操法大会成績表

※出場種目については、直近の全国大会出場種目に限定する。  
(令和3年12月 愛媛県消防操法大会に係る会議の審議結果より)

## <小型ポンプの部>

大会回数	開催年月日	参加数	出場分団	成績
第24回	平成18年9月17日	17	久万高原町消防団 柳谷方面隊第2分団	
第25回	平成20年7月27日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第2分団	
第26回	平成22年7月25日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第27回	平成24年7月29日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第28回	大会日、予備日も警報発令により中止		久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第29回	平成28年7月31日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第30回	平成30年7月豪雨の影響により中止		久万高原町消防団 面河方面隊第2分団	
第31回	新型コロナウイルス感染防止のため延期			
第32回	新型コロナウイルス感染防止のため中止			

## <ポンプ自動車の部>

大会回数	開催年月日	参加数	出場分団	成績
第23回	平成16年9月5日	16	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第24回	平成18年9月17日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第25回	平成20年7月27日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第26回	平成22年7月25日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第27回	平成24年7月29日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第28回	大会日、予備日も警報発令により中止		久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第29回	平成28年7月31日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第30回	平成30年7月豪雨の影響により中止		久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第31回	新型コロナウイルス感染防止のため延期			
第32回	新型コロナウイルス感染防止のため中止			
第33回	令和4年8月7日	13	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	10位

※町村合併以前の操法大会成績表については、令和2年度版年報以前を参照

# 消 防 年 報

令和 4 年度版

発行日 令和 5 年 9 月 1 日

発 行 久万高原町消防本部

〒791-1207

上浮穴郡久万高原町下野尻甲 33 番地

TEL (0892) 21-2411

FAX (0892) 21-2656



久万高原町  
イメージキャラクター

ゆいぼう

